

第七十五回 帝國議會  
院

所得稅法改正法  
案外三十件 委員會議錄(速記)第十三回

付託議案

(一一一)

所得稅法改正法律案(政府提出)(第一  
七號)

出スル物品  
内國稅免除ニ關スル  
件(政府提出)(第三二號)

特法人稅案(政府提出)(第八號)

支那事變特別稅法及臨時租稅增徵法  
件(政府提出)(第三三號)

外貨債號

營業収益稅法廢止法律案(政府提出)

當利子特別稅法

資本利子稅法廢止法律案(政府提出)

配當利子稅案(政府提出)(第九號)

營業稅案(政府提出)(第三四號)

臨時利得稅案(政府提出)

廢止法律案(政府提出)

地租業稅案(政府提出)

營業稅案(政府提出)

清稅案(政府提出)

營業稅案(政府提出)

改正法律案(政府提出)

營業稅案(政府提出)

地稅案(政府提出)

營業稅案(政府提出)

改正法律案(政府提出)

砂糖消費稅案(政府提出)

營業稅案(政府提出)

飲料稅案(政府提出)

營業稅案(政府提出)

改正法律案(政府提出)

稅法案(政府提出)

營業稅案(政府提出)

通行稅案(政府提出)

營業稅案(政府提出)

改正法律案(政府提出)

營業稅案(政府提出)

稅法案(政府提出)

營業稅案(政府提出)

改正法律案(政府提出)

營業稅案(政府提出)

稅法案(政府提出)

營業稅案(政府提出)

改正法律案(政府提出)

營業稅案(政府提出)

會議

昭和十五年三月一日(金曜日)午前十時二十  
四分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 堀切善兵衛君

理事小山倉之助君 理事濱野徹太郎君  
理事木村 深七君理事小笠原三九郎君

理事立川 平君	理事河野 密君
内藤 正剛君	川崎 克君
塚本 三君	渡邊玉三郎君
豊田 改君	櫻井兵五郎君
森 肇君	

森田 福市君	西川 貞一君
小見山七十五郎君	田万 清臣君
北勝太郎君	佐竹 晴記君
	青木 作雄君
	藤本 松永義雄君

板谷 順助君	瀧澤 七郎君
道家齊一郎君	鈴木 英雄君
武田徳三郎君	事變ノ爲從軍シタル軍人及軍屬ニ對スル租 稅法案内外地關涉法案(政府提出)、昭和 十二年法律第九十四號中改正法律案(支那 外國船舶ノ所得稅等免除ニ關スル件)(政府 提出)(第七七號)

提出)、アルコール製造事業等ニ對スル所得稅等ノ免除規定ノ改正ニ關スル法律案(政府提出)及租稅法規ノ改正ニ伴フ恩給金庫法等ノ規定ノ整理ニ關スル法律案(政府提出)ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ	出席國務大臣左ノ如シ
出席國務大臣左ノ如シ	大藏大臣 櫻内 幸雄君
大藏省地方局長 挟間 茂君	内務大臣 伯爵兒玉 秀雄君
内務省主税局長 大矢半次郎君	内務書記官 三好 重夫君
大藏政務次官 木村 正義君	大藏書記官 山田 義見君
大藏參與官 松田 正一君	大藏書記官 池田 勇人君
大藏政務次官 木村 正義君	大藏書記官 松隈 秀雄君
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ	所定稅法改正法律案(政府提出)
相續稅法中改正法律案(政府提出)	特別法人稅法案(政府提出)
外貨債特別稅法中改正法律案(政府提出)	配當利子特別稅法案(政府提出)
建築稅法案(政府提出)	臨時利得稅法中改正法律案(政府提出)
鑛區稅法案(政府提出)	地租法中改正法律案(政府提出)
臨時利得稅法中改正法律案(政府提出)	酒稅法案(政府提出)
清涼飲料稅法中改正法律案(政府提出)	營業稅法案(政府提出)
砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)	織物消費稅法中改正法律案(政府提出)
揮發油稅法中改正法律案(政府提出)	揮發油稅法中改正法律案(政府提出)

大正十三年法律第六號中改正法律案(外國船舶ノ所得稅等免除ニ關スル件)(政府提出)	大正十三年法律第六號中改正法律案(外國船舶ノ所得稅等免除ニ關スル件)(政府提出)
遊興飲食稅法案(政府提出)	通行稅法案(政府提出)
狩獵法中改正法律案(政府提出)	印紙稅法中改正法律案(政府提出)
明治四十四年法律第四十五號中改正法律案(砂糖消費稅織物消費稅等ノ徵收ニ關スル件)(政府提出)	骨牌稅法中改正法律案(政府提出)
大正九年法律第五十一號中改正法律案(内地臺灣又ハ樺太ヨリ朝鮮ニ移出スル物品ノ內國稅免除ニ關スル件)(政府提出)	狩獵法中改正法律案(政府提出)
支那事變特別稅法及臨時租稅增徵法廢止法律案(政府提出)	印紙稅法中改正法律案(政府提出)
營業稅法廢止法律案(政府提出)	骨牌稅法中改正法律案(政府提出)
資本利子稅法廢止法律案(政府提出)	狩獵法中改正法律案(政府提出)
法人資本稅法廢止法律案(政府提出)	印紙稅法中改正法律案(政府提出)
臨時租稅措置法中改正法律案(政府提出)	骨牌稅法中改正法律案(政府提出)
地方稅法案(政府提出)	狩獵法中改正法律案(政府提出)
地方分與稅法案(政府提出)	印紙稅法中改正法律案(政府提出)
府縣制中改正法律案(政府提出)	骨牌稅法中改正法律案(政府提出)
市制中改正法律案(政府提出)	狩獵法中改正法律案(政府提出)
町村制中改正法律案(政府提出)	印紙稅法中改正法律案(政府提出)
北海道會法中改正法律案(政府提出)	骨牌稅法中改正法律案(政府提出)
北海道地方費法中改正法律案(政府提出)	狩獵法中改正法律案(政府提出)
地方分與稅分與金庫特別會計法案(政府提出)	印紙稅法中改正法律案(政府提出)

所得稅法人稅内外地關涉法例ノ制定スルコトト致シタ次第アリマスノ	税トシテ其ノ儘徵收地道府縣ニ之ヲ還付スルコトニ相成ルノデアリマス、家屋稅ハ營業稅トノ權衡ヲ考慮シ、百分ノ一・七五ノ稅率ニ依リ賦課セントスルモノデアリマスガ、家屋賃貸價格調査ノ公正ヲ期スル爲、原則トシテ家屋所有者ノ選舉シタル調査委員ヨリ成ル賃貸價格調査委員會ノ議ニ付シテ、
理由ヲ説明致シ度イト存ジマス	賃貸價格ヲ定期ムルコト致シテ居リマス、ス、先づ大藏大臣ヨリ昨日提出ニナリマシタ家屋稅其ノ他ニ付テ御説明ヲ願フコトニ致シマシテ、ソレカラ佐竹君ノ質問ヲ繼續致シマス——櫻内國務大臣
中央地方ヲ通ズル稅制ノ一般的改正ニ關スル所得稅法改正法律案外三十八件ニ付キ、提出ノ理由ヲ説明致シ度イト存ジマス	○櫻内國務大臣 只今本委員會ニ付託トナリマシタ家屋稅法案外五件ニ付キ、提出ノ理由ヲ説明致シ度イト存ジマス
スル所得稅法改正法律案外三十八件ノ法律案ニ付キ、目下御審議ヲ煩ハシテ居ル次第デアリマスガ、此等ノ諸法律案ノ外、之ニ追加シテ御協賛ヲ願ヒタキ諸法律案ヲ、茲ニ括シテ提出致シタ次第アリマス	○櫻内國務大臣 只今本委員會ニ付託トナリマシタ家屋稅法案外五件ニ付キ、提出ノ理由ヲ説明致シ度イト存ジマス
先づ家屋稅法案ニ付説明致シマス、曩ニ説明致シマシ如ク、今回直接國稅體系ノ改組ニ伴ヒ、收益稅タル地租、家屋稅及ビ營業稅ハ、之ヲ地方ノ獨立財源トシテ、地方團體財政ノ基礎ノ確立ニ資スルコト致シタノデアリマスガ、其ノ課徵方法ハ、負擔ノ平衡ヲ期スル等ノ理由ニ依リ、分與稅及ビ附加稅ノ併用ト云フコトニ致シマシタノデ、既ニ御審議ヲ願ツテ居リマスル地租法中改正法律案及ビ營業稅法案ノ外ニ、新ニ家屋稅法ヲ制定シテ、家屋稅ヲ國稅トシテ課徵スルコト致シタノデアリマス、而シテ此ノ又大正十三年法律第六號ハ、外國船舶ノ	國稅タル家屋稅ハ、昭和十七年分ヨリ之ヲ徵收スルコト致シテ居ルノデアリマスノシテ、從來、大正九年法律第二十二號ノ定メガアツタノデアリマスガ、今回所得稅制度ノ改正、法人稅ノ創設ニ伴ヒマシテ、之ヲ全般的ニ改正スルノ必要ヲ生ジマシタノデ、從前ノ法律ハ之ヲ廢止シ、新ニ所得稅法人稅内外地關涉法例ノ制定スルコトシ、本法律案ヲ提出致シタ次第アリマスノ
事變ノ爲從軍シタル軍人及ビ軍屬ニ對シ、第三種所得稅、營業收益稅等ノ輕減、若ハ免除ヲ爲シ、又ハ課稅標準ノ決定ニ關シテモ、改正後ノ所得稅及ビ營業稅等ニ付キ、同様ノ措置ヲ講ズルヲ適當ト認メラレマスノデ、之ニ關スル改正法律案ヲ提出シテモ、改正後ノ所得稅及ビ營業稅等ニ付	ノデアリマスガ、今回ノ稅制改正後ニ於キマテアリマスガ、第三次稅制改正後ニ於キマテモ、改正後ノ所得稅及ビ營業稅等ニ付



課稅スルト云フコトダガ、預金ノ中心ハ五千圓臺デアルカラ相當ノ影響ガアル、是ハ困ルト言ハレタト云フコトヲ承知致シマス、併シソレハ大變ナ見當達ヒデアリマシテ、利子ト現金トヲ間違ヘテ居ラレル、假ニ茲ニ他ニ何等ノ收入ガナクテ、銀行預金利子ダケヲ所得致シテ居リマス人ガアルト致シマスナラバ、四割ヲ控除致シマシテ、六割ガ五千圓ニ相當致シマス金額ト云フノハ八千三百三十三圓デアリマス、此ノ八千三百三十三圓ノ利子ヲ得ル人ハ、預金ヲドレダケシテ居ラナケレバナラヌカト申シマスト、利率三分三厘ノ利息デ還元ヲ致シテ、實ニ二十五万二千圓ニ相成ルノデゴザイマス、是ダケノ預金ヲ致シテ居リマシテ初メテ問題ニナルノデアリマス、ソレヲ銀行家ナドガ、只今申上ゲマスルヤウニ、輕率ニモ五千圓ノ預金、五千圓ノ預金ト仰シヤイマシテ、利子ノ現金トヲ取違ヘテノ反對運動ト云フモノガ、大藏省主税局原案ヲヘコマシタデハナイカト云フ風ニ考ヘテ參リマスト、斯沟ニ心外デナリマセヌ、斯様ニ問題ハ二十五万圓以上ノ預金ノミニ付テ起リマス、斯ウシタ莫大ナル預金ヲ致シテ遊シデ居リマス、ソレ程保護シナケレバナラヌ理由由到底私考ヘラレマセヌ、何カ理由ガアルノデゴザイマセウカ

○櫻内國務大臣 只今御述ベニナリマシタ例ハ、預金利子ノ外ニ何モ所得ガナイ場合デアラウト思ヒマス、現在第二種所得ト云フモノハ、必ズシモ個人バカリデハナイノデアリマス、殊ニ實例カラ申シマスルト、國債ノ現在ノ稅ハ百分ノ六デアリマスガ、今回ハ百分ノ十九、即チ三倍強ニナルノデアリマス、地方債ノ如キモ百分ノ十・五ト云

モノハ、百分ノ十二ガ百分ノ二十五ニナルモナハ、百分ノ十二ガ百分ノ二十六ニナルモナハ、百分ノ十二ガ百分ノ二十六ニナルノデアリマシテ、先ツ相當他ニ例ノナイ増税ニナツテ居ルノデアリマス、ソレノミナラズ若シ之ヲ他ノ觀點カラ考ヘテ見マスルト、公債ナドヲ持ツテ居ル人カラ見レバ、假ニ三分五厘ノ公債カラ二割ヲ引キマスト、凡ソ二分七八厘ニナル勘定デアリマス、左様ナ譯デアリマシテ、公債ノ消化ノ上カラ考ヘマシテモ、貯蓄獎勵ノ上カラ考ヘマシテモ、撒布セラレタル資金ヲ吸收スル上カラ考ヘマシテモ、多少其ノ點ニ對シテ考慮ヲ拂フコトハ、今日ノ金融事情カラ致シマシテ、適當デハナカラウカト者ヘルノデアリマス、ソレ等ノ事柄ヲ色々考ヘマシテ、斯ウ云フ風ニスルノガ適當デアラウト考ヘタ次第デアリマス

○佐竹委員 賄蓄獎勵ヲ阻碍シ、銀行預金ガ減ジマシテ、國債消化ニ支障ガ起ルト云フ御心配ノヤウデアリマス、併シナガラ爲替管理法が強化サレ、資金調整法ガ整備セラレマシテ、資金ノ統制ハ高度ニ達シテ居リマス、其ノ移動ハ決シテ自由デハゴザイスル連中ヲ、ソレ程保護シナケレバナラヌ理由由到底私考ヘラレマセヌ、何カ理由ガアルノデゴザイマセウカ

○櫻内國務大臣 只今御述ベニナリマシタ例ハ、預金利子ノ外ニ何モ所得ガナイ場合デアラウト思ヒマス、現在第二種所得ト云フモノハ、必ズシモ個人バカリデハナイノデアリマス、殊ニ實例カラ申シマスルト、國債ノ現在ノ稅ハ百分ノ六デアリマスガ、今回ハ百分ノ十九、即チ三倍強ニナルノデアリマス、地方債ノ如キモ百分ノ十・五ト云

モノハ、百分ノ十二ガ百分ノ二十六ニナルモナハ、百分ノ十二ガ百分ノ二十六ニナルノデアリマシテ、先ツ相當他ニ例ノナイ増税ニナツテ居ルノデアリマス、ソレノミナラズ若シ之ヲ他ノ觀點カラ考ヘテ見マスルト、公債ナドヲ持ツテ居ル人カラ見レバ、假ニ三分五厘ノ公債カラ二割ヲ引キマスト、凡ソ二分七八厘ニナル勘定デアリマス、左様ナ譯デアリマシテ、公債ノ消化ノ上カラ考ヘマシテモ、貯蓄獎勵ノ上カラ考ヘマシテモ、撒布セラレタル資金ヲ吸收スル上カラ考ヘマシテモ、多少其ノ點ニ對シテ考慮ヲ拂フコトハ、今日ノ金融事情カラ致シマシテ、適當デハナカラウカト者ヘルノデアリマス、ソレ等ノ事柄ヲ色々考ヘマシテ、斯ウ云フ風ニスルノガ適當デアラウト考ヘタ次第デアリマス

○佐竹委員 賄蓄獎勵ヲ阻碍シ、銀行預金ガ減ジマシテ、國債消化ニ支障ガ起ルト云フ御心配ノヤウデアリマス、併シナガラ爲替管理法が強化サレ、資金調整法ガ整備セラレマシテ、資金ノ統制ハ高度ニ達シテ居リマス、其ノ移動ハ決シテ自由デハゴザイスル連中ヲ、ソレ程保護シナケレバナラヌ理由由到底私考ヘラレマセヌ、何カ理由ガアルノデゴザイマセウカ

○櫻内國務大臣 資金ノ統制其ノ外色々ナイト私ハ考ヘマスガ、如何デゴザイマセウカ

○櫻内國務大臣 資金ノ統制其ノ外色々ナイト私ハ考ヘマスガ、如何デゴザイマセウカ

○櫻内國務大臣 御話ノ如ク經濟上ノ原理ニ對シテ惡影響ガ懸念サレルト致シマシテテ参リマスノデ、少カラザル影響ガアルモ

ノト考ヘルノデアリマス、殊ニ預金者ノ心理状態ニ及ボス影響等モ考ヘナケレバナリマセヌ、其ノ點ナドヲ考ヘテ見タ結果、斯ナル統制ガシテアルナラバ、結局多ク發行セラレル所ノ公債ニ集中サレルト云フコトハ、私ハ御意見ノ一ツトシテ拜聽致シマス、



人々の所得ヲモ安定セシムルト云フコトノ必要ガアルノデアリマシテ、當分ノ間過渡的ニ斯様ナ選擇ヲ致スト云フコトニシテ差支イ、斯ウ云フ見地カラ致シタノデアリマシテ、必ズシモ金融資本家ヲ擁護スル云々ト云フガ如キ觀點カラ出テ居ルノデハナイノデアリマス。

○佐竹委員 金融關係ハ微妙ナル動キガアルト仰シヤイマシタ、ソレハ何カ一慾心以外ノ何モノモナインデアリマス、此ノ戰時局ヲ能ク御理解ニナリマシテ、金融資本家ガ此ノ事態ニ即應シテ、本當ニ國ヲ立てシマスルナラバ、是ダケノコトガヤツテノケラレナイ譯ガナイト私ハ思フ、今ヤ我國ハ進ムカ退クカノ重大難局ニ遭遇シ、上一致渾然一如トナツテ、我ヲ捨テ公ニ殉ズルノ大精神ヲ以テ邁進スベキノ時デアリマス、何ガ故ニ第二種所得階級ニ媚態ヲ呈スルガ如キ態度ヲ一擲致シマシテ、彼等ヲシテ重大時局乗切リニ、進ンデ協力スルヤウニ指導シ得ナカツタデアリマセウ、是レシキノ事ヲ爲シ得ズシテ、眞ニ重大ナル此ノ難局ヲ突破シ得ルノ確信ヲ有スルモノトハ思ハレマセヌ、既ニ其ノ重任ヲ拜セラレマシテ、輔弼ノ責任ニ當ラレテ居リマスル以上、組閣匂々大藏大臣御言明ノ如ク、身ヲ以テ此ノ難局ニ當ルト云フ大精神ヲ以テ、輔弼ノ任ニ當ラレテ居ル以上、是レシキノコトヲ爲シ得ナイデハ、本當ニ此ノ重大時局ヲ乘リ切り得ルノカ、吾々國民ハ心配デナリマセス、吾々國民ヲシテ安心セシメル底ノ、確固不動ノ精神ヲ示サレンコトヲ望ミ

マス、若シドウシテモ斯ウスルヨリ途ガナイト云フコトデアルナラバ、又吾々ヲシテ云フコトニナリマス、少シク堀下ゲテノナ得セシヌルニ足ル、今少シク堀下ゲテノ見解ヲ十分ニ解キ餘シテ、十分ナル御明答ヲ承リタイト私ハ思フ。

○櫻内國務大臣 公債ノ利子、國債ノ利子ノ問題ニ付キマシテハ、之ヲ綜合的ニセヨト云フ御議論、私ハ必ズシモ其ノ理由ガナイトハ思ヒマセヌ、又此ノ稅制改革ニ對シマシテ、其ノ問題ガ起ツテ居ツタノデアリマス、併シ能ク考へテ見マスト、經濟上百般ノ事柄ヲ考へテ見ナケレバナラヌノデアリマス、今日此ノ公社債ガ何處ニ入ツテ居ルカト申シマスト、銀行トカ保險會社トカ、各方面ニ相當入ツテ居リマス、ソレデ保險會社ナドニ入ツテ居ルモノナドカラ申シマスト、保險會社ノ今日ノ保險金ノ掛金ハ、大體年四分ノ金利ニ依ツテ、保險金ガ拂ヒ得ルト云フ風ナ組織ニナツテ居リマス、然ルニ今日ノ公社債ハ、今御話申シタ通り大部分三分五厘ノモノデアルト云フコトカラ考へテ見マスト、二分八厘内外ニ置カナケシテ重大時局乗切リニ、進ンデ協力スルヤウニ於キマシテハ、社債國債ヲ持ツ事ガ容易ニ出來得ナイヤウナ狀態ニナツテ居リマス、又一般ノ預金利子ト云フモノヲ非常ニ下げるト云フコトニシナケレバ、銀行其ノ他ニ任ニ當ラレテ居ル以上、是レシキノコトヲ爲シ得ナイデハ、本當ニ此ノ重大時局ヲ突破シ得ルノカ、吾々國民ハ心配デナリマセス、吾々國民ヲシテ安心セシメル底ノ、確固不動ノ精神ヲ示サレンコトヲ望ミ

マス、若シドウシテモ斯ウスルヨリ途ガナイト云フコトデアルナラバ、又吾々ヲシテ云フコトニナリマス、少シク堀下ゲテノナ得セシヌルニ足ル、今少シク堀下ゲテノ見解ヲ十分ニ解キ餘シテ、十分ナル御明答ヲ承リタイト私ハ思フ。

○櫻内國務大臣 公債ノ利子、國債ノ利子ノ問題ニ付キマシテハ、之ヲ綜合的ニセヨト云フ御議論、私ハ必ズシモ其ノ理由ガナイトハ思ヒマセヌ、又此ノ稅制改革ニ對シマシテ、其ノ問題ガ起ツテ居ツタノデアリマス、併シ能ク考へテ見マスト、經濟上百般ノ事柄ヲ考へテ見ナケレバナラヌノデアリマス、今日此ノ公社債ガ何處ニ入ツテ居ルカト申シマスト、銀行トカ保險會社トカ、各方面ニ相當入ツテ居リマス、ソレデ保險會社ナドニ入ツテ居ルモノナドカラ申シマスト、保險會社ノ今日ノ保險金ノ掛金ハ、大體年四分ノ金利ニ依ツテ、保險金ガ拂ヒ得ルト云フ風ナ組織ニナツテ居リマス、然ルニ今日ノ公社債ハ、今御話申シタ通り大部分三分五厘ノモノデアルト云フコトカラ考へテ見マスト、二分八厘内外ニ置カナケシテ重大時局乗切リニ、進ンデ協力スルヤウニ於キマシテハ、社債國債ヲ持ツ事ガ容易ニ出來得ナイヤウナ狀態ニナツテ居リマス、又一般ノ預金利子ト云フモノヲ非常ニ下げるト云フコトニシナケレバ、銀行其ノ他ニ任ニ當ラレテ居ル以上、是レシキノコトヲ爲シ得ナイデハ、本當ニ此ノ重大時局ヲ突破シ得ルノカ、吾々國民ハ心配デナリマセス、吾々國民ヲシテ安心セシメル底ノ、確固不動ノ精神ヲ示サレンコトヲ望ミ

マス、若シドウシテモ斯ウスルヨリ途ガナイト云フコトデアルナラバ、又吾々ヲシテ云フコトニナリマス、少シク堀下ゲルト云フコトニナツタト記憶致シテ居リマス、其ノ後二割ニナツテ、ト致シマシタ際四割控除ト云フ御説ガアツテ、シテハ四割控除デアツタモノガ、之ヲ二割控除ニ致シマシタ、二割控除デアツタモノヲ、今度ハ株式取得ノ借金ニ對スル利息ヲ輕減スルル云フコトニ改メヤウトシテ居ル、金融資本ノ預金利子其ノ他ニ對シテハ、総合スル場合ニハ四割ヲ控除スルト云フコトノ建前デアリマス、四割控除スルト云フコトデアリマスガ、丁度株式ガ四割ガ二割ニナリ、今度ハソレヲ廢スルト云フヤウナ傾向ニ向ツテ居ルガ如ク、此ノ預金利子ノ四割控除ト云フモノモ或ハ二割トナリ、或ハ之ヲ全廢スルト云フヤウナ御考ヲ持ツテ居ナカ、株式ノ控除ヲ廢止スルト云フ傾向ニ向ツテ居ルガ如ク、此ノ預金利子ノ四割控除ト云フヤウナ御考ヲ持ツテ居ラナコトナクスルノデハナイカ、斯ウ云フ風ナ御質問ノヤウニ考へマスガ、是ハ只今申シマスガ、今日ハ之ヲ無クシテシマフ、其ノ趣旨ト同ジ筆法ニ於テ、今回ノ四割控除ト云フモノヲナクスルノデハナイカ、斯ウ云フ風ナ御憶致シテ居リマス、其ノ後二割ニナツテ、トカ、ドウスルトカ云フ考ヲ持ツテ居ラナス通り、今日ノ經濟上ノ實情カラ致シマシタノデアリマシテ、只今直グ之ヲ廢止スルトカ、ドウスルトカ云フ考ヲ持ツテ居ラナスガ、時トシテハ増收ヲ圖ル目的ノ爲ニ、

○佐竹委員 恐縮デゴザイマスガ、モウ一時間バカリノ間ニ、大藏大臣ニ對スル質問ヲ済マセタイト思ヒマスノデ、關聯質問ハ

一ツ省イテ戴イテ、一舉ニ限ラレタ時間内

ニ私ノ大藏大臣ニ對スル質問ヲ済マセタイ

ト考ヘマス、其ノ方針デ委員長御願致シマ

ス

○堀切委員長 成ベク左様ニ致シマス

○佐竹委員 第二種所得綜合課稅ノ問題ニ付テハ、先程尙ほ銀行預金ノ利息引下ノ問題

題、郵便貯金ノ問題ニマデ相成ツテ參リマ

シタ、此ノ問題ヲ大臣ガ取上ゲテ御論ジ

ナリマスナラバ、私ハ尙ホ言フベキ多クノ

モノヲ持チマス、併シ一方豫算總會ガ開カ

レテ居ツテ、其ノ方ニオ出デニナラナケ

バナラスト云フコトデアリマスノデ、私ハ

大藏大臣ニ對スル分ダケヲ、極ク短イ時間ニ

集中致シマシテ、御尋シタイト考ヘマスカ

ラ、此ノ第二種所得綜合課稅ノ問題ハ、此

ノ程度デ打切ツテ置キマス

第二ニ御伺シタインハ農民漁民ノ立場カ

ヘマスガ、是ハ果シテ負擔ノ均衡ヲ得テ居

ルカドウカ、私ハ多大ノ疑問ヲ持タザルヲ

得ナイノデアリマス、農業者ト營業者トノ

負擔ノ均衡問題ハ、稅制改革ガ行ハレ度

ニ起リマシタ所ノ、凡ソ古典的ナ問題トナ

ツテ居リマシタガ、今回ノ改革ニ際シマシ

テ、不十分ナガラ相當考慮ヲ拂ハレタコト

ハ看取スルニ難クナインデアリマス、此ノ

點私共モ之ヲ多トスル、仍テ此ノ點ハ暫ク

措キマシテ、今私ハ分類所得稅ニ付テ、事

業所得ト勤勞所得トヲ相對比考察シテ見タ

イト思ヒマス、其ノ中營業所得ト勤勞所得

トノ均衡問題ニ付テハ、過般本委員會ニ於

キマシテ、西川委員トノ間ニ相當論議ガ交

サレマンシタノデ、私ハ之ヲ省略致シマス、

私ハ特ニ農漁民ノ所得ト、卑近ナ例ト致シ

マジテ、官公吏等ノ勤勞所得トノ間ニ於ケ

ル差等ヲ設ケタ理由ヲ質シタイト思フ、私

ハ此ノ問題ニ限ツテ聽クノデハアリマセヌ

此ノ問題ヲ通ジテ全面的ナ均衡問題ヲ論ジ

タイト考ヘマスケレドモ、餘リ風呂敷ヲ擴

ゲ過ギマスト、此ノ論點ガ一ツ所ニ集中致

シマセヌ、仍テ農民ト官公吏ニ局限致シマ

シテ、之ヲ相對比シテ一ツ茲ニ御説ヲ承ツ

テ見タイト思ヒマス、即チ農漁村民ガ汗水

垂ラシテ一生懸命働イタ所得ニ付テハ、四

百圓ヲ控除致シマシテ、之ニ對シテ百分ノ

七・五ヲ課ケルノニ對シ、官公吏等ノ俸給ニ

付テハ、六百圓ノ基礎控除ヲ致シマシテ、

之ニ百分ノ六ト云フ低率ノ課稅ヲ致サレマ

スコトハ、一體何ノ根據ニ依ツテ左様セラ

レタノデアリマセウカ

○櫻内國務大臣 今ノ御話モ度々問題ニ出

タコトデアリマスガ、事業所得ノ方ハ幾ラ

カ資本關係ガ含マレテ居リマスガ、一方ハ

全然資本關係ガ含マレテ居リマス、斯ウ云

フ建前カラ事業所得ノ方ヲ、少シ多く見タ

ヤウナ譯デアリマス

○佐竹委員 ソレデハ小作農民ハドウデゴ

ザイマセウ、舟ヲ借りテ漁業ヲ營ンデ居ル

漁民ハドウデアリマセウ、漁民ハ人様カラ

舟ヲ借りリマジテ金利ヲ拂ツテヤツテ居ル、

小作人ハ人様カラ土地ヲ借りテ小作ヲ致シ

テ居リマス、是ハ勤勞デアリマス、御役人

ハドウデアリマセウ、金利ハ拂ハズニ官廳

ニ頑張ツテ、椅子ノ上ニ蹴然トシテ事務ヲ

執ツテ居ル、ソレデモ勤イテ居ル官公吏ハ

同ジャウニ先づ六百圓引キマセウ、サウシ

テソレニ百分ノ六ヲ課ケマセウ、所ガ一方

ノ一生懸命汗水垂ラシテ働イテ居ル者ハ、

四百圓シカ引キマセヌデ百分ノ七。五ヲ課

ケテ居リマスガ、是デ均衡ガ取レテ居リマ

セウカ

○櫻内國務大臣 只今ノ點デアリマスガ、

千圓以下ノ場合、即チ低イ方面ニ於キマシ

テノ率ハ、七・五ニアラズシテヤハリ六ニナ

ツテ居ルノデアリマス、サウシテ千圓以上

ノ場合ニ於キマシテハ、御話ノ通りニナル

ノデアリマスガ、大體ニ於テ詰リ千圓以下

ノ分ニ對シテハ、同ジャウナ計算ニナツテ

居リマスケレドモ、其ノ點ニ付キマシテハ

ツテ然ルベキダト思ヒマス、私ハ財産ノ有

無ハ別ト致シマシテ——モウ財産ヲ持ツテ

居ルトカ居ラストカ、政府ノ建テア宏壯ナ

スルノハ、是ハドウモ一時免レノ言葉トシ

カ見ラレマセヌ、モツト深刻ナ御答辯ガア

スル譯デハアリマセヌガ、官吏ハ必要經費ハ

オ上ガ負擔シテ居ルデハアリマセヌカ、其

處ヘ持ツテ行ツテ均衡論ヲ論ゼラレヨウト

スルカ

○佐竹委員 必要經費ノ問題ハ、私ハ議論

スル譯デハアリマセヌガ、官吏ハ必要經費ハ

オ上ガ負擔シテ居ルデハアリマセヌカ、其

處ヘ持ツテ行ツテ均衡論ヲ論ゼラレヨウト

スルカ

○櫻内國務大臣 只今ノ點デアリマスガ、

千圓以下ノ場合、即チ低イ方面ニ於キマシ

テノ率ハ、七・五ニアラズシテヤハリ六ニナ

ツテ居ルノデアリマス、サウシテ千圓以上

ノ場合ニ於キマシテハ、御話ノ通りニナル

ノデアリマスガ、大體ニ於テ詰リ千圓以下

ノ分ニ對シテハ、同ジャウナ計算ニナツテ

居リマスケレドモ、其ノ點ニ付キマシテハ

ツテ然ルベキダト思ヒマス、私ハ財産ノ有

無ハ別ト致シマシテ——モウ財産ヲ持ツテ

居ルトカ居ラストカ、政府ノ建テア宏壯ナ

スルノハ、是ハドウモ一時免レノ言葉トシ

カ見ラレマセヌ、モツト深刻ナ御答辯ガア

スル譯デハアリマセヌガ、官吏ハ必要經費ハ

オ上ガ負擔シテ居ルデハアリマセヌカ、其

處ヘ持ツテ行ツテ均衡論ヲ論ゼラレヨウト

スルカ

○佐竹委員 必要經費ノ問題ハ、私ハ議論

スル譯デハアリマセヌガ、官吏ハ必要經費ハ

オ上ガ負擔シテ居ルデハアリマセヌカ、其

悲慘な状態デアリマス、之ニ反シマシテ官公吏ハドウデアリマセウカ、病氣デ御引込恩給ガ待構ヘテ居リマス、將來ノ保證ガ付イテ居リマス、彼此相對比較致シマシテ官公吏ノ勤勞所得ヨリモ、農漁民ノ血ト汗ノ結晶デアル所得ガ、勤勞ニ逆行スル困窮ト云フモノハ果シテ何處ニアルノデアルカ、農民ト云フモノヲ理解セヌ爲デアリマセウカ、大藏當局ノ御作リニナツタ原案デアルカラ、餘り農民ノコトガ分ラナカツタカモ分リマセヌガ、分ラナカツタナラバ、分ラタリ點、御述ノ通リデアリマシテ、其ノ點ニ對シテモ十分考慮ヲ拂フベキ筈デアリマス、先刻來申上ゲマス通り、兎ニ角千圓程度ヲ基準ト致シマシテ、ソレニ加フルニ御承知ノ通リ扶養家族ノ控除等ヲ勘定致シマス、日本全國ヲ通ジマストドウナルニ對シテモ十分考慮ヲ拂フベキ筈デアリマス、日本全國ヲ通ジマスト云フコトデアリマセウカ、農民ガ耕地ヲ手放シ、飼育ノ牛馬ヤ雞マデモ賣ラネバナラスト云フコトハ、何ト云フ深刻な問題デアリマセウカ、近頃物資ノ缺乏竝ニ飼料其ノ他ノ缺乏カラ、只今御話ノヤウナ事柄ノアルコトハ、淘ニ遺憾ナル次第デアリマシテ、是ハ何トカシテ救濟致サナケレバナラスト云フコトヲ、私共深ク考ヘテ居ルノデアリマシテ、其ノ問題ニ付キマシテハ私共極力最善ノ方法ヲ講ジタイト考ヘ居リマス、今御話ノ勤勞所得ト農漁村民ノ事業所得ノ關係ニ付キマシテハ、今官吏ニ例ヲ取付テモ地下足袋ニ付テモ、釘デモ、綿製品デモ、其ノ缺乏ノ状態ハ實ニ極端ニ達シテ問題ハソレノミデハゴザイマセヌ、肥料ニ付テモ地下足袋ニ付テモ、釘デモ、綿製品デモ、其ノ缺乏ノ状態ハ實ニ極端ニ達シテ潤ウテ居ルニハ潤ウテ居リマス、併シ其ノ前カラ、立案シタヤウナ譯デアリマス、イノデアリマシテ、唯今同ノ増稅ニ於テ此ノ程度ハ我慢シテ戴イテ宜カラウト云フ建前カラ、立案シタヤウナ譯デアリマス、アリマス、其ノ實例ハ長野委員カラ過日申上ゲマシタ勞力ノ不足トカ、資材ノ缺乏、潤ウテ居ルニハ潤ウテ居リマス、數日前私ノ郷里配給ノ下圓滑デアリマス、數日前私ノ郷里

高知縣ノ縣廳ノ御役人ガ私ヲ訪ネテ參リマシテ、其ノ時ニ報告ヲ受ケタ數字ハ、過日長野委員カラ申上ゲタ通リデアリマス、其ノ時慥カ大藏大臣其ノ席ニ御見エニナツテ居ラナカツタヤウデアリマスカラ、其ノ縣ノ御調べニナツタ統計ヲ申上ゲテ見タイ、昨年ノ四月ヨリ昨年末マデノ間ニ、烟ノ山三十二箇町村ニ於ケル實情ノ調査ノ結果ハ勞力ト資材ノ不足、配給ノ不圓滑ノ爲ニ、昨年ノ四月ヨリ昨年末マデノ間ニ、烟ノ山ニナツタモノガ七十五町歩、小作人ガ地主へ土地ヲ返還シマシタモノガ二百九十三町歩、牛ヲ賣ツタモノガ六百七十頭、馬ガ七十五頭、雞ハ昨年ノ十二月カラ本年一月マデノ間ニ三万七千羽ト云フモノヲ手放シテ十五頭、雞ハ昨年ノ十二月カラ本年一月マデノ間ニ三万七千羽ト云フモノヲ手放シテ居リマス、日本全國ヲ通ジマストドウナルデアリマセウカ、農民ガ耕地ヲ手放シ、飼育ノ牛馬ヤ雞マデモ賣ラネバナラスト云フコトハ、何ト云フ深刻な問題デアリマセウカ、近頃物資ノ缺乏竝ニ飼料其ノ他ノ缺乏カラ、只今御話ノヤウナ事柄ノアルコトハ、淘ニ遺憾ナル次第デアリマシテ、是ハ何トカシテ救濟致サナケレバナラスト云フコトヲ、私共深ク考ヘテ居ルノデアリマシテ、其ノ問題ニ付キマシテハ私共極力最善ノ方法ヲ講ジタイト考ヘ居リマス、今御話ノ勤勞所得ト農漁村民ノ事業所得ノ關係ニ付キマシテハ、今官吏ニ例ヲ取付テモアルノデアリマシテ、一概ニハ申サレハ多ト致シマス、官公吏ハ勿論一般俸給生

云フコトヲ、私斷言スルニ憚ラナイノデアリマス、而モ農產物價、殊ニ米ハ四十三圓ニ釘付ケサレテ居リマス、肥料其ノ他ノ生産資材ニ付テ之ヲ考ヘテ見マシテモ、飛躍的ニ昂騰致シマシテ、政府ガ如何ニ之ヲ抑ヘヨウトシテモ抑ヘル術モナク、闇取引ガ行ハレテ居リ、闇相場ガ立ツテ居ル、闇相場デナケレバ肥料ハ手ニ入ラナイ、如何ニ農民ガ苦シミツツアルコト云フコトハ言語ニ絶ズルモノガアルノデアリマス、今ヤ長期建設ノ段階ニ於テ、食糧ノ確保ハ絶對必要條件トサレテ居リマス、百姓漁師ヲ大事ニセヨト云フ聲ハ正ニ天ノ聲デアルト思フ、此ノ大切ナル役割ニ任ジ、有ニル物資ノ缺乏、勞力ノ缺乏ト鬪ツテ居ル農漁民ノ血ト汗ニナラスト云フコトハ、何ト云フ深刻な問題デアリマセウカ、之ヲ承リタイ

○櫻内國務大臣 近頃物資ノ缺乏竝ニ飼料其ノ他ノ缺乏カラ、只今御話ノヤウナ事柄ノアルコトハ、淘ニ遺憾ナル次第デアリマシテ、是ハ何トカシテ救濟致サナケレバナラスト云フコトヲ、私共深ク考ヘテ居ルノデアリマシテ、其ノ問題ニ付キマシテハ私共極力最善ノ方法ヲ講ジタイト考ヘ居リマス、今御話ノ勤勞所得ト農漁村民ノ事業所得ノ關係ニ付キマシテハ、今官吏ニ例ヲ取付テモアルノデアリマシテ、一概ニハ申サレハ多ト致シマス、官公吏ハ勿論一般俸給生

ル、其ノ點ニ付テハ其ノ通リニ認ヌマスケレドモ、今回ノ稅ノ趣旨ハ、豫ネテカラ度々申上ゲル通り、一方ハ多少資金關係ヲ含ンシテ、御話ノ小額所得者ニ對シテハ先刻モ申上ゲル通り、大體勤勞所得ト同ジ程度ニ於テ課稅致シテ居ルノデアリマシテ、其ノ點ハ大シテ不都合ナイヤウニ考ヘテ居ルモデアリマス、其ノ點ハ若シ之ヲ變更スルト云フ場合ガ起リマシタナラバ、其ノ場合ニ考慮スペキ點ト思ヒマスガ、現在提案致シテ居リマス趣旨ハ、先刻申上ゲル通りデアリマシテ、ソレ等ハ十分御玩味アランコトヲ希望スル譯デアリマス

○佐竹委員 少シ聲ヲ大ニシテヤリマシタノデ、官吏攻撃ノヤウニ御聞エニナリマシタノカ、唯モウ辯解是レ努ズルト云フヤウナ御答辯ニシカ聞エマセヌデシクガ、今少シク此ノ戰時局ヲ乘切ル爲ニ、斯ウアルベキモノダト云フ濱瀬タル精神ヲ、此ノ委員會ニ表ハサルベキデハナイカト私ハ思フ、私ハ誤解ノナカラシ爲ニ此ノ際一言申上ゲテ置キマスガ、私ハ徒ニ官僚攻撃ヲスル者デハアリマセヌ、此ノ稅法ハ高等官連中ガ御作リニナツタノデアルカラ、自分ニ懸ル分ダケハ餘計ニ課カラヌヤウニ、苦心ヲセラレタデアラウナドト皮肉ヲ申上ゲルノデモアリマセヌ、又此ノ戰時體制下ニ於テ、居竝ブ政府委員各位ガ、決シテ惰眠ヲ食ツテ居ルモノトハ申シマセヌ、日夜國策遂行ノ爲ニ御勵キニナツテ居ル其ノ御勞苦

ニ對シ、基礎控除六百圓ヲナサイマスコト

モ、税率百分ノ六ト云フコトニモ反対ハ致シ  
マセヌ、結構ダト思フ、ダカラ一ツ百姓モ  
オ役人同様ニシテハ貴ヘヌモノダラウカト  
言フノデアリマス、何ダカ私共ガ聲ヲ大ニシ  
テ申シマスト、官吏ガ斯ウ云フ風ニナツテ  
居ルノハイケナイト言フヤウニ御覽ニナル  
カラ、御辯解的ナ御言葉ガ出ルノデアリマ  
スガ、サウデナイ、官吏ニ對シサウナサツ  
テ居ルコトハ御尤モダト思フ、百姓モ困ツ  
神總動員ノ御演説ヲナサイマスヨリモノ  
此ノ實踐躬行ニ如クハナイト考ヘマスガ、  
如何デゴザイマスカ

○櫻内國務大臣 農民諸君ノ勤勞ニ對シテ  
ハ、私十分御察シ致シマスガ、大體ニ於テ  
小作人ノ方ガドノ位一反ニ對シテノ收入ガ  
アルカト考ヘテ見マスト、今御話ノアリマ  
シタ高知縣其ノ他ニ於ケル統計ノ方カラ申  
シマスト、實際ノ小作人ノ所得ノ標準額ト  
云フモノヲ、一反約ソ十四五圓ニ見テ居ルノ  
デアリマシテ、是ガ千圓ノ收入ヲ得ル爲ニ  
ハ、約七町歩近イ田地ヲ耕サナケレバ、千  
圓ノ所得ハ得ラレナイ、即チ千圓未滿ト云  
フモノハ殆ド免稅ニナルノデアリマシテ、  
稅ガ課ラナイ結果ニナルノデアリマス、小  
作人ノ方々ガ千圓以上ノ純收入ヲ得ラレル  
ト云フモノハ、比較的極ク少數デアラウト  
思ヒマス、若シ其ノ場合ニ於テ、ソレ等ガ  
モット多ク收穫ガアルト云フ風ナ場合ガア  
リマスナラバ、其ノ方ハ必ズ家族ノ多い方  
デアツテ、家族控除デ引ケルノデアリマシ  
テ、小作人ノ方々ニ於テサウ御困リニナル  
部分ハ、課稅ノ目的ニナラヌデハナカラウ  
カト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○堀切委員長 大藏省政府委員カラデモ宜  
シウゴザイマスガ、小作人若クハ舟ヲ借り  
テ營業シテ居ル漁民ニ對シ、必要經費ヲ引  
クト云ヒマスガ、ソレハ何「ペーセント」位  
引キマスカ

○大矢政府委員 小作人ニ於キマシテハ肥  
料代、種糞代、農具代ト云フヤウナモノハ  
必要經費トシテ之ヲ差引キマス、サウ云フ  
ヤウニ致シマシテ收入金額ニ對シテハ相當  
控除スル、勿論小作米トシテ納メルモノモ  
經費トシテ差引カレル、斯ウ云フ譯デ、其  
ノ差引イタ純所得ハ少クナツテ來ル、斯ウ  
云フ譯デアリマス、隨ヒマシテ今大藏大臣  
カラ御答ガアリマシタ通り、昭和十四年高  
知縣下ノ小作人ノ年一反當リノ所得標準ハ  
十四圓程度ニナツテ居リマス、斯ウ云フ風  
ニ致シマスト、一町歩小作シマシテモ百  
四十圓、三町歩ニナリマシテ初メテ四百二十  
圓ト云フ風ニナルノデゴザイマシテ、殆ド  
小作專門ニヤツテ居ル人デ課稅ヲ受ケルト  
云フ事例ハ、今度ノ稅制改正案ニ於テモ、  
ナクナルデハナカラウカト思ツテ居ル次第  
デアリマスガ、高知縣ハニ毛作ノ所モアリマス  
ガ、是ハ縣平均ノモノデゴザイマス、ソレ  
カラ漁村ニ於キマシテモ、ヤハリ各種ノ費  
用ハ經費ニ見ラレテ居ル、舟ヲ他所カラ借  
リテ居リマスレバ、其ノ賃借料モ經費ニ見  
ラレルト云フ風ニナツテ居リマシテ、恐ラ  
グ高知縣下ニ於キマシテ、漁民デ從來第三  
種所得稅ノ課稅ヲ受ケテ居ル者ハ、殆ド無  
カラウカト存ジテ居リマス

○堀切委員長 色々ナモノヲ引クト云フノ  
デスガ、小作人、漁民ナドカラ幾ラ引クカ、  
今度其ノ數ガ全國デ非常ニ餘計ナモノニナ  
ツテ來ルニ相違ナイ、サウ云フヤウナモノ  
ガ皆稅務署デ實際調査ガヤレマスカドウ  
カ、ソレガ十分ニヤレル自信ガ有ルカ無イ  
カト云フノデス

○大矢政府委員 大體農民ニ付キマシテハ、  
幾ラ耕作シテ居ルカト云フコトヲ見マスト、  
或村デハ一反當リノ自作ナラバ幾ラ、小作  
ニ付シタ土地デ地主ノ所得ハ幾ラ、現實ニ  
自分ガ土地ヲ耕シテ居ル小作人ノ所得ハ一  
反幾ラ、斯ウ云フ風ニシテ計算シテ居リマ  
スカラ、ソレ程手數ハ掛ラヌコトカト存ジ  
マス、沿岸漁業等ニ付キマシテモ、小規模  
ノモノニ付キマシテハ、御説ノ通リ相當手  
數モ掛ルカト思ヒマスケレドモ、斯ウ云フ  
モノハヤハリ所得ガサウ著シク多クナイモ  
ノデアリマスカラ、大方基礎控除デナクナ  
ルモノデハナカラウカト云フ風ニ考ヘテ居  
リマス

○佐竹委員 小作人ハ餘リ課ラヌト云フ御  
話デアリマスガ、サウスレバ尙更稅收入ニ  
モ關係アリマセヌ、オ役人ト同様ニシタツ  
テ、チツトモ國家ハ御困リニナラヌト思ヒ  
マス、又小作人々々ト申シマスケレドモ、  
鶴モ飼ウテ居リマス、炭モ燒イテ居リマス、  
海岸地方ノ人ハ片手間ニ漁業モ營ンデ居リ  
マス、ダカラ小作人々々ト小作關係ノミ  
ノ統計ヲ以テ御答辯ナサツタツテ、ソレハ  
全部合ウテ居リマセヌ、又私が先程申上げ  
マシタノハ、大藏大臣ハ土地ヲ持ツテ居ル  
ト云フ所有關係ヲ強ク御主張ニナルガ、ソ  
ンナコトヲ餘り強ク言フベキデナインデハナ  
イカト云フノガ私ノ主張デアリマス、又或  
ハ小作人ノ方ガ非常ニ收入ガ多イトカ少イ  
トカ、本當ニ課稅セラレテ居ル數ガ極ク少  
數ダトカ、ソンナコトヲ私ハ論ジテ居  
ス反物デモ、貧乏人が買フ所ノソレデモ、  
容赦ナク定額ノ消費稅ガ課セラレル、富豪  
ガ美妓ヲ侍ラシテ飲ム所ノ高樓ノ酒モ、勞  
働者農民ガ其ノ日ノ疲レヲ醫スル所ノ裏長  
屋ノ二疊座敷ノ酒モ容赦ナク、區別ナク  
定率ノ消費稅ガ課ル、擔稅力モ國民生活ノ  
必需モ何モ考ヘタモノデハナイ、全ク消費  
稅程無慈悲ナモノハナイト云フノハ、是ハ

昔カラノ議論デアツテ、凡ソ慢性的ナ古典的ナ議論トナツテ居リマス、併シ私ハ決シテ此ノ問題ヲ等閑ニ付ズベキモノデハナイト思フ、病氣ハ慢性ダカラト云ツテ拋ツテ置ク譯ニハ行キマセヌ、拋ツテ置イテハ命取リニナル虞ガ多分ニアルノニアリマス、此ノ税制改革案ニ盛ラレテ居ルデアラウカ、ドウデセウ、茲ニ例ヲ取ツテ見マスルナラバ、眞ニ朝カラ晩マデ働イテクタ（

ニ疲レテ歸ル所ノ農民ヤ、労働者ノ疲レヲ醫スル爲ノ必需デアリマスル一杯ノ酒ヲ、濁酒ト云ツタヤウナモノデモオ許シニナルニ、自家用濁酒ヲ造ツテ飲ンデモ宜シトイ

云ツタヤウナコトヲ茲ニ加味致シマスルナラバ、ソレコソ消費稅ノ問題ハケシ飛ンデ、眞ニ政府ノ此ノ消費稅ノ重壓ニ對スル社會政策的御考ガアリ（ト現ハレテ、稅方生キテ來ルンデヤナカト私ハ思フ、此ノ點

○櫻内國務大臣 今回ノ消費稅ハ豫アカラ申シマス通り、大體ニ於テ奢侈的方面ノモノ、若クハ生活上ニ於ケル所ノ不急ナモノ方ニ、多く課稅ヲ致シテ居ルノニアリマス、只今御話ノ、稅ガ上ツタダケ直チニソレダケ價格ヲ上ゲルカト云フ御話ニ付キマシテハ、是ハ度々質疑應答ガアツタヤウデアリマスガ、大體ニ於テ此ノ消費稅ガ上リマスレバ、ソレハ原價ガソレダケ上ル要素トナツテ居ルノニアリマスカラ、之ヲ大體ニ於テ認メルト云フコ

トハ當然ノコトデアリマシテ、唯例外トシテ考慮サレ研究サレベキ所ノ問題ハ、或ハアルグラウト思フノニアリマス、而シテ濁酒ノ問題ガ出マシタガ、此ノ問題ハ全國約五六千石デアリマシタカ、マダ殘ツテ居ルハ許シテ居ラナイ譯デアリマス、即チ種々アル關係上許サヌト云フ方針デ參ツテ居ル譯デアリマス

○佐竹委員 是ハ問題ヲ私基ダ限局シテ參ルヤウデアリマスケレドモ、例ヘバ織物ナラ織物、或ハ酒ナラ酒ニ限定シテ私ハ言フノデハゴザイマセヌ、消費稅全般ニ付テ言ノマスヤウニ、國民生活ニサウヒドイ影響ヲ及ボスコトハナイト云ツタヤウナ簽章ハ、甚ダ以テ怪シカラスト私ハ思フ、併シ問題ヲ分リ易クスル爲ニ一例トシテ酒ニ例ヲ取り、織物ニ例ヲ取ツテ申上ゲルニ過ギマセス、根本ニ流レテ居ル所ノ精神ニ付テ、私ハ十分ニ之ヲ酌取ツテ一ツ御考ヲ願ヒタイト思フ、例ヘバ今ノ濁酒ノ問題ニ致シマシテモ、從來ハ稅ノ收入ノ關係カラソンナモノヲ許シマスルト、大藏省方面徴稅額ガ少クナツテ困ル御心配ガアツタカモ分リマセヌ、併シ今度ハ減石ナサルノデアツテ、隨テ之ニ伴フ分クライハ濁酒ニ之ヲ振向ケテヤル、即チ最小限度ノ生活必需デアジテ居ルノデアリマス、只今御話ノ、稅ガ上ツタダケ直チニソレダケ價格ヲ上ゲルカト云フ御話ニ付キマシテハ、是ハ度々質疑應答ガアツタヤウデアリマスガ、大體ニ於テ此ノ消費稅ガ上リマスレバ、ソレハ原價ガソレダケ上ル要素トナツテ居ルノニアリマスカラ、之ヲ大體ニ於テ認メルト云フコ

トハ當然ノコトデアリマシテ、唯例外トシテ考慮サレ研究サレベキ所ノ問題ハ、或ハアルグラウト思フノニアリマス、而シテ濁酒ノ問題ガ出マシタガ、此ノ問題ハ全國約五六千石デアリマシタカ、マダ殘ツテ居ルハ許シテ居ラナイ譯デアリマス、即チ種々アル關係上許サヌト云フ方針デ參ツテ居ル譯デアリマス

○櫻内國務大臣 今回ノ濁酒ノ問題デアリマスガ、モノハ造ツテハ相成ラズト云フ交換條件ニアルグラウト思フノニアリマス、而シテ濁酒ノ問題ガ出マシタガ、此ノ問題ハ全國約五六千石デアリマシタカ、マダ殘ツテ居ルハ許シテ居ラナイ譯デアリマス、即チ種々アル關係上許サヌト云フ方針デ參ツテ居ル譯デアリマス

○佐竹委員 是ハ問題ヲ私基ダ限局シテ參ルヤウデアリマスケレドモ、例ヘバ織物ナラ織物、或ハ酒ナラ酒ニ限定シテ私ハ言フノデハゴザイマセヌ、消費稅全般ニ付テ言ノマスヤウニ、國民生活ニサウヒドイ影響ヲ及ボスコトハナイト云ツタヤウナ簽章ハ、甚ダ以テ怪シカラスト私ハ思フ、併シ問題ヲ分リ易クスル爲ニ一例トシテ酒ニ例ヲ取り、織物ニ例ヲ取ツテ申上ゲルニ過ギマセス、根本ニ流レテ居ル所ノ精神ニ付テ、私ハ十分ニ之ヲ酌取ツテ一ツ御考ヲ願ヒタイト思フ、例ヘバ今ノ濁酒ノ問題ニ致シマシテモ、從來ハ稅ノ收入ノ關係カラソンナモノヲ許シマスルト、大藏省方面徴稅額ガ少クナツテ困ル御心配ガアツタカモ分リマセヌ、併シ今度ハ減石ナサルノデアツテ、隨テ之ニ伴フ分クライハ濁酒ニ之ヲ振向ケテヤル、即チ最小限度ノ生活必需デアジテ居ルノデアリマス、只今御話ノ、稅ガ上ツタダケ直チニソレダケ價格ヲ上ゲルカト云フ御話ニ付キマシテハ、是ハ度々質疑應答ガアツタヤウデアリマスガ、大體ニ於テ此ノ消費稅ガ上リマスレバ、ソレハ原價ガソレダケ上ル要素トナツテ居ルノニアリマスカラ、之ヲ大體ニ於テ認メルト云フコ

トハ當然ノコトデアリマシテ、唯例外トシテ考慮サレ研究サレベキ所ノ問題ハ、或ハアルグラウト思フノニアリマス、而シテ濁酒ノ問題ガ出マシタガ、此ノ問題ハ全國約五六千石デアリマシタカ、マダ殘ツテ居ルハ許シテ居ラナイ譯デアリマス、即チ種々アル關係上許サヌト云フ方針デ參ツテ居ル譯デアリマス

○櫻内國務大臣 濁酒ノ問題デアリマスガ、モノハ造ツテハ相成ラズト云フ交換條件ニアルグラウト思フノニアリマス、而シテ濁酒ノ問題ガ出マシタガ、此ノ問題ハ全國約五六千石デアリマシタカ、マダ殘ツテ居ルハ許シテ居ラナイ譯デアリマス、即チ種々アル關係上許サヌト云フ方針デ參ツテ居ル譯デアリマス

○佐竹委員 是ハ問題ヲ私基ダ限局シテ參ルヤウデアリマスケレドモ、例ヘバ織物ナラ織物、或ハ酒ナラ酒ニ限定シテ私ハ言フノデハゴザイマセヌ、消費稅全般ニ付テ言ノマスヤウニ、國民生活ニサウヒドイ影響ヲ及ボスコトハナイト云ツタヤウナ簽章ハ、甚ダ以テ怪シカラスト私ハ思フ、併シ問題ヲ分リ易クスル爲ニ一例トシテ酒ニ例ヲ取り、織物ニ例ヲ取ツテ申上ゲルニ過ギマセス、根本ニ流レテ居ル所ノ精神ニ付テ、私ハ十分ニ之ヲ酌取ツテ一ツ御考ヲ願ヒタイト思フ、例ヘバ今ノ濁酒ノ問題ニ致シマシテモ、從來ハ稅ノ收入ノ關係カラソンナモノヲ許シマスルト、大藏省方面徴稅額ガ少クナツテ困ル御心配ガアツタカモ分リマセヌ、併シ今度ハ減石ナサルノデアツテ、隨テ之ニ伴フ分クライハ濁酒ニ之ヲ振向ケテヤル、即チ最小限度ノ生活必需デアジテ居ルノデアリマス、只今御話ノ、稅ガ上ツタダケ直チニソレダケ價格ヲ上ゲルカト云フ御話ニ付キマシテハ、是ハ度々質疑應答ガアツタヤウデアリマスガ、大體ニ於テ此ノ消費稅ガ上リマスレバ、ソレハ原價ガソレダケ上ル要素トナツテ居ルノニアリマスカラ、之ヲ大體ニ於テ認メルト云フコ

テ、何トカシテソレニ對スル所ノ對策ヲ講究ヲ致シテ居ル次第アリマス、ソレカラ農家ノ消費税ノ負擔減少ト云フ問題デアリマスガ、此ノ問題ハ御話ノ通りデアリマシテ、今回ノ稅制改革ニ於キマシテ戸數割ヲ廢止シタコト等モ、ヤハリ其ノ見地カラ行

奢侈的方面及ビ不急ノ方面ニ觀點ヲ置イテツタ譯デアルノデアリマス、消費税ノ問題ニ對シテハ前カラ申上ゲマス通り、主トシテハ割合ニ少イ金額ヲ計上致シタヤウナ譯デアリマス。

○佐竹委員 私ニハ今一つ私見ガアリマス、是ハ商工大臣ノ御出席ヲ願ツテ、共ニ御聽ヲ願ヒタイト考ヘマシタガ、ドウモ御多忙ノヤウデアリマスカラ、大藏大臣ニ一ツ聽イテ置イテ戴キタイト思フ、商工大臣ガ何度適正物價ヲ仰シヤラレマシテモ、獎勵金ヲ御出シニナリマシテモ、根本ノ物資不足モ結構デアリマセウ、斯ウ云フ工合ニナリマスト、大酒飲モナクナツテシマフ〔因ル〕ト呼フ者アリ〕總體トシテノ負擔モ澤山ニ餘計取ルコトガ出來ル、ソコデ國民大衆ハ最小限度ノ生活確保ガチヤント出來マス、所ガ一面ニ無駄ノ消費ヲ致シマスノハ多クト、通貨ノ膨脹ガ續キマス限り、物價ノ昂騰ト闇相場ノ横行、國民生活ノ不安ハ容易ニ除去サレルモノデハナイト私共ハ考ヘマス、今度ノ稅制改革デ「インフレ」ガ遺憾ナク防止サレルモクトモ思ヒマセヌ、低物價政策ガ堅持サレルモノトモ思ヘナイ氣持ス。此ノ委員會デスルノデアリマス、更ニ消費稅ノ増徵ハ、一層物價ノ騰貴ヲ惹起致ス

○佐竹委員 私ハ決シテ困難デハナイト思ジタイト思ヒマシテ、目下之ニ對シテハ農家ノ消費税ノ賦課ニ因ツテ上ツテ參リマスル物價ニ依ツテ、國民生活ニ脅威ヲ與ヘル問題ヲ解決スル所ノヨスガハナイト私ハ思テ、私ノ考ヘマスノハ、累進物價案ト云フモハドウデアラウカ、例ヘバ酒ニ例ヲ取リマス、農民、勞働者ガ其ノ疲勞ヲ慰スル爲ニ、例ヘバ一合ノ酒ヲ飲ミマス、サウスナル其ノ最小限度生活必需ノ、例ヘバ一合ナル二合ニ付テハ最低價格デ、何時ニテモ是ガ供給ヲ受ケルコトガ出來ル、國民生活ノ確保ヲ政府ガ保障スル、ソコデ今度ソレヲ二本、三本以上飲ム時ニハ二倍、三倍取ル、料理屋ナンカデ飲ム連中ガ、例ヘバ五合以上飲ンダナラバ、一合ニ付テ十圓位取ツテモ結構トシテノ負擔モ澤山ニナリマスト、大酒飲モナクナツテシマフ〔因ル〕ト呼フ者アリ〕總體トシテノ負擔モ澤山ニ餘計取ルコトガ出来ル、ソコデ國民大衆ハマス、隨ヒマシテ其ノ御趣旨ハ私ハ今日ノ譯デアリマシテ、今佐竹君ノ御話ノコトハ實際實例トシテハ無イコトハナインデアリマス、隨ヒマシテ其ノ御趣旨ハ私ハ今日ノ社會上カラ考ヘテ見マシテモ、洵ニ良イコトダト思ヒマス、今日今ノ遊興飲食稅アタリニ致シマシテモ、所謂五圓以上ト五圓未満トノモノニ付キマシテノ區分ヲ致シテ居ルノハ、一面ニ於テサウ云フコトノ意味ヲ含蓄致シテ居ルト思フノデアリマス、今御話ノ酒ノ一本、二本ハドウ斯ウト云フコトニナリマスト、日本全國ニ切符制度デモ布イテ、其ノ切符制度ニ又何カ特殊ナ符號デ付ケテヤラナケレバ、容易ニ是ハ監督ガ出来ナインデアリマシテ、實際ニ實行スル上ニス、併シ物價ヲ決メマス場合ニ累進物價ヲ決メテ、サウシテ生活ノ最小限度ニ於テ、成ベク安キ生活ノ出來ルヤウナ方法ヲ講ズルト云フ事柄ノ其ノ御見透シノ點ニ

○佐竹委員 私ハ思ヒマス、今日ノ世相デハ最早適正物價ヲロスサンデ居リマシテモ、物價委員會ヲオイデリニナリマシテモ、根本問題ハ解決サレマセヌ、何トカ根本的ノ對策ヲ要スル時デアリマス、私ハ累進物價案以外ニナイト考ヘマス、是ハ大藏大臣デ出來ヌコトハアルマイト私ハ思フガ、一つ御考ヘニ

此ノ問題ハ解決シ得ルモノデハナイト思出来ルモソト高所大所カラ見ル所ノ、モツト高邁ナ御意見ト云フモノガナケレバ、今カ、斯ウ云ツタコトヲ一切處理スルコトノ費稅ノ增徵ハ、一層物價ノ騰貴ヲ惹起致ス

○佐竹委員 大藏省關係ニ付テ質問ヲ續ケテ參リマス、法人稅ヲ百人ノ二十カラ百分ノ十八ニ下ゲタノハ、ドウ云フ理由デゴザ

○佐竹委員 大藏省關係ニ付テ質問ヲ續ケテ參リマス、法人稅ヲ百人ノ二十カラ百分ノ十八ニ下ゲタノハ、ドウ云フ理由デゴザ

○佐竹委員 大藏省關係ニ付テ質問ヲ續ケテ參リマス、法人稅ヲ百人ノ二十カラ百分ノ十八ニ下ゲタノハ、ドウ云フ理由デゴザ

○佐竹委員 大藏省關係ニ付テ質問ヲ續ケテ參リマス、法人稅ヲ百人ノ二十カラ百分ノ十八ニ下ゲタノハ、ドウ云フ理由デゴザ

○佐竹委員 大藏省關係ニ付テ質問ヲ續ケテ參リマス、法人稅ヲ百人ノ二十カラ百分ノ十八ニ下ゲタノハ、ドウ云フ理由デゴザ

○佐竹委員 大藏省關係ニ付テ質問ヲ續ケテ參リマス、法人稅ヲ百人ノ二十カラ百分ノ十八ニ下ゲタノハ、ドウ云フ理由デゴザ

○大矢政府委員 是ハ恐ラク、當初稅制調査會ニ主稅局試案トシテ出シタ法人稅ノ稅率ハ百分ノ二十デアツタガ、今度議會ニ提案シタノハ百分ノ十八トナツテ居ル、斯ウ云フ風ニ變更シタノハドウ云フ譯デアルカ、云フ御尋ト存ジマス、實ハ御承知ノ通り税制調査會ニ對シマシテハ、大藏大臣ガ中央地方ヲ通ズル稅制ノ改正ニ關スル方策如何ト云フ諮詢ト存ジマス、實ハ御承知ノ通り之ニ付キマシテ税制調査會ガ、小委員ヲ設ケマシテ立案スルコトニナツタノデアリマス、其ノ際小委員ノ希望ト致シマシテ、何極メテ「ラフ」ナモノデモ宜イカラシテ、二纏マリガ付カヌ、ソレニ付テハ當局ニ於テカ中心ニシテ話ヲ進メテ行カナケレバ中々カ、是ガ私ノ御尋シヨウトスル點デアリ

ナルマデニ、變更セラレテ來テ居ルノデアリマシテ、要スルニ當初ノ案ハ政府ノ決定の案デハナカツタ、最後ニ議會ニ提出致シマシタ案ガ、政府ノ決定案デアル、斯ウ申上げタイト存ジマス  
○佐竹委員 ソレデハドウモ內容ニ付テ何ノ御答辯ニモ實ハナラスト考ヘマス、少クトモ試案デモ宜シウゴザイマス、案ヲ御出シニナツタ以上ハ、此ノ邊方正當グラウト云フ御見込ト云フモノハ付ケテ出シタ譯ト私共ハ考ヘマス、ソレヲ下ゲナケレバナラスト云フ氣持ニナツタ其ノ理由ガ何處ニアルカ、是ガ私ノ御尋シヨウトスル點デアリマス

○大矢政府委員 稅制調査會ニ於ケル意見其ノ他各方面ノ意見ヲ參酌致シマシテ詳細ニ検討致シマシタ結果、當初ノ主稅局試案ノ百分ノ二十ト致シマスルト法人ノ負擔ガ稍、重キニ過グルト云フ感ジガゴザイマスノデ、ソレデ百分ノ十八ト致シタ次第デアリマス  
○佐竹委員 財界方面カラ是デハ負擔ガ重過ギル、斯ウナルトドウモ生産力擴充ニモ影響ガアルデヤナイカ、斯ウ云フ御意見デモアツタノデハアリマセヌカ

○大矢政府委員 稅制調査會ニ於キマシテ相當之ニ付テノ御意見ガアリマシタ、ソレザイマセヌ、サウ云フ譯デアリマスカラシテ、稅制調査會ノ小委員會ニ於キマシテハ、之ヲ中心ニシテ色々議論シテ開ハシタ結果ト云フ風ニ考ヘテ出シタ案デハゴザル案ダト云フ風ニ考ヘテ出シタ案デハゴザル案ダト云フ風ニ考ヘテ出シタ案デハゴザル案ダト云フ風ニ考ヘタラド多數ノ御意見デ、斯ウ云フ風ニ變ヘタラド致シマシテ、當局ノ試案ニ付テ殆ド全會一致デ是ガ變更ヲ希望シタノモアリマス、又相當之ヲ中心ニシテ色々論議ヲ開ハシタ結果ト云フ譯デゴザイマスカラシテ、獨リ法人稅ノ税率ノミナラズ、全般ニ瓦ツチ相當當局ノ試案ト云フモノハ、後ノ政府ノ確定案ニ

ナルマデニ、變更セラレテ來テ居ルノデアリマシテ、要スルニ當初ノ案ハ政府ノ決定の案デハナカツタ、最後ニ議會ニ提出致シマシタ案ガ、政府ノ決定案デアル、斯ウ申上げタイト存ジマス  
○佐竹委員 ソレデハドウモ內容ニ付テ何ノ御答辯ニモ實ハナラスト考ヘマス、少クトモ試案デモ宜シウゴザイマス、案ヲ御出シニナツタ以上ハ、此ノ邊方正當グラウト云フ御見込ト云フモノハ付ケテ出シタ譯ト私共ハ考ヘマス、ソレヲ下ゲナケレバナラスト云フ氣持ニナツタ其ノ理由ガ何處ニアルカ、是ガ私ノ御尋シヨウトスル點デアリマス

○大矢政府委員 時下ニ於テ本當ニ儲ケテ居リマス、而シテ現在實際戰爭然ト致シテ居リマス、而シテ現在實際戰時下ニ於テ本當ニ儲ケテ居リ、莫大ナ利潤ヲ挙ガテ居ルモノハ何ト云ツテモ法人デアリマス、時局ノ波ニ乘ツテ笠棒ニ儲ケテ居ルモノハ法人ト云ツテ差支ナイ、儲カツタモノナラバ其ノ儲カツタモノノ中カラ成ベク多ク出スト云フコトハ、此ノ時局ニ奉仕スル意味合ニ於テ蓋シ當然デアルト私ハ思ヒマス、若シモ百分ノ二十ナドト云フコトニスルト法人ノ負擔ガ重過ギテ、逆モ是デハ自分達ハ政府ノ要望スル生産力擴充ハ出來ヌナドト云ツタヤウナ、何ト申シマスカ、語弊ハアリマスガ多少威嚇付ノ御意見トカ運動トカ云ツタヤウナモノガアツタ譯デハゴザイマセヌデセウカ

○大矢政府委員 此ノ主稅局試案ガ世間ニ發表セラレテカラ色々ナ意見ガ各方面ニアツタノデアリマス、只今議會ニ提案致シテ居ルモノニ付キマシテモ、財界ノ一部ニ於カラ財界方面ニ於テモ勿論サウ云フ聲ガアリマセヌ、サウ云フ譯デアリマスカラシテ、稅制調査會ニ付テ殆ド全會一致デ是ガ變更ヲ希望シタノモアリマス、又相當之ヲ中心ニシテ色々論議ヲ開ハシタ結果ト云フ風ニ變ヘタラド多數ノ御意見デ、斯ウ云フ風ニ變ヘタラドウカト云フノモアツタノデアリマス、サウ云フ譯デゴザイマスカラシテ、獨リ法人稅ノ税率ノミナラズ、全般ニ瓦ツチ相當當局ノ試案ト云フモノハ、後ノ政府ノ確定案ニ

ナルマデニ、變更セラレテ來テ居ルノデアリマシテ、要スルニ當初ノ案ハ政府ノ決定の案デハナカツタ、最後ニ議會ニ提出致シマシタ案ガ、政府ノ決定案デアル、斯ウ申上げタイト存ジマス

○佐竹委員 恐ラクサウ云フ方面ノ意見ヲリマシテ、要スルニ當初ノ案ハ政府ノ決定の案デハナカツタ、最後ニ議會ニ提出致シマシタ案ガ、政府ノ決定案デアル、斯ウ申上げタイト存ジマス

○佐竹委員 恐ラクサウ云フ方面ノ意見ヲリマシテ、要スルニ當初ノ案ハ政府ノ決定の案デハナカツタ、最後ニ議會ニ提出致シマシタ案ガ、政府ノ決定案デアル、斯ウ申上げタイト存ジマス

○佐竹委員 恐ラクサウ云フ方面ノ意見ヲリマシテ、要スルニ當初ノ案ハ政府ノ決定の案デハナカツタ、最後ニ議會ニ提出致シマシタ案ガ、政府ノ決定案デアル、斯ウ申上げタイト存ジマス

○佐竹委員 恐ラクサウ云フ方面ノ意見ヲリマシテ、要スルニ當初ノ案ハ政府ノ決定の案デハナカツタ、最後ニ議會ニ提出致シマシタ案ガ、政府ノ決定案デアル、斯ウ申上げタイト存ジマス



ルノト同ジ規定デアリマスガ、其ノ第二項ト致シマシテ「法人ガ各事業年度ニ於テ納付シタル又ハ納付スベキ法人稅及臨時利得稅ハ前項ノ所得ノ計算上之ヲ損金ニ算入セズ」

此ノ規定ヲ入レルコトニ依ツテ、從來ト計算方法ガ變更セラルノデアリマス、問題ハ斯クノ如クスルノハ宜イカドウカト云フコトデアリマシテ、法律上一旦之ニ決メレバ、サウ解釋シテ行クベキモノト存ズルノデアリマス

ソレカラ先程西川サンニ御答致シマシタノハ、是ヘ現行法ノ解釋トシシテデハゴザイマセヌ、性質上寄附金ハドウ云フ性質ノモノカ、斯ウ云フコトデアリマシテ、ソレハ利益ノ澤山アル場合ニ多ク寄附スルト云フノガ普通ノ事例デアルカラ、之ヲ益金處分ト見ルノガ本當デヤナイカト云フ御議論ナラバ、モ有力ナ御議論ダト拜聽スル、斯ウ申シス

○板谷委員 モウ一點確メテ置キタイノデスガ、今御話ノ第四條ノ但書ト云フノハ是カラ新ニ入レヨウト云フノデスカ、或ハ從來アル但書ノコトヲ御話ニナルノデスカ

○大矢政府委員 御手許ニ參ツテ居ルト存ジマス、法人稅法案ノ第四條第二項デゴザイマス、モウ一遍讀上ゲマス「法人ガ各事業年度ニ於テ納付シタル又ハ納付スベキ法人稅及臨時利得稅ハ前項ノ所得ノ計算上之ヲ損金ニ算入セズ」斯ウ規定シテ居リマスアリマシテ、ソレナラバ沟ニソレデ結構デアリマス、ソレナラ法人稅ハ本來益金

ノ處分デゴザイマスカラ損金ニ見テ宜イ、デゴザイマスナラバ百分ノ二十程度徵收致シマルコトハ寧ロ相當デハナカラウカト

ハ前項ノ所得ノ計算上之ヲ損金ニ算入セズ」此ノ規定ヲ入レルコトニ相成リ

ハ斯クノ如クスルノハ宜イカドウカト云フコトデアリマシテ、法律上一旦之ニ決メレバ、サウ解釋シテ行クベキモノト存ズルノ

度ノ一箇年ノ損金ヲ現事業年度ノ所得計算上之ヲ損金ニ算入スルト云フコトニ相成リ私共ハ思フノデアリマス、ソレニ前事業年マシテ、可ナリ他ノ方面デ手加減ヲ加ヘテ居ルノデアリマス、先程モ申上げマシタ如ク、生産力擴充ノ爲ニハ臨時ノ措置ニ付テ相當考慮ヲ拂ハレル、又實際此ノ時局ノ波ニ乘ツテ餘計ニ儲カツテ居ルモノハ所謂法人、サウシテ殷賑產業ト申シマスル大部分ハ此ノ法人ノ手ニ依ツテ爲サレテ居ル、サウ云フ場合ニ、莫大ナ儲ヲ致シテ居ルトス

レバ、百分ノ二十位御負擔ニチツテモ然ルベキヂヤナイカト思ヒマスルノニ、先程マデ御説明ノ程度デハ、此ノ百分ノ二十ト云フモフハドウモ重イ、唯重イト思フト云フダケデアリマシテ、其ノ百分ノ二十ト課ケアルカ、具體的ノ内容、根據ト云フモノヲ御示シニナリマセヌ限りハ、單ニドウモ重イト思ハレタカラサウシタノダト云フノダケデハ、私共納得ガ行カナイノデアリマス、今少シク掘下ゲテ御答辯ガ願ハレマスマイ

○板谷委員 モウ一點確メテ置キタイノデスガ、今御話ノ第四條ノ但書ト云フノハ是カラ新ニ入レヨウト云フノデスカ、或ハ從來アル但書ノコトヲ御話ニナルノデスカ

○大矢政府委員 御手許ニ參ツテ居ルト存ジマス、法人稅法案ノ第四條第二項デゴザイマス、モウ一遍讀上ゲマス「法人ガ各事業年度ニ於テ納付シタル又ハ納付スベキ法人稅及臨時利得稅ハ前項ノ所得ノ計算上之ヲ損金ニ算入セズ」斯ウ規定シテ居リマスアリマシテ、ソレナラバ沟ニソレデ結構デアリマス、ソレナラ法人稅ハ本來益金

○佐竹委員 只今ノ御答辯ニ依リマシテ、交換的ニ讓歩シタノデハナイ、斯様ニ仰シヤルノデアリマシテ、ソレナラバ沟ニソレデ結構デアリマス、ソレナラ法人稅ハ本來益金

ノ處分デゴザイマスカラ損金ニ見テ宜イ、ヒマシテ抽象的ニ法人ニ對スル稅率ハドノ位ガ宜イカト云フコトハ、一概ニ言ヒ兼ネ

ルカト存ジマス、昭和十二年ノ臨時租稅增徴法以來、相當法人ノ負擔が重クナツテ來テ居リマスガ、一方ニ於キマシテ法人企業ノ

成績ハ、尙ホ依然トシテ大體ニ於テ好況ヲ持続シテ居ルノデアリマスカラ、從來ニ比シテ尙ホ幾分負擔サセテモ宜イデハナカラ

ウカト云フ感モ致スノデアリマス、ケレドモ又餘リニ之ニ急激ニ負擔ヲ増加セシムルノモ、生産力擴充等ノ大ナル國策ノ要求ガアルノデアリマスカラ、此ノ點モ十分考慮ガシナケレバナラスト思フノデアリマス、ゾレデ此ノ前ニ申上げマシタ通り、大體個人方面ノ所得稅ノ負擔ハ、中央地方ヲ通ジテ見マシテ一割程度ノ增加ニナルコトカト存ジテ居リマス、ソレカラ法人ノ方ニ於キマシテハ、一割五分程度ノ增加ニナルノデハナカラウカ、隨ヒマシテ、個人ニ對シマスルヨリハ法人ニハ相當負擔増加ノ程度ガ強クナツテ居ルト思フノデアリマシテ、先づ我國ノ經濟界ノ現在ノ狀況カラ致シマシテ、此ノ程度ノ増稅デモ、一部ノ人カラ見マスレバ堪へ難キ負擔デアルト云フコトモ言ハレテ居ルヤウナ有様デアリマシテ、私共ト致シマシテハ、先づ他ノ方面ノ負擔ト比較致シマシテ、均衡ヲ得テ居ルノデハナカラフ御話デゴザイマス、一體法人ニ對スル稅負擔ガドノ程度デ宜イカト云フコトハ、私ハ中々之ヲ机ノ上デハ決メラレナイコトダト思フノデアリマシテ、其ノ國ノ産業ノ状態カラシテ、此ノ程度ノ稅負擔ラシテモ尙且ツ法人企業ガ十分存立シテ行ケルモノダ

○大矢政府委員 此ノ法人稅ノ所得ニ對スル稅率百分ノ十八デハ輕イデハナイカト云フ御話デゴザイマス、一體法人ニ對スル稅負擔ガドノ程度デ宜イカト云フコトハ、私ハ中々之ヲ机ノ上デハ決メラレナイコトダト思フノデアリマシテ、其ノ國ノ産業ノ状態カラシテ、此ノ程度ノ稅負擔ラシテモ尙且ツ法人企業ガ十分存立シテ行ケルモノダト云フ所ニ、一體法人稅ノ負擔ノ程度ト云

マシテハ、此ノ百分ノ十八ノ外ニ相當程度高イ負擔ガ別ニアリマスノデ、大體均衡ヲ得テ居ルノデハナカラウカ、斯ウ存ジテ居リマス

○佐竹委員 縷々御説明デハアリマスガ、何ト申シマシテモ、偉イモノニハ頭ヲ叩カセロ、長イモノニハ捲カレロト云ツタヤウナ氣分ガ、何トナク抜ケ切レマセヌ、今回ノ稅制改革ヲ通覽致シマシテ、先程大藏大臣ニ御質問申上げマシタ如ク、第二種綜合課稅問題ニ致シマシテモ、主稅局長ガ仰シヤルヤウニ、理論上ハ綜合ニスルノガ正シ

イト云フ、併シ是ハ私ハ其ノ理論通リニ遂行シ切レナイ、何モノカ割切レナインモノガアルカノ如ク私共ニ思ハシム、質問ヲ致シマシテモ割切レマセヌ、此ノ問題ニ付テ權衡ノ問題ヲ色々ト御論ジニナリマスケレドモ、ドウモ私共ハサツパリサウ云フ氣持ニナレマセヌ、何ト申シマスカ、何トハナシニ産業方面ノ或ル種ノ力ニ壓サレテ居リマス、ソレカラ法人ノ方ニ於キマシテハ、一割五分程度ノ增加ニナルノデハナカラウカ、隨ヒマシテ、個人ニ對シマスルヨリハ法人ニハ相當負擔増加ノ程度ガ強クナツテ居ルト思ハレナイ、サウ云ツタ氣分ガ拔切レマセヌ、私此ノ際尙ホ御尋ヲ申上げテ置キタイノハ、第二種所得ノ綜合課稅ヲ源泉課稅ニスルコトニ選擇ヲスルコトヲ許シマシタ結果、竝ニ法人稅ノ稅率ヲ最初ノ案ヨリモ引下ダマシタ結果、地方分與稅ニ及ボス影響ハ相當大アル考ヘラレマス、此ノ點過日本會議デモ御尋申上げテ置キマシタケレドモ、ドウモ満足ヲ致シマセヌノデ、今一ツ御尋ヲ申上げテ置キタイ、即チ政府ノ御答辯デハ、第二種所得ヲ綜合カ源泉カ選擇ヲ得セシメタ結果失フ所ノモノハ千五百万圓、法人稅率ヲ百分ノ二十カラ十

八ニ致シマシタ結果、得ベカリシモノヲ失フモノ五千万圓、合計六千五百万圓、是ダ

ケヲ失フコトニナリマス、是ハ決シテ少イ  
金額トハ申サレマセヌ、而シテ地方ノ配付  
稅ニ於キマシテハ、是等ノ國稅ヲ財源トシ  
テ居リマシテ、右國稅ガ減リマシタコトニ  
伴ツテ百分ノ一六・五五ダケハ地方ノ其ノ財  
源ヲ失フノハ當然デアリマス、ソコデ若シ  
モ右財源ヲ失フコトガナカツタナラバ、吾  
吾ガ年來要望致シテ居リマシタ所ノ、又内  
務當局モ吾々ノ要望ニ答ヘルカノ如ク見エ  
テ居リマシタガ、例ヘバ自轉車稅ノ撤廢ノ  
如キハ、是ハ實現出來タノデハナカラウカ  
ト、斯様ニ思フノデアリマス、斯ウ見テ參  
リマスト、金融資本家ノ利益ニ於テ、自轉  
車ヲ所有スル國民大衆ニ重壓ヲ加ヘルノ結  
果ニナルカノ如キ、少クトモ形ハ備ヘテ居  
リマス、形ハサウダガ、實際ハサウデハナ  
イト仰シヤイマスナラバ、是ハ細カニ御説  
明ヲ願ヒマセヌ限り、必ズ國民大衆ハ承知  
ヲ致シマセヌ、今少シク内容ニ立入ツテ、  
御懇切ニ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○大矢政府委員 所謂現行ノ第二種所得ヲ  
綜合課稅トスルコトニシタガ、併シ納稅者  
ノ選擇ニ依ツテ源泉課稅トスル途ヲ開クコ  
トニ依ツテ千五六百万圓ノ稅收入が減少ス  
ル見込デアルト云フコトハ、今申上ゲタ通  
リデゴザイマス、更ニ法人稅ノ稅率ハ、當  
初ノ主稅局試案ガ百分ノ二十デアリマシタ  
モノヲ、百分ノ十八ニ變更スルコトニ依ツ  
テノ減收モ大體五千万圓程度デアルカト存  
イマスガ、是ト分與稅ノ額トハ別ニ何等ノ  
關係モナイノデアリマシテ、度々申上ゲマ  
ス通り、分與稅ノ額、配付稅ノ額ハドウシ  
テ決ツタカト申シマスト、昭和十五年度ニ  
於テ此ノ度ノ稅制改正ナカリセバ舉げ得ベ

キ地方團體ノ稅收入ノ總額ト、此ノ度ノ稅  
制改正ニ依ツテ地方團體ノ失フベキ稅收入  
ノ總額、臨時地方財政補給金モ加算セラレ  
マスガ、ソレト差引キマスト三億五千万圓  
テソチラノ方デ殖エテ行クカラ差引キ三  
億二千七百万圓、是ダケガ此ノ度ノ地方稅  
制ノ改正ニ依ツテ地方團體ガ全體トシテ失  
フ財源デゴザイマシテ、之ヲ國庫ノ方ヨリ  
分與稅トシテ交付シテヤラウト云フ譯デゴ  
ザイマス、隨テ法人稅或ハ所得稅ノ稅收入  
ガ國ニ於テ減リマスト、地方團體ノ方ニ對  
シテハドウシテモ三億二千七百万圓ト云フ  
金ヲヤラナケレバナリマセヌカラ、百分ノ  
十六・五五ト云フ率ガ變ツテ來ナケレバナラ  
ヌト云フコトニナルノデアリマス、換言致  
シマスルト、若シモ當初ノ主稅局試案ノヤ  
ウニ法人稅ヲ百分ノ二十ト致シ、個人ノ所  
得稅ニ於テモ公社債、銀行預金利子等ニ  
對シテ源泉課稅ヲ選擇スル餘地ヲ與ヘ  
ナカツタト致シマスルト、六千五六百万  
圓ノ增收ニナルノデアリマスカラ、隨テ  
假ニサウ致シマスルト、配付稅ノ率百分ノ  
十六・五五ハ或ハ百分ノ十六トカ十五トカ云  
フ風ニ減收ニ來ルト云フ譯デアリマシテ、  
第二種所得稅ノ源泉課稅選擇、法人稅ノ稅  
率ノ輕減、ソレカラ此ノ配付稅ノ金額トノ  
間ニ於テハ何等ノ關係ガナイト考ヘテ居リ  
マス

○佐竹委員 何等ノ關係ノナイト云フ御言  
葉ダケハ分リマシタガ、關係ノナイ内容ガ  
一向分リマセヌ、内務大臣ニ御見エ戴キマ  
シタカラ、此ノ方面カラ聽イタ方ガ一番分  
リ易イカト思フ、ドウデセウ、若シ内務省  
ニ於テ一應確定シタ調整財源總額ニナツテ

ト致シマシテハ、大藏省ニ第二種綜合課稅  
ノ外ナク斷行シ、又法人稅ノ稅率ヲ下げ  
ナide、先程言ツタヤウナ六千五百万圓ト  
二千七百万圓バカリハ負擔區分ノ關係ニ依  
マスガ、ソレト差引キマスト三億五千万圓  
テソチラノ方デ殖エテ行クカラ差引キ三  
億二千七百万圓、是ダケガ此ノ度ノ地方稅  
制ノ改正ニ依ツテ地方團體ガ全體トシテ失  
フ財源デゴザイマシテ、之ヲ國庫ノ方ヨリ  
分與稅トシテ交付シテヤラウト云フ譯デゴ  
ザイマス、隨テ法人稅或ハ所得稅ノ稅收入  
ガ國ニ於テ減リマスト、地方團體ノ方ニ對  
シテハドウシテモ三億二千七百万圓ト云フ  
金ヲヤラナケレバナリマセヌカラ、百分ノ  
十六・五五ト云フ率ガ變ツテ來ナケレバナラ  
ヌト云フコトニナルノデアリマス、換言致  
シマスルト、若シモ當初ノ主稅局試案ノヤ  
ウニ法人稅ヲ百分ノ二十ト致シ、個人ノ所  
得稅ニ於テモ公社債、銀行預金利子等ニ  
對シテ源泉課稅ヲ選擇スル餘地ヲ與ヘ  
ナカツタト致シマスルト、六千五六百万  
圓ノ增收ニナルノデアリマスカラ、隨テ  
假ニサウ致シマスルト、配付稅ノ率百分ノ  
十六・五五ハ或ハ百分ノ十六トカ十五トカ云  
フ風ニ減收ニ來ルト云フ譯デアリマシテ、  
第二種所得稅ノ源泉課稅選擇、法人稅ノ稅  
率ノ輕減、ソレカラ此ノ配付稅ノ金額トノ  
間ニ於テハ何等ノ關係ガナイト考ヘテ居リ  
マス

○児玉國務大臣 詳細ハ政府委員カラ御聽  
取リアラ、願ヒマス

○挾間政府委員 只今法人稅ノ稅額ノ減少  
ガ分與稅ノ總額ニ響クヤウナ御疑問デゴザ  
イマスガ、其ノ點ハ全然關係ナインデゴザ  
イマシテ、地方稅ノ分與稅ノ財源ハ、獨立  
財源ト調整財源ト睨合セマシテ、平年度ニ  
於テ三億二千七百万圓ト云フモノガ調整財  
源トシテ必要デアルト云フコトガ一應大前  
提トシテ決ツテ居ルノデアリマス、ソレハ  
法人稅ナリ所得稅ナリ、其ノ他ノ稅カラ糸  
ヲ引イテ取ルト云フ譯デゴザイマスカラ、  
若シ三億二千七百万圓ヲ此ノ本ノ財源ガ總  
額ニ於テ増加致シマスレバ、法律デ掲ゲタ  
ウニ、十六・五五ガ十六トカ十五・五ト云フヤ  
ウニ、十六・五五ガ十六トカ十五・五ト云フヤ  
ウニ變ツテ參ルノデアリマシテ、本ノ稅  
額が如何ニ多クナリマシテモ、ソレハ率ニ  
變更ガ來ルダケデアリマシテ、地方財源ト  
ノ關係トシテハ三億二千七百万圓ガ平年度  
ニ於テ一應確定シタ調整財源總額ニナツテ

ト致シマシテハ、大藏省ニ第二種綜合課稅  
ノ外ナク斷行シ、又法人稅ノ稅率ヲ下げ  
ナide、先程言ツタヤウナ六千五百万圓ト  
二千七百万圓バカリハ負擔區分ノ關係ニ依  
マスガ、ソレト差引キマスト三億五千万圓  
テソチラノ方デ殖エテ行クカラ差引キ三  
億二千七百万圓、是ダケガ此ノ度ノ地方稅  
制ノ改正ニ依ツテ地方團體ガ全體トシテ失  
フ財源デゴザイマシテ、之ヲ國庫ノ方ヨリ  
分與稅トシテ交付シテヤラウト云フ譯デゴ  
ザイマス、隨テ法人稅或ハ所得稅ノ稅收入  
ガ國ニ於テ減リマスト、地方團體ノ方ニ對  
シテハドウシテモ三億二千七百万圓ト云フ  
金ヲヤラナケレバナリマセヌカラ、百分ノ  
十六・五五ト云フ率ガ變ツテ來ナケレバナラ  
ヌト云フコトニナルノデアリマス、換言致  
シマスルト、若シモ當初ノ主稅局試案ノヤ  
ウニ法人稅ヲ百分ノ二十ト致シ、個人ノ所  
得稅ニ於テモ公社債、銀行預金利子等ニ  
對シテ源泉課稅ヲ選擇スル餘地ヲ與ヘ  
ナカツタト致シマスルト、六千五六百万  
圓ノ增收ニナルノデアリマスカラ、隨テ  
假ニサウ致シマスルト、配付稅ノ率百分ノ  
十六・五五ハ或ハ百分ノ十六トカ十五トカ云  
フ風ニ減收ニ來ルト云フ譯デアリマシテ、  
第二種所得稅ノ源泉課稅選擇、法人稅ノ稅  
率ノ輕減、ソレカラ此ノ配付稅ノ金額トノ  
間ニ於テハ何等ノ關係ガナイト考ヘテ居リ  
マス

○佐竹委員 何等ノ關係ノナイト云フ御言  
葉ダケハ分リマシタガ、關係ノナイ内容ガ  
一向分リマセヌ、内務大臣ニ御見エ戴キマ  
シタカラ、此ノ方面カラ聽イタ方ガ一番分  
リ易イカト思フ、ドウデセウ、若シ内務省  
ニ於テ一應確定シタ調整財源總額ニナツテ





ベキカト云フコトヲ近ク腹案ヲ定メテ此ノ委員會ニ御示致シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、昨年モ普通ノ料理店旅館等ニ於ケル「チップ」ガ問題ニナリマシテ、私共當初、客ガ任意ニ出スモノハ課稅標準ニ入レナシ、併シ經營者ノ方カラ客ニ對シテ請求スルモノニハ課稅スル、斯ウ云フ風ニ申上ゲテ居タノデアリマスルガ、ソレハ適當デハナイ、假令經營者ノ方カラ客ニ請求スルモノデモ、料理屋旅館等ニ於ケル「チップ」ハ課稅ノ對象ニシテハイケナイ、其ノ代リ「カフエー」等ニ於テハ相當多額ノ「チップ」ガ出サレテ居ルカラシテ、是ハ客ガ任意ニ提供スルモノデアラウガ、或ハ經營者ノ方カラ請求スルモノデアラウガ、是非課稅標準ニ算入スルヤウニト云フヤウナ御意見ガ強カツタノデアリマスガ、是モ施行ノ實際カラ見テ中々課稅標準ニ取入レルコトガ困難デアリマス、ヨク「カフエー」等ニ參リマシテ紅茶一杯珈琲一杯飲ム者ニ對シテモ免稅點ナシニ課稅スルノハ無理デヤナイカ、斯ウ云フコトヲ言ハレマスケレドモ、實難デアリマス、ヨク「カフエー」等ニ参リマス、玉ノ井ヤ龜戸ノ女給ノ澤山居ル處カラ稅金ヲ御取リニナツタ實例ガナインデス、サウ云フモノハ特殊飲食店ノ中ニハ入ツテ居ラナイノデセウ、入ツテ居ルノデスカ

○瀧澤委員 課稅スルコトニナツテ居ルト云フ御話デスケレドモ、玉ノ井ヤ龜戸ノ女給ノ澤山居ル處カラ稅金ヲ御取リニナツタ實例ガナインデス、サウ云フモノハ特殊飲食店ノ中ニハ入ツテ居ラナイノデセウ、入ツテ居ルノデスカ

○大矢政府委員 只今施行セラレテ居ルノハ免稅點が五圓デアリマシテ、此ノ方面ニ於キマシテハ五圓以上ノモノガ先づナインデハナカラウカ、斯ウ考ヘテ居リマス

○瀧澤委員 ソレデハ今度ハ絶對ニ御取リニナルノデスネ、特殊飲食店ノ中ニ含マセテ玉ノ井、龜戸カラ御取リニナルノデスネ、是ハ内務大臣カラ御答辯願ヒマス

○兒玉國務大臣 ドウモ實ハ不粹ナ私デ（笑聲能ク了解致シマセヌガ、ドウゾ主稅局長ノ説明ニ御信賴ヲ願ヒタイト思ヒマス、今此處デ御答辯ニ當ツテモ本ト思ヒマス、斯ウ云フコトヲ御取リニナルコトダウ

ト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○瀧澤委員 是ハ御困ニナルコトダウスルノガヤハリ適當ダラウ、普通ノ料理店飲食店、食堂等トハ餘程趣ガ違フカラ、ソニ著眼シテ兩者ヲ區分シテ然ルベキモノト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○瀧澤委員 一寸關聯シテ——特殊飲食店ト云フ風ニ解釋ラドウ云フ風ニ持ツテ居ラ

ツシヤルカ、昨年モ是ハ問題ニナリマシタガ、例ヘバ龜戸トカ或ハ向島ノ玉ノ井ト云フ方面デハ稅金ガ取レナイデ、内務大臣御承知ノ通り、毎日々々二十人ヅツ呼出シテ居タノデアリマスルガ、ソレハアリマセヌ、ハ別ニアル、斯ウ云フ所ノ稅金ハ今年ハドウナツテ居リマスカ、ソレヲ御伺致シマス

○大矢政府委員 國稅ト致シマシテハ別ニ他ノ方面ト變リハアリマセヌ、五圓以上ノ料金トナリマスレバ、課稅スルコトニナツテ居リマス

云ノガ、昨年ノ質問應答デハナカツタカト思ヒマス、ソコデ又今年モ是ガ出テ居リノ面積ヲ持ツモノ、若ク八十人以上ノ女給アルトスケレドモ、實際主稅局長ノオ父サンナアル、斯ウ云フ所ノ稅金ヲ取ルガ、ソドハ其ノ時分ノコトヲ御存ジテ居ラツシヤルト思フガ、昔ノ仲居ヤ女中ト云フモノハ御料理ヲ運ンデ來ルダケデ、オ酌ヲスルノハ藝者デス、所ガ此ノ頃ハ女中ガオ酌シテ氣分ヲ満喫シテ居ル所デ、今東京大阪ナドニ於ケル「カフエー」「バー」ハ特別ニ考慮シナケレバナラナイガ、地方ハ阪ナドニ於ケル「カフエー」「バー」ハ考ヘテ見ルト云フヤウナ御答ガアツタヤウデスケレドモ、現在東京ニ於ケル所ノ「カフエー」「バー」ニ付キマシテモ左様ニ考ヘテ戴クコトハ、私共東京ニ生活シテ居ル者日本ノ十分ノ一ノ人口ヲ持ツテ居ル所ノ者トシテ非常ニ困ル、例ヘバ「カフエー」「バー」ト云フヤウナ所デアリマシテモ、夕方ニナツタナラバ女給ガ御化粧ヲシテ働くキマセウケレドモ、朝トカ晝トカト云フヤウナ時分ニ「ライスカレー」一杯食ツテモ——サウ云フ實用上ノ料理店ヲヤツテ居ル「バー」モ東京デアリマスカラ澤山アル、昔ノヤウニマサカ繩暖簾デ櫻大盡モ出來マセヌカラ、今日ハ椅子ニモナリ洋風ニナツテ居リマスケレドモ、是ガ二十年前三十年前ノ繩暖簾ト何異ナル所ハナイ、是等ノモノカラ免稅點ナシニ取ラレルト云フコトハ中央ノ都市トシテハ非常ニ困ルコトデアリマス、ソレガ故ニ東京市ニ於キマシテ歎興稅ナドヲ取ル場合ノコトハ御承知デアリマセウケ地域的ニ區分スルコトニハ行カナイト思ヒ東京、大阪ト地方トハ達フト云フコトヲ申上ガマシタガ、併シ之ヲ或ル一ツノ標準ヲ以チマシテ區分スル場合ニ於キマシテハ、

○瀧澤委員 只今主稅局長ノ御答洵ニ喜ンデ居リマス、實情ニ即シテ御取扱戴ク、ソモ、ヤハリ地方ト同ジヤウナ標準ヲハヤハリ地方ト同ジ並ミノ扱ニナルコトト存ジテ居リマス

○瀧澤委員 只今主稅局長ノ御答洵ニ喜ンデ居リマス、實情ニ即シテ御取扱戴ク、ソモ、ヤハリ地方ト同ジヤウナ標準ヲハヤハリ地方ト同ジ並ミノ扱ニナルコトト存ジテ居リマス

○瀧澤委員 只今主稅局長ノ御答洵ニ喜ンデ多年斯ウ云フ稅金ヲ取ツテ居リマシタカラ、ドウカ此ノ稅金ノ取立方ヲモ十分ニ御



市町村ヲ全國劃一的ニ最高千圓ト御決メニナリマシタコトハ、果シテ妥當デアルト御考デゴザイマセウカ  
○挾間政府委員 市町村民稅ノ最高額ヲ一千圓ト抑ヘマシタノハ、一ツハ從來戸數割ガ非常ニ負擔ガ不均衡ニナリ、過重ニナツテ居ルノハ御存ジノ通リデアリマス、若シ市町村民稅ノ最高額ヲ無制限ニ致シマスト、再び形ノ變ツタ戸數割ノ如キ負擔過重ノ原因ヲ残スデアラウ、隨テ最高額ハ是非之ヲ抑ヘナケレバナラヌト思フノデアリマス、ソレカラ一面市町村民稅ト云フモノヲ普遍的ニ依ツテ市町村ニ財源トシテ大キナ額ヲ付與スルト云フコトガ目的デナク、寧ロ之ニ依ツテ負擔分任ノ精神ト云フモノヲ普遍的ニ擴充スルト云フノガ目的デゴザイマス、隨テ稅總額モ少額デアルガ、又各人ノ負擔スベキ額モサウ多額ニシテハナラナイト云フノガ、又一つノ理由デアリマス、更ニ然ラバ各個人ニ付テノ最高額ヲ抑ヘル場合ニハ、團體ヲ異ニスルコトニ依ツテ各個人ノ負擔スベキ額ヲ左右スルト云フコトハ是ハ適當デナイノデハナイカ、詰リ市町村民稅トシテノ負擔ヲ各人ガスルト云フコトハ、大體其ノ資力ニ應ズルト致シマシテ、團體ヲ異ニスルコトニ依ツテ、最高ガ千圓ニナリ、二千圓ニナリ、三千圓ニナルト云フコトニ抑ヘルノハ適當デハナカラウ、斯ウ云フヤウナ理由ヲ以テ、最高一千圓ト云フコトニ致シタノデアリマス  
○佐竹委員 平均額ヲ大都市八圓、中都市六圓、町村ハ四圓ト等級ヲ御設ケニナツテ居ラレマスガ、是ト相對比致シマス時ニ、權衡ヲ失シテ居ルモノトハ思ハレナイノデゴザイマセウカ

トシテノ資力ノ問題ト、各個人ノ資力ノ問題トヲ區別シテ吾々考ヘタイト思フノデアリマス、團體總體ト致シマシテノ資力ト云フコトヲ考ヘマスト、色々ナ産業ノ分布、市ヨリモ更ニ資力ガ高イ、大體分與稅ヲ三分「ブロック」ニ分ケマスヤウニ、財政狀況ガ總體トシテ考ヘマスト、此ノ様ニ分割スルノガ實情ニ即シテ居ルデアラウト考ヘタノデアリマス、個人ノ資力ノ問題トハ、又サウノ別ノ立場ニ於キマシテ、各團體ニ於ケル一人當リノ最高額、即チ其ノ團體ガ課稅シ得ル最高額ト云フモノニハ、自ラ差等ヲ付ケタ方ガ宜カラウト云フ風ニ考ヘテ居リマス  
○佐竹委員 大都市、小都市、町村ニ於テ區別アル如ク、大都市ニ住ツテ居リマス人ト、町村ニ住ツテ居リマス人トノ個人的ノ富ノ差等ト云フモノニ付テハ、是ハ現實ニ存在致シテ居リマス事、否定スルコトハ出來マトイ思ヒマス、何ト申シマシテモ東京ニハ一番ニ富豪ガ住ツテ居ル、其ノ次ニハ大阪ニ住ツテ居リマス、高知縣ナンカト言ツタラ、ドンナ資本家ヲ持ツテ參リマシテモ、心配ニナリマスヤウナ點ハ、其ノ町村ノ實情ニ從ツテ適當ニ按配サレルコトニナルト思フノデアリマス  
○佐竹委員 東京大阪ノ如キ財政力ノ強イ地方ニ於テハ、逆ニ千圓以上取立テヌデモ事ガ濟ム、所ガ田舎ノ方デハ財力ガ缺乏致シテ居リマス爲ニ、成ベク千圓ヘ持ツテ行カウト云ツタヤウナ工合ニ、逆ナ問題ガ起リハシマセヌカ

ト云フモノヲ標準トシマシテ差等ヲ付ケルコトデハ、是ハ到底差等ハ付ケニクイコトデアラウト思フ、此ノ趣旨ヲ徹底致シマスレバ、結局戸數割ノ如ク最高額等ニ付テハ制限ヲ設ケナイト云フコトニナルノデハナイカト思フノデアリマスガ、元來此ノ市ヨリモ更ニ資力ガ高イ、大體分與稅ヲ三分「ブロック」ニ分ケマスヤウニ、財政狀況ガ總體トシテ考ヘマスト、此ノ様ニ分割スルノガ實情ニ即シテ居ルデアラウト考ヘタノデアリマス、個人ノ資力ノ問題トハ、又サウノ別ノ立場ニ於キマシテ、各團體ニ於ケル一人當リノ最高額、即チ其ノ團體ガ課稅シ得ル最高額ト云フモノニハ、自ラ差等ヲ付ケタ方ガ宜カラウト云フ風ニ考ヘテ居リマス  
○佐竹委員 大都市、小都市、町村ニ於テ區別アル如ク、大都市ニ住ツテ居リマス人ト、町村ニ住ツテ居リマス人トノ個人的ノ富ノ差等ト云フモノニ付テハ、是ハ現實ニ存在致シテ居リマス事、否定スルコトハ出來マトイ思ヒマス、何ト申シマシテモ東京ニハ一番ニ富豪ガ住ツテ居ル、其ノ次ニハ大阪ニ住ツテ居リマス、高知縣ナンカト言ツタラ、ドンナ資本家ヲ持ツテ參リマシテモ、心配ニナリマスヤウナ點ハ、其ノ町村ノ實情ニ從ツテ適當ニ按配サレルコトニナルト思フノデアリマス  
○佐竹委員 東京大阪ノ如キ財政力ノ強イ地方ニ於テハ、逆ニ千圓以上取立テヌデモ事ガ濟ム、所ガ田舎ノ方デハ財力ガ缺乏致シテ居リマス爲ニ、成ベク千圓ヘ持ツテ行カウト云ツタヤウナ工合ニ、逆ナ問題ガ起リハシマセヌカ

ト云フモノヲ標準トシマシテ差等ヲ付ケルコトデハ、是ハ到底差等ハ付ケニクイコトデアラウト思フ、此ノ趣旨ヲ徹底致シマスレバ、結局戸數割ノ如ク最高額等ニ付テハ制限ヲ設ケナイト云フコトニナルノデハナイカト思フノデアリマスガ、元來此ノ市ヨリモ更ニ資力ガ高イ、大體分與稅ヲ三分「ブロック」ニ分ケマスヤウニ、財政狀況ガ總體トシテ考ヘマスト、此ノ様ニ分割スルノガ實情ニ即シテ居ルデアラウト考ヘタノデアリマス、個人ノ資力ノ問題トハ、又サウノ別ノ立場ニ於キマシテ、各團體ニ於ケル一人當リノ最高額、即チ其ノ團體ガ課稅シ得ル最高額ト云フモノニハ、自ラ差等ヲ付ケタ方ガ宜カラウト云フ風ニ考ヘテ居リマス  
○佐竹委員 大都市、小都市、町村ニ於テ區別アル如ク、大都市ニ住ツテ居リマス人ト、町村ニ住ツテ居リマス人トノ個人的ノ富ノ差等ト云フモノニ付テハ、是ハ現實ニ存在致シテ居リマス事、否定スルコトハ出來マトイ思ヒマス、何ト申シマシテモ東京ニハ一番ニ富豪ガ住ツテ居ル、其ノ次ニハ大阪ニ住ツテ居リマス、高知縣ナンカト言ツタラ、ドンナ資本家ヲ持ツテ參リマシテモ、心配ニナリマスヤウナ點ハ、其ノ町村ノ實情ニ從ツテ適當ニ按配サレルコトニナルト思フノデアリマス  
○佐竹委員 東京大阪ノ如キ財政力ノ強イ地方ニ於テハ、逆ニ千圓以上取立テヌデモ事ガ濟ム、所ガ田舎ノ方デハ財力ガ缺乏致シテ居リマス爲ニ、成ベク千圓ヘ持ツテ行カウト云ツタヤウナ工合ニ、逆ナ問題ガ起リハシマセヌカ

ト云フモノヲ標準トシマシテ差等ヲ付ケルコトデハ、是ハ到底差等ハ付ケニクイコトデアラウト思フ、此ノ趣旨ヲ徹底致シマスレバ、結局戸數割ノ如ク最高額等ニ付テハ制限ヲ設ケナイト云フコトニナルノデハナイカト思フノデアリマスガ、元來此ノ市ヨリモ更ニ資力ガ高イ、大體分與稅ヲ三分「ブロック」ニ分ケマスヤウニ、財政狀況ガ總體トシテ考ヘマスト、此ノ様ニ分割スルノガ實情ニ即シテ居ルデアラウト考ヘタノデアリマス、個人ノ資力ノ問題トハ、又サウノ別ノ立場ニ於キマシテ、各團體ニ於ケル一人當リノ最高額、即チ其ノ團體ガ課稅シ得ル最高額ト云フモノニハ、自ラ差等ヲ付ケタ方ガ宜カラウト云フ風ニ考ヘテ居リマス  
○佐竹委員 大都市、小都市、町村ニ於テ區別アル如ク、大都市ニ住ツテ居リマス人ト、町村ニ住ツテ居リマス人トノ個人的ノ富ノ差等ト云フモノニ付テハ、是ハ現實ニ存在致シテ居リマス事、否定スルコトハ出來マトイ思ヒマス、何ト申シマシテモ東京ニハ一番ニ富豪ガ住ツテ居ル、其ノ次ニハ大阪ニ住ツテ居リマス、高知縣ナンカト言ツタラ、ドンナ資本家ヲ持ツテ參リマシテモ、心配ニナリマスヤウナ點ハ、其ノ町村ノ實情ニ從ツテ適當ニ按配サレルコトニナルト思フノデアリマス  
○佐竹委員 東京大阪ノ如キ財政力ノ強イ地方ニ於テハ、逆ニ千圓以上取立テヌデモ事ガ濟ム、所ガ田舎ノ方デハ財力ガ缺乏致シテ居リマス爲ニ、成ベク千圓ヘ持ツテ行カウト云ツタヤウナ工合ニ、逆ナ問題ガ起リハシマセヌカ

抑ヘルコトノ一番必要ヲ感ズルモノハ貧弱町村デアル、其ノ貧弱町村ガ目標デナケレバナラスト思ヒマス、隨ヒマシテ此ノ千圓ト云フモノ一律ニ全國ヲ通ジテ御覽ニナリ、平準化サレタ金額デ以テ定メヨウト致シマスルコトハ是ハ非常ニ不公平デアツテ、ヨリ多ク取ラウト致シマスル方面ハヨリ強ク之ヲ抑ヘナケレバナラヌ、サウシテ其ノ缺陷ヲ配付税デ補ハウト持ツテ行ツテコソ初メテ財政調百圓カ五百圓位ニスル、大阪、東京ハモツト上ニ致シマシテモ自ラ解決スベキモノガアリ、餘裕ガ存スルデアリマセウ、ト云ツタヤウナ工合ニ致シマスコトガ本當ニ抑ヘルコトノ意義ヲ成スノデハナイカト考ヘマスガ、如何デアリマセウカ

○挾間政府委員 只今其ノ點ハ能ク申上ダ

タ積リデゴザイマスガ重ネ申上ゲテ置キ

マス、貧弱ナ團體ニ於テ此ノ市町村民税ノ負擔が非常ニ過重ニナルデアラウト云フ御

心配デゴザイマスガ、各團體ガ課稅シ得ル

最高限度ハ一人當リ四圓ト云フコトニナツ

テ居リマスカラ、其ノ總額ニ於テ抑ヘラレルノデアリマシテ、絶對ニ負擔過重ニナル

ヤウナコトハ出來ナイ仕組ニナツテ居リマス、是ハ市町村民税ガ財源ト云フコトヲ主

タル理由トシテ創設シタモノデゴザイマセスカラ、サウ云フ風ニスルノガ非常ニ必要

ナコトデアルト思フノデアリマス、然ラバ

各團體ノ財政上ノ必要ハ何ニ依ツテ充足サ

レルカ、左様ナ團體ハ恐ラク獨立財源ト云フモノガ少イト思ヒマス、此ノ三國稅ノ附

加稅等ガ少イデアラウト思ヒマスカラ、ソニハ配付税ガ非常ニ多額ニ參ルコトニナ

モ負擔分任ト云ツテ稅ダケヲ目標ニ致シマ

リマスノデ、財源ノ問題トシテハソレデ十

分解決ヲ付ケルコトガ出來ルノデアリマス

○佐竹委員 ソレデ分リマシタ、所ガ市町

村稅ハ稅收ヲ目的トスルノデハナイ、負擔

分任ノ精神カラ之ヲ徵收スルノダト仰シヤ

イマスケレドモ、凡ソ稅ト名ノ付キマス限

リハ、負擔能力ヲ考ヘナイデ是ハ出來ルモ

ノデハナイト私共ハ考ヘマス、所ガ極ク少

額ノ金額ヲ課ケルノダカラ人頭稅的ニ之ヲ

課ケテモソンナニ困ル者ハナイ、斯ウ云フ

風ニ御考ニナツテ居ラルヤウデアリマス

ガ、併シ實際ノ社會實情ハ左様デハアリマ

セヌ、私ハ高知市ノ市會ニ關係ヲ致シテ居

リマシテ、八年バカリヤハリ其ノ組織ノ内

ニアツタノデアリマスガ、痛感致シマシタ

モノハ公設質屋ノ勤キデアリマス、二十錢

位ノモノヲ借リニ參リマスノニ鍋金ヲ持ツ

テ行ツテ借リテ來ル、二十錢ノ借金ヲスル

ト云フコトハ、是ハマア局長サンアタリハ

一寸想像ガ付カヌデアリマセウ、二十錢ト

云フモノニ生キルカ死ヌルカノ問題、今日

ドウシテモ米ガナイト喘イデ居ル階級、此

ノ「カード」階級ト云フモノガ相當深刻ニ苦

シシニ居ルコトハ見逃スゴトガ出來マセヌ、

其ノ統計ハ可ナリノモノニナツテ居リマス、

斯ウ云ツタ人ニ二十錢ヤ五十錢ハ輕イカラ

ト云ツテ御考ニナリマシタラは間違ヒデ

アリマス、私ハソンナ人カラ取立テヌデモ

宜カラウト思フ、十錢ヤ二十錢取立テルノ

ダツタラ、是ハ手數ノ方ニ餘計ニ掛リハシ

マセヌカ、寧ロソシナモノハ助ケテヤツテ、

ハ協力シテ居ルノデアリマスカラ、必ズシ

モ負擔分任ト云ツテ稅ダケヲ目標ニ致シマ

シテ、ソレヲ取立テルコトニ依ツテ責任ヲ

盡サセヨウト云ツタ風ニ持ツテ參リマセヌ

デモ、私ハ宜イノデハナイカト考ヘマスガ

此ノ人頭稅的弊害ニ付テ何ノ御考モナイノ

デアリマセウカ、ソレヲ承リタイ

シテハ、各市町村ニ於テ其ノ條例ヲ以テ定

メルノデアリマシテ、可ナリ少額ノ所マデ

此ノ最低級ト云フモノハ定メルコトニナル

デマラウト思ヒマス、マア極ヌテ貧困デア

ツテ、御話ノ所謂「カード」階級ト申シマス

カ、公私ノ扶助ヲ受ケテ居ルヤウナモノニ

對シテハ無論課稅ハ致サナインデアリマシ

テ、色々ナ場合ニ於ケル救助ノ對象トシテ

考ヘラレルモノニ付テハ、市町村民税ハ賦

課シナイコトニナツテ居リマス、ソレ以上

ノモノニ付キマシテハ極ク輕度ノ負擔デゴ

ザイマスノデ、先程申上ゲマシタヤウナ趣

旨ニ從ツテ、一應ノ負擔ヲスルト云フコト

ニ致シテモ差支ナイモノデアルト云フ風ニ

考ヘテ居リマス

○佐竹委員 ソレ等ノ人々ト雖モ血稅ヲ拂

ツテ、イザトナレバ戰爭ニモ參加致シマス、

國家生產力ニモ協力ヲ致シテ居リマシテ、

是ハ日本國民トシテ何人ニモ劣ラヌ精神デ

私ハ進ンデ來テ居ルコトト思フ、又彼等ト

雖モ隠レタル戸數割ハドシ～取ラレマス、

來テ居ルモノニデハナイノデアリマス、其ノ

精神カラ申シマスト、成ベク多クノ人ニ其

ノ一部分ヲ分擔サセルト云フ事柄ガ精神的

ニモ宜ノデアリマスノデ、其ノ意味ニ於

テ組立テアルノデアリマス、併シナガラ

茲ニ納稅力ノナイ者ニ向ツテ無理ニ納稅ヲ

ニモ宜ノデアリマスノデ、其ノ意味ニ於

テ町費ナンカデ以テ同ジ部落ヲ部落、或ハ町

會ナラ町會ノ組織ノ内ニアツテ、協力ヲスルコトハ致

シテ居リマス、負擔分任ノ精神ハ必ズシ

モ負擔分任ト云ツテ稅ダケヲ目標ニ致シマ

シテ行クト云フ事柄ハ、是ハ稅ノ上カラ見

マシテモ、又國民精神ノ上カラ申シマシテ  
モ必要ナコトデアリマスノデ、其ノ點ニ付  
キマシテハ、一面ニ於テハ稅ヲ取り得ナイ  
者マデモ取ルト云フノアリマセヌデ、此ノ點ハ  
左様ニ御謹承ヲ願ヒタイト思ヒマス  
○佐竹委員 御說デアリマスガ、一戸ヲ構  
ヘ、又ハ一戸ヲ構ヘナイデモ獨立ノ生計ヲ  
營ンデ居ル者、是ハ皆課ルノアリマスガ、  
負擔能力ノナイ者ニハ課ケナイナドト言ツ  
タラ、是ハ結局負擔能力ノ問題ニ又落著イ  
テ参リマス、特ニ公ノ救助ヲ受ケテ居リマ  
スヤウナ者、是ハモウ除外サレルコトデ、  
茲ニハツキ書イテアリマシテ別デアリマ  
ス、貧困ニ因リ生活ノ爲公私ノ救助ヲ受ケ  
又ハ扶助ヲ受クル者ニ對シテハ免稅サレル  
コトハ當然デアリマスガ、私ハソレヲ目標  
トシテ言ツテ居ルノデハアリマセヌ、ソレ  
デナク救助ヲ受ケナイガ苦シニ居ル階級  
ト云フモノハ、相當數ニ上ツテ居リマス、  
一度内務大臣ニ於カレマシテモ、一寸貧民  
窟ヲ御歩キニナツテ見テハドウゴザイマ  
セウカ、又私共ノ地方ニ於テハ正業ヲ持ツ  
テヤツテ居ルケレドモ、四疊半ノ座敷ニ、  
此ノ間モ私行ツテ見マシタガ六人モ住シ  
居リマス、四疊半ニ六人モドウシテ寢ルノカ  
スウ云ツタ階級ハ少イカト言ヘバ、中々少ク  
ハアリマセヌ、然ルニイザトナリマスト彼等  
モ血稅ヲ拂ツテ、ヤハリ國家ノ組織ノ内ニア  
ルノダト云フ氣分ヲ十二分ニ持ツテ居ルノデ  
アリマス、ソレ等ノ人ニ多少デモ苦痛ヲ與ヘル  
ヤウナコトヲsezニ、恩恵ヲ與ヘテ以テ彼  
等ヲシテ養起セシムル方ガ、寧ロ良イ建前デ

ハナイカト私ハ思フ、此ノ點ヲ御尋申上ゲ  
取り得ル範圍ニ於テ成ベク廣イ範圍ニ於  
テ自治分擔ノ精神ヲ充實サセヨウ、此ノ趣  
意ニ出デ居ルノデアリマスノデ、此ノ點ハ  
左様ニ御謹承ヲ願ヒタイト思ヒマス  
○佐竹委員 御說デアリマスガ、一戸ヲ構  
ヘ、又ハ一戸ヲ構ヘナイデモ獨立ノ生計ヲ  
營ンデ居ル者、是ハ皆課ルノアリマスガ、  
負擔能力ノナイ者ニハ課ケナイナドト言ツ  
タラ、是ハ結局負擔能力ノ問題ニ又落著イ  
テ参リマス、特ニ公ノ救助ヲ受ケテ居リマ  
スヤウナ者、是ハモウ除外サレルコトデ、  
茲ニハツキ書イテアリマシテ別デアリマ  
ス、貧困ニ因リ生活ノ爲公私ノ救助ヲ受ケ  
又ハ扶助ヲ受クル者ニ對シテハ免稅サレル  
コトハ當然デアリマスガ、私ハソレヲ目標  
トシテ言ツテ居ルノデハアリマセヌ、ソレ  
デナク救助ヲ受ケナイガ苦シニ居ル階級  
ト云フモノハ、相當數ニ上ツテ居リマス、  
一度内務大臣ニ於カレマシテモ、一寸貧民  
窟ヲ御歩キニナツテ見テハドウゴザイマ  
セウカ、又私共ノ地方ニ於テハ正業ヲ持ツ  
テヤツテ居ルケレドモ、四疊半ノ座敷ニ、  
此ノ間モ私行ツテ見マシタガ六人モ住シ  
居リマス、四疊半ニ六人モドウシテ寢ルノカ  
スウ云ツタ階級ハ少イカト言ヘバ、中々少ク  
ハアリマセヌ、然ルニイザトナリマスト彼等  
モ血稅ヲ拂ツテ、ヤハリ國家ノ組織ノ内ニア  
ルノダト云フ氣分ヲ十二分ニ持ツテ居ルノデ  
アリマス、ソレ等ノ人ニ多少デモ苦痛ヲ與ヘル  
ヤウナコトヲsezニ、恩恵ヲ與ヘテ以テ彼  
等ヲシテ養起セシムル方ガ、寧ロ良イ建前デ

ハナイカト私ハ思フ、此ノ點ヲ御尋申上ゲ  
取り得ル範圍ニ於テ成ベク廣イ範圍ニ於  
テ自治分擔ノ精神ヲ充實サセヨウ、此ノ趣  
意ニ出デ居ルノデアリマスノデ、此ノ點ハ  
左様ニ御謹承ヲ願ヒタイト思ヒマス  
○佐竹委員 御說デアリマスガ、一戸ヲ構  
ヘ、又ハ一戸ヲ構ヘナイデモ獨立ノ生計ヲ  
營ンデ居ル者、是ハ皆課ルノアリマスガ、  
負擔能力ノナイ者ニハ課ケナイナドト言ツ  
タラ、是ハ結局負擔能力ノ問題ニ又落著イ  
テ参リマス、特ニ公ノ救助ヲ受ケテ居リマ  
スヤウナ者、是ハモウ除外サレルコトデ、  
茲ニハツキ書イテアリマシテ別デアリマ  
ス、貧困ニ因リ生活ノ爲公私ノ救助ヲ受ケ  
又ハ扶助ヲ受クル者ニ對シテハ免稅サレル  
コトハ當然デアリマスガ、私ハソレヲ目標  
トシテ言ツテ居ルノデハアリマセヌ、ソレ  
デナク救助ヲ受ケナイガ苦シニ居ル階級  
ト云フモノハ、相當數ニ上ツテ居リマス、  
一度内務大臣ニ於カレマシテモ、一寸貧民  
窟ヲ御歩キニナツテ見テハドウゴザイマ  
セウカ、又私共ノ地方ニ於テハ正業ヲ持ツ  
テヤツテ居ルケレドモ、四疊半ノ座敷ニ、  
此ノ間モ私行ツテ見マシタガ六人モ住シ  
居リマス、四疊半ニ六人モドウシテ寢ルノカ  
スウ云ツタ階級ハ少イカト言ヘバ、中々少ク  
ハアリマセヌ、然ルニイザトナリマスト彼等  
モ血稅ヲ拂ツテ、ヤハリ國家ノ組織ノ内ニア  
ルノダト云フ氣分ヲ十二分ニ持ツテ居ルノデ  
アリマス、ソレ等ノ人ニ多少デモ苦痛ヲ與ヘル  
ヤウナコトヲsezニ、恩恵ヲ與ヘテ以テ彼  
等ヲシテ養起セシムル方ガ、寧ロ良イ建前デ

ニ付キマシテハ、私ノ申上ゲマシタノモ、  
主稅局長カラ話ガアリマシタノモ、一ツモ  
ウゴザイマスガ、最後ニ唯一言御質シテ置  
キマス、事務所、營業所又ハ住宅ヲ有スル者  
ニアツテ、同一市町村内ニ數箇所ノ事務所  
若クハ營業所ヲ持ツテ居リマシテモ、同一  
市町村内ナレバ、一ツノ市町村民稅シカ課  
ケナイト云フコトヲ、地方局長ハ言明ナサ  
イマシタ、所ガ此ノ間別ノ席デ、是ハ公ノ  
席デハアリマセヌ、私共特ニ請ウテ御說明  
ヲ戴キマシタ時ニ、主稅局長ニ於カレマシ  
テハ、事務所ガ數箇所アレバ數箇所トモ皆  
課ケラレル、例ヘバ三越ナラ三越ニ致シマ  
スト、銀座ニ營業所ガアリ、新宿ニモアリ  
マス、斯ウ云フ工合ニ五箇所ナラ五箇所事  
務所ガアリマスト、五ツノ市町村民稅ヲ拂ハナ  
クテハナラスト云フ御說明ヲ承ツタノデア  
リマス、所ガ當委員會ニ於キマシテハ、一ツ  
シカ課ケナイ、斯ウ仰シヤツテ居ラレマス  
ルガ、ソレガ地方局長ノ責任アル御說明デ  
アリマスノデ、其ノ通リデアラウドハ考ヘ  
マスルガ、尙ホ茲ニ一應念ヲ押シテ置キタ  
イ、同一市町村ニ事務所、營業所、住宅ト  
云フヤウナモノガアレバ、必ズソレニ皆課  
ケルド云フコトニナリマスナラバ、例ヘバ  
郊外ニ家ヲ持ツテ居ル、サウシテ市内ニ營  
業所ヲ持ツテ居ル、コチラデ一ツ、向フデ  
一ツ、是ハ市町村ヲ異ニ致シマストニ箇所  
課ル、サウ致シマスナラバ同一市内ニ於キ  
マシテモ住宅ヲ持ツテ居ルノニ一ツ、營業  
所ヲ持ツテ居ルノニ一ツ、即チニツ課ルト  
云フコトモ、是ハ決シテ無理カラヌコトデ  
アルヤウニモ思ヒマス、此ノ點尙ホ御說明  
ヲ戴キタイト思ヒマス

○北委員 一寸關聯事項デスカラ——今ノ  
問題デスガ、農村デスガ、農村ニハ能ク其  
ノ問題ガ起ル、農村ニ市街地帶ガアリ、農  
家地帶ガアリマス時ニ、住宅ハ農村地帶ニ  
置イテ、營業所ヲ市街ニ持ツテ居ル、サウ  
ナリマスト、居住スル所デ市町村民稅ヲ納  
メマスト、其ノ場合ニ於テ市街ノ負擔ヲ免  
レテ居ル、斯ウ云フノガ能クアルノデアリ  
マスガ、ドチラヲ主體トスルカ、市街ノ方  
デ取ラレマスト色々ナ他ノ負擔ガ餘計課リ  
マス、部落ノ方ニ居レバ課ラナイ、此ノ點  
別ニ致シテ居リマスレバ……

○北委員 同ジ町村内ノ部落デス  
○挾間政府委員 同ジ町村デゴザイマスレ  
バ、部落ガ違ツテ居リマシテモ、市町村民  
稅ハ一箇所デ課ケラレルコトニナリマス、

ニ付キマシテハ、私ノ申上ゲマシタノモ、

二箇所デハ課ケナインオデス

○北委員 一箇所ハドチラデスカ、住居シ

異ツテハ居ナインデアリマシテ、私ガ申上

居ル場合ハ個々ニ課ケラレマス、同一市

町村内ニ於キマシテハ、此ノ地方稅法ノ第

六十條ノ所謂一戸ヲ構ヘル者ト云フノ

デ、一ツシカ市町村民稅ハ課ラナイト申上

ゲタノデアリマス、併シ法人ニ付キマシテ

ハ營業所毎ニ乃至事務所毎ニ課ケル、是ハ

ヤハリ六十四條ノ第二項ニ「前項第三號ノ法

人ニ付テハ其ノ事務所又ハ營業所ニ市町

村民稅ヲ課ス」斯ウ云フ風ニ規定致シテ居

リマスノデ、個人ト法人トハ分ケテ御考ヲ

願ヒタイト思フノデアリマス

ニ付キマシテハ、私ノ申上ゲマスト、  
ソレハヤハリ市町村民ガ公ノ設備ヲ利用シ  
テ利益ヲ受ケル場合ニハ使用料ヲ拂フノガ  
適當デアルカラ、是ハ從前通り徵收シテ行

クノダト云フ御答ヲナサイマシタ

「委員長退席、小笠原委員長代理著席」

ソレハ電車トカ水道トカ云フヤウナ場合ヲ

御考ニナツテノ御答辯デアリマシタノデセ

ウガ、私ノ御尋スルノハソレデハアリマセ

ヌ、只今申シマスヤウニ、下水道ヲ持ヘタ

カラト云ツテ、特定ノ人ガ獨リ利益ヲ受ケテ

居ルノデナ、斯ウ云ツタ公ノ設備デアルナ

ラバ、特ニ特別ナ人ガ利益ヲ受ケルト云ツタ

ヤウナコトデナシニ、而モ公ノ團體ガ當然

爲スベキサウ云ツタ施設ニ對シマシテ、使

用料ヲ徵收スルト云ツタコトハ、穩當ヲ缺

クデハナイカト云フヤウナ質問デアリマシ

タ、改メテ此ノ點御答辯ヲ願ヒマス

○挾間政府委員 稅制ト使用料トノ關係ニ

付テノ御尋デゴザイマスガ、使用料ノ問題

ハ、是ハ其ノ營造物ノ本質ヲ基礎トシテ考

ヘテ行カナケレバナラナイト思フノデアリ

マス、例ヘ電車トカ或ハ上水道ト云フヤ

ウナモノニ付キマシテ、使用料ヲ徵收スル

ト云フコトハ、其ノ利用關係カラ、當然起ツ

テ來ル問題デアラウト思ヒマス、併シナガ

ラ其ノ營造物ガ、何ト申シマスカ一ツノ公

物的ノ性質ヲ持ツテ居ルモノデゴザイマス

レバ、ソレニ對シテ使用料ヲ徵收スルト云

フコトハ、宜クナイトコトデアルト思フノデ

アリマス、御述ベニナリマシタ下水道ノ如

キモノハ、元來一般的ノ使用ニ付キマシテ

ハ、私ノ使用料ヲ徵收スベキモリデハナイト

考ヘテ居リマス、併シナガラ其ノ下水道ノ

利用關係ガ、特殊ノ利益ヲ伴フモノ、又非

常ニソレニ對シテ負荷ヲ掛ケルモノデアル

場合、例ヘバ非常ニ多量ナ水ヲ排出スルト

カ、若クハ污染セラレタルモノヲ多量ニ出

ストカ、其ノ外特殊ノ利用關係ニ立ツ場合

ニ於キマシテハ、其ノ利用關係ノ限度ニ於

テ之ヲ認ムベキモノデアリマシテ、一般的

ノ使用ニ付テ使用料ヲ徵收スルト云フコト

ハ、物ノ性質カラ見テ適當デナイノデハナ

イカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、隨ヒ

マシテ御述ニナリマシタ問題ニ付キマシテ

モ、吾々ト致シマシテハ營造物ノ種類ヲ十

分検討致シマシタ上デ、使用料ノ徵收ノ可

否ト云フコトヲ決定致シタイト思ツテ居ル

ノデアリマス、斯様ナ關係ニ於キマシテ、

只今例示サレマシタ京都市ニ付キマシテヘ、

特別ノ利用關係アルモノニ付テノミ、或ル

程度ノ使用料ヲ徵收スルト云フコトヲ認メ

タヤウナ次第デアリマス、總體トシテ考ヘ

マスト、今回ノ稅制改正ニ於キマシテ、成

ベク此ノ寄附金等ノ強要ト云フヤウナコト

ヲ避ケマス爲ニ、一面ニ於テ受益者分擔金

ノ制度ヲ創設シ、又目的稅ヲ整備スル、斯ウ

云フコトヲ考ヘテ居リマスガ、他ノ一面、

特ニ營造物ニ依ツテ利用關係ガ顯著デアル

ト云フヤウナ場合ニハ、ソレニ對シテ使用

料ヲ徵收スルト云フコトモ認スル方ガ適當

デハナイカ、併シナガラ物ノ性質上一般的

ニ使用セシムルコトヲ當然トスルモノニ付

テ、使用料乃至手數料ヲ徵收スルコトハ、公

共團體ノ施設タル本質ニ鑑ミマシテ、認メ

ナイ方針デ進ミタイト考ヘテ居リマス

○佐竹委員 之ニ關聯致シマシテ、小學校

ノ授業料ノ問題ヲ御尋致シテ置キタイト思

ヒマス、是ハ文部省ノ關係カトモ思ヒマス

ケレドモ、ドナタカ政府委員ノ方カラ御答

スカ、今ノ使用料ニ關聯シテ此ノ點ヲ御解

尋致シマシテ打切りタイト考ヘマス、小學

校ノ義務教育費ハ無月謝、即チ授業料ヲ徵

收シナインガ原則デゴザイマス、法規ノ上

デモサウナツテ居ルヤウニ存ジテ居リマス、

ナケレバナラヌコトデアリマスノデ、大體

所ガ實際ハ是ト相違致シマシテ、或ル地方

デハ校舍使用ノ名目ヲ以チマシテ、授業料

ヲ徵致シテ居リマスコトハ、義務教育本

來ノ精神ニ反スルモノデハナイカト、私ハ

思フノデアリマス、今次稅制改革デ義務教

育費ガ府縣ニ移管セラレ、且ツ其ノ財源ニ

彈力性ガ附與セラレマシテ、更ニ又負擔分

任ノ精神カラ市町村民稅ガ課セラレマシタ

以上ハ、授業料ノ撤廢ハ之ヲ期スベキデハ

ナイカト考ヘマスガ、御所見如何デゴザイ

マセウカ

○挾間政府委員 御述ベニナリマシタ通り

小學校ニ付キマシテハ、小學校令ニ懸カ授

業料ヲ徵收スルコトガ出來ナイ規定ニナツ

テ居リマス、併シ特別ノ事情ガアリマス場

合ニ於テハ、地方長官ノ許可ヲ得テ授業料

ヲ徵收シテモ差支ナイ、斯ウ云フ規定ニナ

ツテ居ルト思ヒマス、只今ノ御話ニナリマ

シタ授業料徵收ハ、非常ニ設備ヲ完全ニ致

シマシテ、財政上輕度ノ授業料ヲ取ラナケ

レバナラヌ、或ハ團體ノ財政上下ウモ授業

料ヲ徵收セザルヲ得ナイト云フヤウナコト

ヲ、慥カ文部當局ニ於キマシテハ特別ノ事

情アルモノト認ヌマシテ、授業料ノ徵收ヲ

其ノ場合ニ認メテ居ルヤウニ存ジテ居ルノ

デアリマス、併シ元來義務教育デゴザイマ

スノデ、授業料ハ徵收シナイヤウニ致スコト

ガ、本旨デアルト思ヒマス、今回ノ稅制ノ改

正ノ結果、貧弱ナル團體ニ對シマシテハ、十

分ノ財源ヲ與ヘルコトガ出來ルヤウニナリ

マ人税デアリマスガ、ソレハドウ云フ御解

釋デアリマセウカ

○挾間政府委員 是ハ個人ト法人トハ多少

ソコニ相違ガアルト思フノデアリマシテ、

個人ハ住居致シマシテ尙ホ他ノ町ト申シマスカ場所ニ事務所ヲ持ツト云フヤウナ場合ニ於キマシテモ、先ヅ一つノ生活單位ト認メテ宜カラウカト思ヒマスガ、法人ガ支店ヲ數箇所ニ持ツテ居リマスヤウナ場合ニ於社会通念ニ合スルデアラウ、斯ウ云フ風ナ考ヲ以チマシテ、個人ト法人トノ扱ヲ別ニシテ居ルノデアリマス。

○小笠原委員長代理 内務大臣ハ貴族院ノ豫算總會ノ方カラ請求ガアツテ、モウ十分間位シカ在席出來ナイサウデアリマス、ソレデ内務大臣ノ方カラ御始メヲ願ヒタイ

○道家委員 十分間デハ一寸御尋シ兼ネマスカラ明日ニシテ戴キタイ

○小笠原委員長代理 政府委員デ宜イ分カラ三十分位御尋ニナツタラ……

○道家委員 明日ハ總理大臣ハ初メニ來テ戴ケルノデスカ

○小笠原委員長代理 マダ連絡ガ取レテナイサウデス、今日ハ出席ガ困難ト云フコトデアリマス

○道家委員 商工大臣モ連絡ガ取レテ居ヌノデスカ

○小笠原委員長代理 ソレデハ大臣ガ居ヲレナイデモ、政府委員ノ分ヲ此ノ際御質疑ニナツタラ如何デス

○道家委員 私ハ大臣バカリデス

○小笠原委員長代理 ソレデハ暫ク御待チ下サイ

○道家委員 若シ時間ヲ御急ギナラ明日一  
緒ニシタイ、内務大臣ニ對シテモ十分カ十  
五分デ濟マス積リデスガ、質疑應答ノ結果  
デハ分ラヌ

○小笠原委員長代理 積リテアラウト思ヒマス、最高ノ限度ヲ千圓トシタ、ソレハ財產ノ程度トカ其ノ資產ノ點ヲ考慮シテヤルモノデハナイノダ、唯認識稅見タヤウナモノデアル、斯ウ云フ御話デアリマスガ、ソレデハ課スル場合ニ、實際問題トシテハ如何ナル標準デソレ御決定ニナルカ、課ス率ノ御決定ハ如何デス

○挾間政府委員 先程モ申上ゲマシタヤウニ市町村民稅ハ、地方稅法ニ於テハ唯基本ノ原則ヲ定メテ居ルダケデゴザイマシテ、ソレニ從ツテ各市町村ガ、條例ヲ以テ其ノ賦課徵收ノ方法ヲ定メルコトニナツテ居リマス、法律デ定メテ居リマスノハ最高額トカ、或ハ賦課期日デアルトカ、納稅義務者ノアルトカト云フ程度デゴザイマシテ、後ノ課徵ノ方法ニ付キマシテハ、成ベク市町村ノ自由ニ致サセタイト思ヒマス、隨テ今御話ノ課稅標準ニ付キマシテモ、都市ト農村デハ餘程事情ガ違フト思ヒマス、例ヘバ都市デハ所得額ヲ標準トスルトカ、或ハ家屋ノ賃貸價格ヲ標準トスルトカト云フヤウナヤリ方ヲ致シマス場合ガアルト思フノデアリ、所謂見立割式ニ行クト云フヤウナ必要ガアル事情ノ町村ニ於キマシテハ、サウ云フ方法ニ依ツテモ宜カラウト思ヒマス、此ノ決定ハ何レモ各市町村ガ、其ノ條例ヲ以テ適當ナル課稅方法ヲ定メルト云フコトニナツタラ如何デス

○道家委員 私ハ大臣バカリデス

○小笠原委員長代理 ソレデハ暫ク御待チ下サイ

○道家委員 若シ時間ヲ御急ギナラ明日一  
緒ニシタイ、内務大臣ニ對シテモ十分カ十  
五分デ濟マス積リデスガ、質疑應答ノ結果  
デハ分ラヌ

○小笠原委員長代理 積リテアラウト思ヒマス、最高ノ限度ヲ千圓トシタ、ソレハ財產ノ程度トカ其ノ資產ノ點ヲ考慮シテヤルモノデハナイノダ、唯認識稅見タヤウナモノデアル、斯ウ云フ御話デアリマスガ、ソレデハ課スル場合ニ、實際問題トシテハ如何ナル標準デソレ御決定ニナルカ、課ス率ノ御決定ハ如何デス

○挾間政府委員 先程モ申上ゲマシタヤウニ市町村民稅ハ、地方稅法ニ於テハ唯基本ノ原則ヲ定メテ居ルダケデゴザイマシテ、ソレニ從ツテ各市町村ガ、條例ヲ以テ其ノ賦課徵收ノ方法ヲ定メルコトニナツテ居リマス、法律デ定メテ居リマスノハ最高額トカ、或ハ賦課期日デアルトカ、納稅義務者ノアルトカト云フ程度デゴザイマシテ、後ノ課徵ノ方法ニ付キマシテハ、成ベク市町村ノ自由ニ致サセタイト思ヒマス、隨テ今御話ノ課稅標準ニ付キマシテモ、都市ト農村デハ餘程事情ガ違フト思ヒマス、例ヘバ都市デハ所得額ヲ標準トスルトカ、或ハ家屋ノ賃貸價格ヲ標準トスルトカト云フヤウナヤリ方ヲ致シマス場合ガアルト思フノデアリ、所謂見立割式ニ行クト云フヤウナ必要ガアル事情ノ町村ニ於キマシテハ、サウ云フ方法ニ依ツテモ宜カラウト思ヒマス、此ノ決定ハ何レモ各市町村ガ、其ノ條例ヲ以テ適當ナル課稅方法ヲ定メルト云フコトニナツタラ如何デス

○道家委員 私ハ大臣バカリデス

○小笠原委員長代理 ソレデハ暫ク御待チ下サイ

○道家委員 若シ時間ヲ御急ギナラ明日一  
緒ニシタイ、内務大臣ニ對シテモ十分カ十  
五分デ濟マス積リデスガ、質疑應答ノ結果  
デハ分ラヌ

○小笠原委員長代理 積リテアラウト思ヒマス、最高ノ限度ヲ千圓トシタ、ソレハ財產ノ程度トカ其ノ資產ノ點ヲ考慮シテヤルモノデハナイノダ、唯認識稅見タヤウナモノデアル、斯ウ云フ御話デアリマスガ、ソレデハ課スル場合ニ、實際問題トシテハ如何ナル標準デソレ御決定ニナルカ、課ス率ノ御決定ハ如何デス

○挾間政府委員 先程モ申上ゲマシタヤウニ市町村民稅ハ、地方稅法ニ於テハ唯基本ノ原則ヲ定メテ居ルダケデゴザイマシテ、ソレニ從ツテ各市町村ガ、條例ヲ以テ其ノ賦課徵收ノ方法ヲ定メルコトニナツテ居リマス、法律デ定メテ居リマスノハ最高額トカ、或ハ賦課期日デアルトカ、納稅義務者ノアルトカト云フ程度デゴザイマシテ、後ノ課徵ノ方法ニ付キマシテハ、成ベク市町村ノ自由ニ致サセタイト思ヒマス、隨テ今御話ノ課稅標準ニ付キマシテモ、都市ト農村デハ餘程事情ガ違フト思ヒマス、例ヘバ都市デハ所得額ヲ標準トスルトカ、或ハ家屋ノ賃貸價格ヲ標準トスルトカト云フヤウナヤリ方ヲ致シマス場合ガアルト思フノデアリ、所謂見立割式ニ行クト云フヤウナ必要ガアル事情ノ町村ニ於キマシテハ、サウ云フ方法ニ依ツテモ宜カラウト思ヒマス、此ノ決定ハ何レモ各市町村ガ、其ノ條例ヲ以テ適當ナル課稅方法ヲ定メルト云フコトニナツタラ如何デス

○道家委員 私ハ大臣バカリデス

○小笠原委員長代理 ソレデハ暫ク御待チ下サイ

○道家委員 若シ時間ヲ御急ギナラ明日一  
緒ニシタイ、内務大臣ニ對シテモ十分カ十  
五分デ濟マス積リデスガ、質疑應答ノ結果  
デハ分ラヌ

○道家委員 積リテアラウト思ヒマス、最高ノ限度ヲ千圓トシタ、ソレハ財產ノ程度トカ其ノ資產ノ點ヲ考慮シテヤルモノデハナイノダ、唯認識稅見タヤウナモノデアル、斯ウ云フ御話デアリマスガ、ソレデハ課スル場合ニ、實際問題トシテハ如何ナル標準デソレ御決定ニナルカ、課ス率ノ御決定ハ如何デス

○挾間政府委員 先程モ申上ゲマシタヤウニ市町村民稅ハ、地方稅法ニ於テハ唯基本ノ原則ヲ定メテ居ルダケデゴザイマシテ、ソレニ從ツテ各市町村ガ、條例ヲ以テ其ノ賦課徵收ノ方法ヲ定メルコトニナツテ居リマス、法律デ定メテ居リマスノハ最高額トカ、或ハ賦課期日デアルトカ、納稅義務者ノアルトカト云フ程度デゴザイマシテ、後ノ課徵ノ方法ニ付キマシテハ、成ベク市町村ノ自由ニ致サセタイト思ヒマス、隨テ今御話ノ課稅標準ニ付キマシテモ、都市ト農村デハ餘程事情ガ違フト思ヒマス、例ヘバ都市デハ所得額ヲ標準トスルトカ、或ハ家屋ノ賃貸價格ヲ標準トスルトカト云フヤウナヤリ方ヲ致シマス場合ガアルト思フノデアリ、所謂見立割式ニ行クト云フヤウナ必要ガアル事情ノ町村ニ於キマシテハ、サウ云フ方法ニ依ツテモ宜カラウト思ヒマス、此ノ決定ハ何レモ各市町村ガ、其ノ條例ヲ以テ適當ナル課稅方法ヲ定メルト云フコトニナツタラ如何デス

○道家委員 私ハ大臣バカリデス

○小笠原委員長代理 ソレデハ暫ク御待チ下サイ

○道家委員 若シ時間ヲ御急ギナラ明日一  
緒ニシタイ、内務大臣ニ對シテモ十分カ十  
五分デ濟マス積リデスガ、質疑應答ノ結果  
デハ分ラヌ

私ハ思フノデス、若シ今ノヤウニ課カラナ  
イ者ガ「カード」階級以外ニモアルトル  
ト、市町村民税ト云フモノノ其ノ根本ノ性  
質ニ合ハナイノデハナイカト思ヒマス、ソ  
レカラモウーツハ、金額ヲ千圓ト御定メニ  
ナツタト云フコトハ、是ハ富ノ程度ニ依ツ  
テ決メルノデナイカラ、此ノ位ノ程度ニシ  
タノダ、モツト之ヲ上ガルト云フト、今マ  
デノ戸數割ノヤウナ弊害ガ出來ルカラト仰  
シヤルノデスケレドモ、併シ必ズシモ之ヲ  
上ゲテモサウ弊害ガナクナルノデハナカラ  
ウ、千圓位ノ程度デ斯ウシテ止メテ置クト  
云フノハ、ヤハリ下ニ重ク、上ニ薄クナル  
ヤウナ弊害ガ却ツテ起ルノデハナイカ、市  
町村ニ於ケル者ト、都市ニ於ケル住民トノ  
分擔ハ差ガアツテ宜ノダ、デスカラ差ハ付  
ケテアルノデスガ、モツト大キナ差ガアツ  
テモ宜イ、ヤハリ財産ト云フモノ、富ト云  
フモノノ程度ヲ參酌シテモ差支ナイ、參酌  
スペキデハナイカ、大都市民トシテノ恩  
惠、社會的、文化的ノ色々ノ施設ノ恩惠ヲ  
蒙リマスノデ、サウ云フ點カラ見テモ、モ  
ウ少シ差ヲ設ケタ方ガ宜イ、設ケルトスレ  
バ、二千圓、若クハ三千圓ニスレバ、ソレヲ  
配合シタ時ニ、段々下ニ厚クナツテ、上ニ重  
クナル傾向ヲ持ツノデハナイカ、所ガ千圓  
位デ止メラレマスト、下ノ方ニ却ツテ重ク  
ナツテ上ノ方ガ薄クナル、是ハ富ノ比例カ  
ラ言ヒマシテ現在ノ稅制ヲ見マスト、折角  
御改正ニナツテ洵ニ結構デアリマスガ、ヤ  
ハリ日本ノ從來ノ弊風デアル下ニ重ク上ニ  
軽イト云フコトハ、ドウシテモ否定出來ナ  
イ、殊ニ度々議論ノアリマシタ綜合課稅ナ  
ドノ點カラ見マシテモ、ドウシテモ其ノ傾  
向ガアル、漸次ソレヲ緩和シツ、アルトハ

イカト思ヒマスガ如何デスカ  
○挾間政府委員 最初ニ御述ニナリマシタ  
點ハ、吾々モ全ク其ノ通リニ考ヘテ居ルノ  
デアリマシテ、極ク少數ノ者ノミニ非常ニ  
高額ナル稅ヲ課シテ、アトハ全部納稅ヲサ  
セナイト云フコトハ、是ハ此ノ稅ノ本質力  
ラ見マシテ不適當デアラウト思フノデアリ  
マス、是ハ監督上十分其ノ點ハ注意ヲ致シ  
マシテ、左様ナコトノナイヤウニ、度々述  
ベマシタ通リ納稅義務者ガ成ベク普遍的  
ニ、サウシテ輕イ負擔デハアルケレドモ、  
地方負擔ノ分任ヲスルト云フ趣旨ガ稅制ノ  
上ニ現ハシ得マスヤウナ方法デ課稅ヲス  
ヤウニ致シタイト思ヒマス、此ノ點ハ監督  
上十分注意ヲ致ス考デアリマス、ソレカラ  
最高額ノ點ニ付キマシテハ、度々申上ゲテ  
多少意見ト云フコトニナルカモ知レヌト思  
ヒマスガ、ドウモ團體ノ大小ト云フコトニ  
依リマシテ此ノ額ヲ高下スルコトハ、此ノ  
最高限ヲ定メマシタ趣旨カラ見マシテ、ドウ  
モ適當デナインオデハナイカト考ヘルノデア  
リマス、東京其ノ他大都市ト町村ト雖モ、  
最高額トシマシテハ千圓デ押ヘテ行ク方ガ、  
モ得ルヤ否ヤト云フコトヲ考ヘルノデア  
リマス、八圓ト四圓ト云フコトデアリマス  
ガ、其ノ個人ニ對スル單價ハ、先ノ御説明  
ニ依ツテ趣旨ハ分ツテ居ルノデスガ、市町  
村ノ最高ノモノト小サイ町村ノ最高ノモノ  
ト、大都市ノ大富豪ノ最高ノモノト同ジデ  
アルト云フコトハ、ドウモ私ニハ受取レナ  
スカラ、私ハ是テ町村稅ハ打切りマス

ト思フノデアリマス、之ヲ御變ヘニナル御  
考ハアリマセヌカ  
○挾間政府委員 各納稅者ノ最高額ヲ千圓  
申上ガテ鬪ハス譯デハアリマセヌケレドモ、  
全體ヲ見テ下ニ輕ク上ニ重クト云フコトダ  
ケデアツテ、是ノミヲ見テ其ノ輕重ヲ判斷  
スルコトハ出來ナイ、斯ウ云フ御話デアリ  
マスガ、部分的ニ輕重ガアレバ、ソレハ結  
局全體ノ輕重トナルノデアツテ、部分的デ  
アル所ノ市町村民稅ガ下ニ厚イヤウニナツ  
テ居レバ、全體トシテ厚クナルノデアツテ、  
輕重ガ部分的ニアルコトハ之ヲ綜合シタモ  
ノハ結局全體的ニ、ヤハリ下ニ重ク上ニ輕  
イト云フコトニナルノデアリマス、是ハ意  
見ノ相違デスケレドモ、ドウカ私ノ御願ス  
ルコトハ上ニモツト厚クシテ、サウシテ下  
ニハ、ソレガ市町村民稅デアラウト何デア  
ラウト、其ノ稅ノ課稅ノ趣旨ヲ急速ニ徹底  
的ニ改メタルヤウニシテ戴キタ、斯ウ云フ  
希望ヲ申上ゲテ置キマス、ソレカラ大都市  
ト町村ノ全體トシテノ單價ノ差ガ設ケテア  
リマス、八圓ト四圓ト云フコトデアリマス  
ガ、其ノ個人ニ對スル單價ハ、先ノ御説明  
ニ依ツテ趣旨ハ分ツテ居ルノデスガ、市町  
村ノ最高ノモノト小サイ町村ノ最高ノモノ  
ト、大都市ノ大富豪ノ最高ノモノト同ジデ  
アルト云フコトハ、ドウモ私ニハ受取レナ  
スカラ、私ハ是テ町村稅ハ打切りマス  
○森委員 一寸關聯デスガ今ノ御説明デ大  
體ハ明カニナツテ居ルノデスガ、市町村民  
稅ソレ自體ノ本質ト申シマスカ、性質ト申  
シマスカ、ソレカラ致シテモ、苟モ市町村  
ニナツテ居リマスカラ、市町村民稅ノミヲ  
以テシマシテハサウ云フ目的ハ到達出來マ  
セヌシ、又サウ云フ考デモナインデゴザイ  
マス  
○道家委員 御尤モデアリマシテ、意見ヲ  
申上ガテ鬪ハス譯デハアリマセヌケレドモ、  
全體ヲ見テ下ニ輕ク上ニ重クト云フコトダ  
ケデアツテ、是ノミヲ見テ其ノ輕重ヲ判斷  
スルコトハ出來ナイ、斯ウ云フ御話デアリ  
マスガ、部分的ニ輕重ガアレバ、ソレハ結  
局全體ノ輕重トナルノデアツテ、部分的デ  
アル所ノ市町村民稅ガ下ニ厚イヤウニナツ  
テ居レバ、全體トシテ厚クナルノデアツテ、  
輕重ガ部分的ニアルコトハ之ヲ綜合シタモ  
ノハ結局全體的ニ、ヤハリ下ニ重ク上ニ輕  
イト云フコトニナルノデアリマス、是ハ意  
見ノ相違デスケレドモ、ドウカ私ノ御願ス  
ルコトハ上ニモツト厚クシテ、サウシテ下  
ニハ、ソレガ市町村民稅デアラウト何デア  
ラウト、其ノ稅ノ課稅ノ趣旨ヲ急速ニ徹底  
的ニ改メタルヤウニシテ戴キタ、斯ウ云フ  
希望ヲ申上ゲテ置キマス、ソレカラ大都市  
ト町村ノ全體トシテノ單價ノ差ガ設ケテア  
リマス、八圓ト四圓ト云フコトデアリマス  
ガ、其ノ個人ニ對スル單價ハ、先ノ御説明  
ニ依ツテ趣旨ハ分ツテ居ルノデスガ、市町  
村ノ最高ノモノト小サイ町村ノ最高ノモノ  
ト、大都市ノ大富豪ノ最高ノモノト同ジデ  
アルト云フコトハ、ドウモ私ニハ受取レナ  
スカラ、私ハ是テ町村稅ハ打切りマス  
○森委員 一寸關聯デスガ今ノ御説明デ大  
體ハ明カニナツテ居ルノデスガ、市町村民  
稅ソレ自體ノ本質ト申シマスカ、性質ト申  
シマスカ、ソレカラ致シテモ、苟モ市町村  
ニ於テ擔稅力ヲ有スル者ニ對シテハ、其ノ

負擔力ニ應ジテ多少ノ別ハアリマセウガ、其ノ村若クハ其ノ市ニ於テ、一人ト雖モ此ノ稅ヨリ逸脱スル者ハナイ、其ノ方針デ進ムノダト云フコトダケハ、モウ少シハツキリ御話ニナツテ置イタ方ガ私ハ宜シイト思ヒマス

○挿間政府委員 市町村民稅ノ納稅義務者ノ範圍、觀念ト云フコトニ付キマシテハ、只今森サンガ御述ニリナマシタ通リデゴザイマス

○森委員 此ノ稅ヲ實施スルニ當ツテ、地方長官其ノ他ノ方面ヲ通ジテ徹底ヲ致スヤウニ、何等カノ手段ヲ御盡シニナリマスカ

○挿間政府委員 今回ノ稅制ノ改正ハ、地方稅トシテハ非常ニ劃期的ノ改正デゴザイマスノデ、獨リ市町村民稅ノ問題ノミナラズ、殊ニ分與稅等ニ付キマシテハ、可ナリ詳細ニ地方長官ニ指示シ、更ニ其ノ部下ノ吏僚ニ對シマシテモ十分之ヲ徹底サセ、施行上過誤ノナイヤウニ致サナケレバナラヌト思

○山川委員 一寸關聯デスガ——私同感デヒマスノデ、此ノ法案施行ニ付キマシテハ、早速御述ニナリマシタヤウナ必要ニシテ且ツ十分ナル手段ヲ講ジタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○山川委員 一寸關聯デスガ——私同感デヒマスノデ、此ノ法案施行ニ付キマシテハ、早速御述ニナリマシタヤウナ必要ニシテ且ツ十分ナル手段ヲ講ジタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

人ニナルト、ヤハリ其ノ村デ六万圓位取ツテ居ツタ村モアリマセウ、ソレガ今度ハソレニ代ルベキ住民稅トシテ、千圓ヤソコラデハ滑稽ニ過ギナイ、ドウ云フ風ニ之ヲ實地ニヤルノデアリマスカ、田舎デハ千圓ト云ツタラ中々大キナ問題デ、假ニ三千人住ンデ居ル所デ四圓取ツタラ千二百圓ニナル、ソレヲ五人カ六人ニ課ケテシマフト、一人前二百圓トカ三百圓トカ課ル、戸數割ガ百五十圓カ二百圓程課ツテ居ツタノデモ非常ニヤカマシイ問題ニシテ居ルノニ、此ノ住民稅三百圓課ケルコトガ出來ルト云フノハ非常ナ脅威デアル、都會ノ大金持ノ住ヒシテ居ル所ナラ、千圓ト云フヤウナモノハ滑稽デアル、是ハ私ガ思フノニハ、市町村民稅ハセメテ一万圓、千圓、百圓ト、三ツ位ニ分ケテ、市ハ一万圓、町ハ千圓、田舎ハ百圓位ニセラレルト云フヤウナ必要ガアリハシナイカ、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマス

ソレカラ是モ同ジコトデアリマスガ、家屋稅ノ問題デアリマス、家屋稅ノ如キモノモ、實ハ自分ノ縣ノ家屋稅ノ問題ノ時ニ、色々苦シシニ、自分モ家屋稅ノ調査委員ノ一人デアツタノデアリマスガ、丘原縣デハ、但馬、丹波ノ七郡デ納メマス家屋稅ノ總額ト、武庫郡ノ精道村一箇村ノ稅額トヲ比べタスト、マダ四十八圓精道村ノ方ガ多カツ千圓ト云フコトハ非常ニ村落デハ重イヤウニ思ヒマス、又都市デハ千圓ト云フコトハソレコソ問題ニナラナイ話デアツテ假ニ今局長サンカラモ御話ガアリマシタガ、大阪ニ營業所ノアル人ガ武庫郡デ住ヒシテ居人ニ付テ三万圓、四万圓ノ特別戸數割ヲ取ツテ居ツタ村モアルノデアリマス、又多イ

人ニナルト、ヤハリ其ノ村デ六万圓位取ツテ居ツタ村モアリマセウ、其ノ町村ニハ出來ルカ、總テノ文化的設備ト云フモノガ、其ノ町村ニハ出來ルカ、普通ノ家ノ高サノ三倍モアルヤウナ家ニ住ム譯デモナシ、面積モソソナニ廣イ所ニ居ツタラ寒クテ居レヤシナイ、ダカラ人間ノ身體ト云フモノハ、千倍モ万倍モ億倍モ持ツテ居ル人デモ、住ヒハ同ジデアル、貧乏人ダカラト云ツテ「マッチ」箱ノ中ニ入ツテ居ル譯ニハ行カナイ、ダカラドチラカト云ハバ、財產以上ニソレガ縮ンデ居ル譯デス、財產ノ方ガ家ノ大キサヨリ大キイノデス、ソンナ關係カラ考ヘテ見マシタナラバ、此ノ稅金ノ課ケ方デモ同じヨコトニナル、一万圓課ケラレタノハ滑稽ノ至リデアル、一万圓ノ最高ノ人ガ三十人住ンデ吳レタ所ガ、三十万圓ヨリ取レヤシナイ、精道村アタリハ若シスウ云フ制度ニナツタナラバ、何ニ依ツテ收入ヲ得ルカ、寄附金ダケニ依ツテヤルノカ、土木費ダケデモ六十萬圓トカ七十萬圓トカ使ツテ居ル村ガ澤山アリマス、是等ハドウスルノデス、七郡ト一村ト比べテ、マダ四十八圓負ケテ居ル、私共ハ貧弱ナ方ノ所ニ住シニ居ル人間デアリマシテ、七郡デ一村ニ負ケテ居ル方ニ住シニ居ル者デスガ、サウ云フ差ガアリマス、ソンナコトカラ考ヘテ見マシタラ、千圓ト云フヤウナ制限ハ滑稽ノ至リデアル、市其他ノ立派ナ人ノ住シニ居ル所ハ、セメテ十万圓位ナ程度ニ上げテ貰ハナケレバナラヌ、田舎デハ百圓位ノ程度ニ下ゲテ貰ハナケレバナラヌ、ソレドウデモ宜イ、唯千圓ト云フ一つノモノノドウデモ、是ハ凡ソ何ニ依ルベキモノデアルカ、ノ割合ニ課ケラレタラ、其處ニ住ムコトガ一一番安心デアル、財產ノアル者ハ何ボ課ケラレテモ恐ロシクナイ、財產ノナイ者ガ此ニシテシマツテ、アトハ其ノ町村ノ勝手ニ任せルト云フコトニナリマシタナラバ、此ノ規則ハ村落ニ住シニ居リマス者ニ取ツテハ非常ニ怖イ規則デアルシ、市ニ住シニ居ル人ニ懼イ規則デアルシ、市ニ住シニ居ル人ニ承リタインデアリマス

○小笠原委員長代理 大藏大臣ガ見エテ居

リマスカラ、成ベク大藏大臣ニ對スル御質問ヲ願ヒマス

○挾間政府委員 只今山川サンガ御述ニナリマシタヤウナ、富ガ非常ニ地方的ニ偏在シテ居ルト云フコト、是ガ今回地方税制ヲ根本的ニ變ヘナケレバナラヌト云フ理由ナノデアリマス、精道村デソンナニ所得稅附加税其ノ他ガ多額ニ取レマスガ、但馬ノ農村ニ於テハ殆ド財源ガナイ、斯ウ云フコトデハ地方自治ガ本當ニイカヌデハナイカ、地方自治ヲ振興スル爲ニハ、必要ナル財源ハ如何ナル税源ノ乏シイ所ニモ相當與ヘナケレバナラヌデアラウト云フノガ、今回ノ分御諒解願ヒタイト思フノデス

ソレカラ此ノ市町村民稅ノ最高額ノコトヲ御話ニナリマシタケレドモ、金持ノ多い所ハ幾ラデモ取ルヤウニスレバ宜イデハナカト云フノハ、千圓ノ制限ノ問題デヤナクシテ、其ノ村ニ對スル四圓ノ制限ノ問題デアルト思ヒマス、幾ラ金持ガ澤山居リマシテモ、其處ノ市町村民稅ノ總額トシマシテハ、一人當リ四圓、隨テ千戸デアレバ四千圓以上ハ取レナイゾ、斯ウ云フコトニ抑ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ各個人ノ問題ニ付キマシテ、其ノ人ガ或村ニ居ルカラ千圓、他ノ村ニ居ルカラ二千圓ト云フ風ニ變ルト云フコトハ、是ハ此ノ稅ノ本質カ考ヘマシテ適當デナイト思ヒマスノデ、全國一律ニ各人ノ最高額ハ千圓ト云フコトニ抑ヘテ居ル譯デアリマス、尙ホ市町村民稅ノ各人ノ最高額ヲ千圓ト致シマシタノハ、是ハ法デ最高限ヲ定メタノデアリマス、地方團體ガ其ノ實際ノ需要ニ應ジマシテ、其ノ最高ヲ何圓ニスルトカ、何百圓ニ

スルトカ云フコトハ、各地方團體ノ意思ニ從ツテ決定スレバ宜イノデアリマス、此ノ意味ニ於キマシテ、此ノ市町村民稅ハ成ベク地方自治ヲ尊重シ、市町村長ノ提案ニ基シテ居ルト云フコトヲ出シタノカ、寧ロ滑稽ノ至

リデアル、最高ヲ十万圓位ニシテヤルト云ノナラソレハ宜シイガ、全ク是ハ實際ニキマシテ、地方議會ガ適當ナル其ノ土地ノ實情ニ即シタル議決ヲスルト云フコトヲ吾々ハ信ジテ、斯ウ云フ案ヲ立テテ、各地

方團體ノ需要ニ應ズル議會ノ議決ヲ信頼シテ居ル譯デアリマス、吾々ハ信ジテ、斯ウ云フ案ヲ立テテ、各地團體ノ需要ニ應ズル議會ノ議決ヲ信頼シテ居ル譯デアリマス

スルトカ云フコトハ、是ハ本當ノ「ベーハ・ラン」デハナイカト私ハ思フノデアリマス、サウ云フコトデハイカヌ、ヤハリ負擔分任ノ精神ト云フモノハ、負擔力ニ應ジタ、市町村民稅ヲ課スルト云フコトデアリマス、ソレヲ一律一體ニ四圓、六圓、八圓、千圓、一千圓ト云フコトヲ頭ニ入レテ、十分ナル御考ノ差ト云フモノハ何万倍、何十万倍ト云フ力ノ相違ガアルノデアリマス、ソレデ是ハ

都會ダカラ八圓デ宜イ、トカ、是ハ低過ぎルトカ云フコトハナイ、何故ガト云フ一人ノ金持ガ居レバ片方ニハ千人ノ貧乏人ガ居ル、ソレヲ平均シテ見タラ大シタ差ハナイト云フコトニナル、ソレカラ考ヘテ見マスルト此ノ八圓、六圓、四圓ト云フコトニ分ケテアルト云フコトガ、是ガ一ツノ基準マスク――ソレデハ伊藤君

○伊藤委員 私ハ實ハ横濱ニ住シニ居ルノデアリマスガ、今横濱デ一番大キナ問題トシテ研究サレテ居ルノハ、横濱ノ「フォード」會社デス、アノ一ツノ會社デ約六十萬圓ノ稅金ヲ拂ツテ居ルサウデス、ソレカラ川崎ノ日本鋼管ハ二十萬圓モ拂ツテ居リマス、併シナガラ是ガ今度ノ市町村民稅ニ於テ、僅カ最高千圓ト云フヤウナコトニナレバ、一體學校ノ經營モ其ノ他ノ設備モ何ト存ジマス、決シテ大都市ニ對スル認識ガ足リナインデモ何デモゴザイマセヌカラ、詳シク申上ゲタイト思ヒマス、ドウモ御話ヲ聞キマスト、地方財源ハ市町村民稅ダケデ貯フヤウニ一寸伺ヒマシタケレドモ、市町村民稅ト云フノハ僅カナ稅デアリマス、ソレカラ戸數割ハ横濱ニ施行シテ居リマセヌノデ、恐ラク他ノ稅デアルト思フ、ソレデスガドウモ是ハヤハリ地方局長ハ餘リ横濱



○櫻内國務大臣　今貴族院ノ豫算總會モアリマスガ、成ベク時間ノ許ス限リ出テ參リマス

○堺切委員長 今日ハマダ宣シイサウデスマス、此ノ税制改革ト稍ニ關聯ガナイヤウニ思ハレルカモ知レマセヌケレドモ、併シ關聯ガアルノデアリマス、ソレハ總理大臣ガ

オ出テニナツタ時ニ、私ノ所ニ來テ居リマ  
ス文書デアルトカ、其ノ他ノモノニ付テ申上  
ゲヨウト思ヒマシテ、今ハ重複シマスカラ  
ラ申上ゲマセヌガ、國民ハ稅制ノ改革ニ付  
テ非常ナ關心ヲ持ツテ居ル、無論國民トシ  
テ此ノ戰時ニ如何ナル事ヲモ忍ブト云フコ  
トハ言フマデモナイコトデアルガ、併シナガ  
ラ兎モ角生活上ノ壓迫デアルト云フコトハ  
事實ナノデアリマス、是ハ否定スペカラザ  
ル事實デアリマス、所デ其ノ壓迫ニ對シテ、  
重壓ニ對シテ忍ブト云フ決心ヲスルニ付テ  
ハ政府ノ方針ナリ、殊ニ大藏大臣ノ御考ト  
云フモノガ非常ニ重要ナ要點ニナルノダト  
思フ、ソコデ私ハ大藏大臣ニ御伺シタイコ  
トハ、過日來齋藤サンノ問題方起ツテ居リ  
マス、齋藤サンノ主張ハ

マシテ、私ハ政府トシテノ之ニ對スル所ノ  
方針ハ既ニ御分リニナツテ居ルト思フノデ  
アリマス、私ハ民政黨ニ屬シテ居ルガ、民  
政黨ノ方針ハドウデアルカト云フト、民政  
黨モ全ク一體トナツテ支那事變ニ對スル所  
ノ方針ハ決定致シテ居リマス、政府ノ方針  
ト毫末モ變ツテ居ナイノデアリマス、即チ

○櫻内國務大臣 不動ノ國策ニ反スル所ノ  
行動ノ人ガアルト致シマスナラバ、私ハ是  
ハ徹底的ニ其ノ人ヲ排斥シナケレバナラヌ  
ト思ヒマスガ、私ハ全國民、日本ノ國民ト  
シテ、今日國家ニ於テ定マツタル不動ノ方  
針ニ對シテ反對ヲシ、反對的行動ヲ執ル者  
ハ私ハナイト確信致シテ居ルノデアリマス

ノ目的ヲ遂行スル爲ニハ、ソレハ八億ノ増  
稅モ已ムヲ得ナイノデアリマセウ、私ハサ  
ウナクテハナラヌト思フ、私ハ次ニ大藏大  
臣ニ承リタイコトハ、大藏大臣ノ根本的財  
政計畫ニ付テ承リタイト思ヒマス、私甚ダ  
言過ギルカモ知レマセヌガ、過日來本會議  
茲ニ當委員會其ノ他ニ於テ、大藏大臣ガナ

[View Details](#)

審議ガ出來ナイ、大藏大臣ハ一體どう云フ思  
想デ以テ此ノ戰争ヲ見テ居ルノカ、此ノ戰  
爭ヲ止メルト云フナラバコンナ稅ハ要ラナ  
イ、此ノ戰争ハ無意義デアルト云フノナラ、  
吾々ハ此ノ稅ノ問題ハ審議出來マセヌ、之  
ニ付テ大藏大臣ハ一體下ウ云フ御考ヲ御持  
チニナルノカト云フコトヲ聞クノハ一向差  
支ナイ、唯齋藤事件ト云ツテモ言葉ガソ

○道家委員 只今ノ御方針デ能ク分リマシタ、然ラバ大藏大臣ハ若シ左様ナ政府ノ答辯、又今大藏大臣ガ御答辯ニナツタヤウナ趣旨ニ反スルヤウナ者ガアルトスレバ、ソレハ洵ニ遺憾ナコトダト御思ヒニナルカ、又斯ウ云フ者ハウツチヤツテ置ケナイノヂヤナイカト思フ、是ハ國家ノ進展ニ非常ニ障碍ヲ爲スモノデアルカラ、左様ナ思想ヲ持ツテ居ル者ガアレバ徹底的ニ何トカシナケレバナラヌ、併シ何トカスルトカ、シナイトカ云フコトハ別ノ問題デアリマス、此ノ増稅ノ委員會ノ席デ述ベルヤウナコトデテ信ジマス、ドウカ左様ナ思想ニ對シテ絶対ニ否定ヲシテ戴キタ一、サウ云フ者ガアルノハ非常ニ困ツタモノデアル、如何デアリマセウ

ノ目的ヲ遂行スル爲ニハ、ソレハ八億ノ増  
稅モ已ムヲ得ナイノデアリマセウ、私ハサ  
ウナクテハナラヌト思フ、私ハ次ニ大藏大  
臣ニ承リタイコトハ、大藏大臣ノ根本的財  
政計畫ニ付テ承リタイト思ヒマス、私甚ダ  
言過ギルカモ知レマセヌガ、過日來本會議  
並ニ當委員會其ノ他ニ於テ、大藏大臣ガナ

[View Details](#)

シナイ爲ニ、サウシテ其ノ所屬ノ方々ノ態度ガハツキリシナイ爲ニ、非常ナ誤解ヲシテ居ルコトハ甚ダ遺憾ニ堪ヘナイ、デスカラ無イト御信ジニナルヤウナ思想ニ對シテハ、絶對反對デアルト云フコトヲ承知シテ

○道家委員 ナイト御確信ニナルト言フケ  
レドモ、事實アルノデス、是以上私ハ争ヒ  
マセヌ、併シ私ハ一般ノ國民ガソレヲ理解

サレマシタ御答辯ヲ承リマスト云フト、失禮ナガラドウモ財政方針ニ關スル御方針ガ能ク分ラナイ、一例ヲ舉ゲレバ、衆議院ノ速記錄ノ九號百六十五頁ニ斯ウ云フコトヲ大臣ガ答辯サレテ居リマス「現在ノ日本ノ財政計畫ト致シマシテハ、出來ル限り國民ノ負擔ニ於テヤツテ、其ノ足ラザル所ハ其ノ金額ガ假ニ多クトモ、公債財源ニ俟ツノ外ハ方法ハナイノデアリマス、即チ或リ適當ノ時期ニ於テ、此ノ財政ト云フモノニ對シマシテハ前途ヲ見透シテ財政計畫ガ確立セラルルト思ヒマス」斯ウ云フコトヲ言ツテ居ラツシヤル、サウシテ又他ノ機會ニ於テ大藏大臣ハ斯ウ云フコトヲ言ツテ居ラツシヤル、今後モ甚シイ情勢ノ變化ノナイ限り更ニ増税ヲ行フ必要ハナイデアラウト答辯シテ居ラレマス、ソレカラ又小笠原委員ノ質問ニ對スル御答辯ニ、年々彈力性ヲ利用シテ増税スルト云フガ如キ事柄ハ、今日ハ絶對ニナイト申上ゲル外ハナイノデアル、斯ウ云フコトヲ言ツテ居ラレル、サウスルト云フモト云フ事柄ハ、是ハ假ニ政府ニ考ガアツトデアリマスルガ故ニ、何時マデニ此ノ事變ヲ終了スルトカ、何時マデニ之ヲ片付ケアツテ、此ノ相手ノ如何ニ依ツテ定マルコトモ、之ヲ豫斷シテロニスベキデハナイト思ヒマス、況ヤ今後ノ向フノ出方ト云フモト云フ事柄ハ、是ハ假ニ政府ニ考ガアツトモ、之ヲ豫斷シテロニ付キマシテハナイト思ヒマス、況ヤ今後ノ向フノ出方ト云フモト云フ事柄ハ、是モアリマスノデ、隨ヒマシテ之ニ對シテ支那事變が何時濟ムト云フコトニ付キマシテハ、申上ゲ兼ネルノデアリマス、勿論支那ニ於テ新中央政權ガ出來タ、是ハ支那事變解决ノ一段階ニハ相違アリマセス、併シナガラ蔣介石ノ政權ガ存續シテ、我ニ對抗シテ居ル以上ハ、是ハ支那事變ガ全然終了シタト云フコトハ出來得ナイノデアツテ、新中央政權ガ出來マシテモ、形ハ異ツテモ戰争狀態ト云フモノハ繼續シテ行クト斯様ニ考ル、所ガ此ノ彈力性アル稅制改革ヲヤツテノ御趣旨ガ能ク分ラナイノデアリマスガ、大藏大臣ノ財政計畫ハ如何ナルモノデアリマセウカ、今後事變が續クコトモ御分リデ

アリマセウ、然ラバドノ位、ドウ云フ風ニ續イテ行クノデアルカ、サウシテソレニ對スル稅ハドウ云フ風ニ取ツテ行クノデアルベ、御會得ガ行クデアラウト思ヒマス、レバ、是ハ格別デアリマス、併シナガラ此ノ事は、根本方針ニ付テ承リタイ〇櫻肉國務大臣 大體ノ御話ヲ申上ゲマスレバ、御會得ガ行クデアラウト思ヒマス、ルカト云フ事柄ガ、日本ノ財政上ニ重大ナル關係ヲ持ツコトハ固ヨリデアリマシテ、是ハ御否定ニハ相成ラヌト思ヒマス、而シテ此ノ支那事變ガ何時終了スルノデアルカ、又何時ドウ云フ風ニ展開ヲスルノデアルカト云フコトニ付キマシテハ、是ハ今日何人モ正確ナル豫斷ヲスルコトハ出來兼ネルトアツテ、此ノ相手ノ如何ニ依ツテ定マルコトモ、之ヲ豫斷シテロニ付キマシテハナイト思フノデアリマス、即チ相手ノアル仕事デアツテ、此ノ相手ノ如何ニ依ツテ定マルコトモ、之ヲ豫斷シテロニ付キマシテハナイト思ヒマス、況ヤ今後ノ向フノ出方ト云フモト云フ事柄ハ、是ハ假ニ政府ニ考ガアツトモ、之ヲ豫斷シテロニ付キマシテハナイト思ヒマス、況ヤ今後ノ向フノ出方ト云フモト云フ事柄ハ、是モアリマスノデ、隨ヒマシテ支那事變が相當ノ期間繼續スルモノト假定致シマシテ、財政ノ計畫ヲ立テナケレバナラナイノデアリマス、又國際情勢ト云フコトヲモ考慮ニ入レテ、其ノ國際情勢ノ變化ニ應ズルト云フ事柄ニ付テモ、亦考慮ノ中ニ入レテ行カナケレバ相成ラヌト思ヒマス、トモモ考慮ニ入レテ、其ノ國防充實、此ノ國防充實ト云フモノハ、所謂國際環境ヤラ或ハ周圍ノ狀況ニ依ツテ、國防充實ノ程度ガ決ルノデアリマスガ故ニ、是等ノ點ヲモ考慮シテ考ヘナケレバナラヌノデアリマス、ソコデ今日私共ガ財政ヲ處理シテ居リマス立場カラ申シマスト、此ノ支那事變ノ現狀ガ更ニ相當期間繼續スルモノトシテ現在案ヲ立てテ、サウシテ進行ヲ致シツツアルノデアリマス、是ガ大體ノ見透シト申セバ見透シ産デアルトカ、或ハ輸出貿易ノ振興デアルトカ、斯ウ云フ方面ニ支障ヲ起サナイ程度ニテ、出來得ル限リノ稅收入ヲ見タイ、ハ國防ノ充實デアルトカ、生活必需品ノ生産デアルトカ、或ハ輸出貿易ノ振興デアルトカ、斯ウ云フ事柄ハ私考ヘテ差支ナイコトダントカ、思フノデアリマス、而シテ其ノ不足額ヲ公債辨ニ俟ツ、是ハ私今日ノ財政狀態トシニテ、出來得ル限リノ稅收入ヲ見タイ、ハ是ガ一番堅實ナ財政方針ダト思ヒマス、  
マシテ、世界ノドノ國ニモ斯ウ云フ戰時狀態ニナリマスト、大部分ヲ公債支辨ニ俟ツ

テ居ルコトハ、道家君御承知ノ通リデアリマス、故ニ遠キニ瓦ツテノ財政計畫ヲ立テマス場合ニ於テハ、此ノ支那事變ト云フモノノ解決ト云フモノガ、重點トナリマスガ故ニ、支那事變ノ解決ト云フコトガ決ラナケレバ、本當ノ永遠ニ瓦ツタ財政計畫ト云フモノハ、私ハムヅカシイト思ヒマス、併シナガラ現在日本ト致シマシテハ、支那事變が相當ノ期間繼續スルモノト假定致シマシテ、財政ノ計畫ヲ立テナケレバナラナイノデアリマス、又國際情勢ト云フコトヲモ考慮ニ入レテ、其ノ國防充實、此ノ國防充實ト云フ事柄ニ付テモ、亦考慮ノ中ニ入レテ行カナケレバ相成ラヌト思ヒマス、トモモ考慮ニ入レテ、其ノ國防充實、此ノ國防充實ト云フモノハ、所謂國際環境ヤラ或ハ周圍ノ狀況ニ依ツテ、國防充實ノ程度ガ決ルノデアリマスガ故ニ、是等ノ點ヲモ考慮シテ考ヘナケレバナラヌノデアリマス、ソコデ今日私共ガ財政ヲ處理シテ居リマス立場カラ申シマスト、此ノ支那事變ノ現狀ガ更ニ相當期間繼續スルモノトシテ現在案ヲ立てテ、サウシテ進行ヲ致シツツアルノデアリマス、是ガ大體ノ見透シト申セバ見透シ産デアルトカ、或ハ輸出貿易ノ振興デアルトカ、斯ウ云フ事柄ハ私考ヘテ差支ナイコトダントカ、思フノデアリマス、而シテ其ノ不足額ヲ公債辨ニ俟ツ、是ハ私今日ノ財政狀態トシニテ、出來得ル限リノ稅收入ヲ見タイ、ハ是ガ一番堅實ナ財政方針ダト思ヒマス、隨ヒマシテ之要スル所ノ經費ト云フモノガ、此ノ日本ノ財政上ニ於ケル所ノ主ナル費用ノ一要素デアリマスルガ故ニ、日本ノ財政計畫トシマセウカ、今後事變が續クコトモ御分リデ

ハ是ガ一番堅實ナ財政方針ダト思ヒマス、  
併シナガラ斯様ナル臨時ナル費用、サウ云フモノヲモ永續のニ國民負擔ニ俟ツト云フ事柄ハ、是ハ容易ニ出來得ナイコトデアリマシテ、世界ノドノ國ニモ斯ウ云フ戰時狀態ニナリマスト、大部分ヲ公債支辨ニ俟ツテ居リマスノハ、公債ヲ募集シマス際ニ、其ノ募集シタ公債ノ利子及ビ公債ヲ償還スルカ、又財政ヲドウシテヤツテ行クカ、斯ウ云フ實際ノ問題ニナリマスト、希望ト致シテ然ラバ其ノ狀態ニ於テドウ云フ風ニナデアリマスガ、左様ナル見地ニ立ツテ財政ノ處理ニ私ハ任ジテ居ル者デアリマス、而シテ然ラバ其ノ狀態ニ於テドウ云フ風ニナデアリマスガ、隨ヒマシテヤツテ行クカ、斯ウ云フ實際ノ問題ニナリマスト、希望ト致シタト云フコトハ出來得ナイノデアツテ、  
マセヌケレドモ、私ガ財政當局トシテ考ヘテ居リマスノハ、公債ヲ募集シマス際ニ、其ノ募集シタ公債ノ利子及ビ公債ヲ償還スル爲ノ一つノ確タル方法ヲ立テ、サウシ

テ公債ヲ募集シテ行クト云フ事柄ガ、是ガ財政計畫ノ上ニ於テ最も必要ナコトダト思ツテ居リマス、而シテ今日ノ情勢ハドウデアルカト申シマスルト、幸ニシテ經濟界ガ旺シニ膨脹シテ來マシテ、十三年度、十四年度、十五年度ハ固ヨリアリマス、是ハマダ未確定デアリマスケレドモ、今日凡ソ見當ガ付イテ居ル所カラ申シマスルト、自然増收ニ依ツテ新ニ募集スル所ノ公債ノ利子ヲ拂ヒ得テ、尙ホ償却ニ幾部分充テ得ルヤウナ狀況デアリマスノデ、此ノ狀況ガ續キマスナラバ、是ハ極メテ財政ハ鞏固デアラウト思ヒマス、況ヤ此ノ度ノ増稅ト云フモノニ依ツテ、此ノ日本ノ財政ノ基礎ヲ鞏固ニ致スト云フコトガ出來マスレバ、是ハ一層其處ニ安定性ヲ得ヨウト思フノデアリマス、併シ此ノ度ノ増稅ハ、其ノ公債ノ利子支辨トカ、公債ノ償還ト云フモノヲ目標トシテ、増稅ヲシタルニアラズシテ、出來得ル限り經濟界ニ打撃ヲ與ヘズ、支障ヲ起サザル程度ニ於テ、國民ノ負擔ノ出來ル範圍内ニ於テ國民ニ負擔ト思フコトハ、國民ガ將來ドウナルノグラシタルニアラズシテ、私ノ承リタイロシテ貰フト云フコトガ、現在ノ財政狀態トシテハ必要デアルト、斯様ニ考ヘマシテ決定シタノデアリマシテ、私ノ考ヘテ居ル所ノ、所謂公債ノ償還ニ對スル所ノ基本的法則ヲ定メテ、ソレニ依ツテ增稅シタモノガハナイノデアリマス、併シ此ノ計畫ハ遠カ、ラズシテ確立致シテ行クベキモノノデアルト、斯様ニ私ハ信ジテ居リマス、私ガ入閣致シマシタノハ、丁度總デ斯ウ云フモノガ決定シタ後デアリマシタノデ、私ノ意見ト云フモノハ十分ニ織込マレテ居リマセスケレドモ、私ハ日本ノ財政ト云フモノハ決シテ悲觀スペキモノデハナイ、唯一要點ハ日本ノ經濟界ガ總健ナル發達ヲ致ストガ必要デ

アツテ、其ノ日本ノ經濟界ノ穩健ナル發達ヲ致ス爲ニ、有ユル施設ヲ致スト云フ事柄モ亦深ク考慮シナケレバナラヌ、一面ニ於テ此ノ事變ニ對シ経費ヲ支辨シテ行クト同時ニ、一面ニ於テ將來ノ發展ノ基礎ヲ定メテ、而シテ將來此ノ巨額ニ發行シタル所ノ公債ガ、ソレニ依ツテ償却サレ、ソレニ依ツテ支辨サレテ行クト云フヤウナ風ニ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、私ノ考ヘテ居リマスコトハ、要シマスルニ、一面ニハ言ハバ國民ノ生活ニ不安定ヲ來サズ、而シテ經濟界ノ萎微沈滯ヲ招カズ、而シテ軍事費ヲ優ニ支辨シ、又軍器資材ヲモニ供給シテ行ク途ヲ立テルト云フコトヲ目標トシテ、財政計畫ヲ立テ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス○道家委員 縷々御説明ヲ戴キマシテ、大體御趣旨ノ點ハ分リマシタ、私ノ承リタイト思フコトハ、國民ガ將來ドウナルノグラウカト云フコトニ付テ、非常ニ不安ヲ持ツテ居ル、サウシテ稅ナドハ一體是カラマダ來年モ課カルノグラウカ、斯ウ云フコトヲ豫測ハ出來ナイ、當分戰爭ノヤウナ狀態デハナイノデアリマス、併シ此ノ計畫ハ遠カ、ラズシテ確立致シテ行クベキモノノデアルト、斯様ニ私ハ信ジテ居リマス、私モサウダト思フ、ソンナコトハ見込ガ付カナイノデハナイ、モウ付行カナケレバナラヌト云フ御說、是ハ御尤モデアリマス、私モサウダト思フ、ソンナコトハ見込ガ付カナイノデハナイ、モウ付行カナケレバナラヌト云フ御說、是ハ御尤モシテモ、蔣政權ト汪政權トノ關係カラ見コトハ見込ガ付カナイノデハナイ、モウ付行カナケレバナラヌト云フ御說、是ト云フノモシテモ、戰爭ガ今中止サレル筈ガナイ、モウ付行カナケレバナラヌ、御說ノ通り大部分ヲ充ハドウシテモヤラナケレバナラヌ、サウ云フ意味カラ言ヒマスト大體見當ガ付ク、每年ノ財政計畫ハ少クトモ七十億以上百億位ノ間で行ク、サウスレバ毎年日本ハ赤字、公債デ賄ハナケレバナラヌ、御說ノ通り大部分ヲ出サナケレバナラヌ、御說ノ通り大部分ヲルコトダト思フ、之ニ對シテ政府ガ財政計

畫ヲ是カラ將來ノ推移ニ依ツテ立テルト云ノデハ、私甚ダ心細イト思フ、大體此ノ事變が始ツタ昭和十二年ニ於テ、既ニ政府モ私ハ大藏大臣ニ言ツタノデス、此ノ事變ハ不擴大方針テ行ツタノデスガ、其ノ時ニガドウシテサウ半年ヤソコラデ不擴大方針ミマスカ、國際情勢ト、東洋ノ狀況ト、歐洲戰爭後ノ各國ノ動キ、ソレヲ考ヘタラ分ルコトデハナイカ、ダカラコンナ一億ヤソコラノ增稅ヲチヨビ／＼ヤツテ、又カ／＼、一面ニハ言ハバ國民ノ生活ニ不安定ヲ來サズ、而シテ經濟界ノ萎微沈滯ヲ招カズ、而シテ軍事費ヲ優ニ支辨シ、又軍器資材ヲモニ供給シテ行ク途ヲ立テルト云フコトヲ目標トシテ、財政計畫ヲ立テ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○道家委員 縷々御説明ヲ戴キマシテ、大體御趣旨ノ點ハ分リマシタ、私ノ承リタイト思フコトハ、國民ガ將來ドウナルノグラウカト云フコトニ付テ、非常ニ不安ヲ持ツテ居ル、サウシテ稅ナドハ一體是カラマダ來年モ課カルノグラウカ、斯ウ云フコトヲ豫測ハ出來ナイ、當分戰爭ノヤウナ狀態デハナイノデアリマス、併シ此ノ計畫ハ遠カ、ラズシテ確立致シテ行クベキモノノデアルト、斯様ニ私ハ信ジテ居リマス、私モサウダト思フ、ソンナコトハ見込ガ付カナイノデハナイ、モウ付行カナケレバナラヌト云フ御說、是ハ御尤モデアリマス、私モサウダト思フ、ソンナコトハ見込ガ付カナイノデハナイ、モウ付行カナケレバナラヌト云フ御說、是ハ御尤モシテモ、蔣政權ト汪政權トノ關係カラ見コトハ見込ガ付カナイノデハナイ、モウ付行カナケレバナラヌト云フ御說、是ト云フノモシテモ、戰爭ガ今中止サレル筈ガナイ、モウ付行カナケレバナラヌ、御說ノ通り大部分ヲ充ハドウシテモヤラナケレバナラヌ、サウ云フ意味カラ言ヒマスト大體見當ガ付ク、每年ノ財政計畫ハ少クトモ七十億以上百億位ノ間で行ク、サウスレバ毎年日本ハ赤字、公債デ賄ハナケレバナラヌ、御說ノ通り大部分ヲ出サナケレバナラヌ、御說ノ通り大部分ヲルコトダト思フ、之ニ對シテ政府ガ財政計

モ知レナイ、斯ウ云フ考ヘ方ヲシテ居タノ  
デハ、戰爭ノ目的ニ向ツテ邁進スルコトハ  
出來ナイ、覺悟ガナケレバ國民ノ經濟生活  
ハ旨ク行キマセヌ、デスカラ其ノ點ニ於テ  
何處カラ考ヘテ見テモ、ドウシテモ增稅ト  
云フモノハ已ムヲ得ナイモノデアル、又增  
稅ト云フモノハ、各國ノ例ニ比べテ見ルト、  
決シテ日本ノ增稅ハ高クナ、元來ガ非常  
ニ低過ギタ稅デアル、ソレガ漸次此ノ戰時  
ニ依ツテズツト上ツタカラ、上リ方ニ於テ  
ハ、昭和十二年ノ其ノ以前カラズツト上ツ  
テ來テ、今日四十五億位ノ稅ガ納マルヤウ  
ニナツタカラ、ソレハ急進デハアルガ、全  
體カラ見テ其ノ割合ハ二割ニモナラナイカ  
モ知レナイト云フヤウナ狀況デアリマス、  
尙ホ國民所得ニ付テハ議論ガアリマスガ、  
サウ云フ狀況ニアルノデスカラ、藏相ガ仰  
シヤルヤウニ取レバ取シテ、サウシテ少シ  
デモ赤字ヲ減シテ行クノハ當リ前ノコトデ  
アル、取レレバ、彈力性ノアルヤウニ稅制  
ガ改革サレテ來タカラ、取ツテ行クダケノ  
餘裕が出來タ時ニ、經濟ヲ破壊シナイ程度  
ニ於テ取ツテ行ク、或ハ來年增稅ヲヤルカ  
モ知レナイ、ヤツタ方ガ宜イノデハナイカ  
ト私ハ思フ、又餘裕ガアルヤウニ私ハ思フ、  
其ノ點ヲモウ少シハツキリシテ戴キタイト  
思ヒマス

○櫻内國務大臣 弾力性ガ今回ノ改正ノ稅  
法ニ出テ居リマスノデ、又更ニ彈力性ヲ利  
用シテ增稅ヲスルノデハナイカ、又シテ宜  
イノデハナイカ、又スルコトヲハツキリシ  
タラ宜イデハナイカ、斯ウ云フ御話デアリ  
マスガ、私共ノ見ル所ニ依リマスト、經濟  
上ニ非常ナ變化ガ起ルトカ、國際情勢ノ上  
ニ於テ非常ナ變化ガ起ルトカ、兎ニ角今日  
豫期セザル所ノ色々々ノ狀態ガ起リマシテ、  
ドウシテモ更ニ增稅ヲシケレバナラヌ必要  
出來ナイ、覺悟ガナケレバ國民ノ經濟生活  
ハ旨ク行キマセヌ、デスカラ其ノ點ニ於テ  
何處カラ考ヘテ見テモ、ドウシテモ增稅ト  
云フモノハ已ムヲ得ナイモノデアル、又増  
稅ト云フモノハ、各國ノ例ニ比べテ見ルト、  
決シテ日本ノ增稅ハ高クナ、元來ガ非常  
ニ低過ギタ稅デアル、ソレガ漸次此ノ戰時  
ニ依ツテズツト上ツタカラ、上リ方ニ於テ  
ハ、昭和十二年ノ其ノ以前カラズツト上ツ  
テ來テ、今日四十五億位ノ稅ガ納マルヤウ  
ニナツタカラ、ソレハ急進デハアルガ、全  
體カラ見テ其ノ割合ハ二割ニモナラナイカ  
モ知レナイト云フヤウナ狀況デアリマス、  
尙ホ國民所得ニ付テハ議論ガアリマスガ、  
サウ云フ狀況ニアルノデスカラ、藏相ガ仰  
シヤルヤウニ取レバ取シテ、サウシテ少シ  
デモ赤字ヲ減シテ行クノハ當リ前ノコトデ  
アル、取レレバ、彈力性ノアルヤウニ稅制  
ガ改革サレテ來タカラ、取ツテ行クダケノ  
餘裕が出來タ時ニ、經濟ヲ破壊シナイ程度  
ニ於テ取ツテ行ク、或ハ來年增稅ヲヤルカ  
モ知レナイ、ヤツタ方ガ宜イノデハナイカ  
ト私ハ思フ、又餘裕ガアルヤウニ私ハ思フ、  
其ノ點ヲモウ少シハツキリシテ戴キタイト  
思ヒマス

○櫻内國務大臣 私ノ説明ノ仕方ガ、御會  
得ヲ得ルコトガ出來ヌカモ知レマセヌガ、  
ト云フコトニ付キマシテハ、私ハサウ云フ  
自然增收ヲ引當テニ對策ハ立テベキモノデ  
ハナイト考ヘテ居リマスノデ、今回ノ增稅  
ヲ機會ニ、是等ニ對シテ、總テノ方面ニ對  
シテ、近キ將來ニ於テ國民ノ安心ヲ得ルヤ  
ウナ財政計畫ヲ確立致シタイト、斯ウ申上  
ゲテ居ルノデアリマスガ、只今ノ所非常ナ  
變化ノアリマセヌ限り、ココニ數年ノ間に  
更ニ增稅ヲ致スト云フ風ナ考ハ持ツテ居ラ  
ナイノデアリマス

○道家委員 御說ガドウモ徹底シナイヤウ  
ニ思フノデアリマス、ドウシテモ長期ノ財  
政計畫を行カケレバナラヌト云フコトヲ  
御認ニナル、サウスルト、相當ノ額ノ豫算  
ハドウシテモ否定出來ナイ、サウシテ自然  
增收デ賄ヘルカト云フト賄ヘナイ、ソレデ  
モ大體分リマスガ、優ニ公債支辨ニ對シ  
テ、公債ノ利拂及ビ元本ノ償還ニ對シテ、  
或ル程度ノ案ガ立チ得ルト思フノデア  
リマス、況ヤ此ノ數年間經濟界ノ發展極  
メテ目覺シイモノガアリマシテ、非常ナ  
自然增收ガ起リツタルノデアリマスカラ、  
自然增收ニ依ツテ此ノ二三年間ノ所ハ、年  
年ノ增發サレタル所ノ公債ノ利子及ビ元金  
ヲ幾分償還ノ出來ル程度位ノ增收ヲ見込ム  
ノデアリマス、併シナガラ此ノ增收ハ、ソ  
レガ毎年四十億、五十億增發シナケレバナ  
ラヌ所ノ公債ノ償却支辨ニ當リ得ルカ否ヤ  
ト云フコトニ付キマシテハ、私ハサウ云フ  
ト機会ニ、是等ニ對シテ、總テノ方面ニ對  
シテ、近キ將來ニ於テ國民ノ安心ヲ得ルヤ  
ウナ財政計畫ヲ確立致シタイト、斯ウ申上  
ゲテ居ルノデアリマスガ、只今ノ所非常ナ  
變化ノアリマセヌ限り、ココニ數年ノ間に  
更ニ増稅ヲ致スト云フ風ナ考ハ持ツテ居ラ  
ナイノデアリマス



ルモノデハナイカトスウ思フノデアリマス、隨ヒマシテ私今日考ヘテ居リマスノハ、日本ノ經濟界ニ於テ非常ナ變化ガアツタ場合、或ハ國際情勢ニ非常ナ變化ガアツテ、經濟上ニ於テ非常ナル増稅ヲシナケレバナラヌト云フ特殊ナ事情ノ起ラナイ限りハ、ココ數年間增稅ハ致シタクナイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス。

○道家委員 何力舉足ヲ取ルヤウニ御思ヒニナルト困ルノデスガ、永遠ノ財政計畫ナドハ立チツコナイ、社會ハ動イテ居リ變化シテ居ルノデスカラ、ココ數年ト解釋スルヨリ外ナイ、ソレデ來年取ル、再來年取ル、斯ウ云フ風ニ豫メ仰シヤレナイト云フノデスガ、財政計畫ガナケレバ仰シヤレナイ害デス、財政計畫ガナケレバ仰シヤレナイト行クト言ヘル、併シ來年斯ウ變ツタ根本ハ此ノ計畫如何ニ依ツテ總テハ分ルノダ、無闇ニ取ルノデナインハ當リ前デス、私モ税ヲ取ルゴト賛成シテ居ルノデアリマリマセヌ、言フマデモナク「プロレタリヤ」ハ困ツテ居ル、殊ニ中小ノ農商工ト云フモノハ非常ニ苦痛デアリマス、デスカラ其ノコトヲ言ツテ居ルノデヤナインデスカラ、其ノ點誤解ノナイヤニ願ヒタ一、ソレカラ三四年間、是ハ最後ニ數年間ト仰シヤイマシタカラ數年間ト解釋致シマスガ、ソレハハツキリシタ財政計畫ヲ——ドノ位掛ルカ分ラヌガ、ドウシテモ國民ハ之ヲ乘リ切ルノダ、其ノ爲ニハ餘裕ガ出來タ、多少ハ増シテ貰フカモ知レナイガト云ツテ覺悟ヲ決メサシテ行ク必要ガアルノデハナ

○大矢政府委員 大臣ノ御答ニナリマシタ通リニ私モ考ヘテ居リマス

○道家委員 ソレデハ其ノ問題ハソレダケニ致シマス、次ニ「インフレーション」ニ付テ御尋致シマス、此ノ頃ノ增稅ガ增收ノ目的ノミナラズ、「インフレーション」ヲ經濟的政策ニ依ツテ阻止スルト云フ機能ヲ持ツコトハ今更申上ゲルマデモナイ、所ガ藏相ハ惡性「インフレーション」ノ狀態ニアルカト云フコトヲ質問サレタ時ニ、惡性「インフレーション」トハ思ハナイガ、惡性「インフレーション」ニ近イモノダ、斯ウ云フコトヲ御答辯ニナツテ居ル、今日ノ情況ヲ左様ニ御思ヒニナツテ居ラツシヤルノデアリマセウカ

○櫻内國務大臣 私記憶ノ違ヒカドウデアルカ知レマセヌガ、惡性「インフレーション」ニ今日近イト云フ風ナ言葉ヲ使ツタヤウニ覺エテ居リマセヌ、唯「インフレーション」ニナツテ惡性ニナツテハ相成ラナイ、斯ウ云フコトヲ申述ペテ居ルノデアリマシテ、今日ノ狀態ガ一步進シテ惡性ニナルヤウナ狀態ガ、即チ其ノ惡性「インフレーション」ニ近クナルヤウナ傾向ガ全然ナイ、而シテ今日動トモスレバサウ云フ風ニナリカト云フト、私ハ警戒スベキ時期デアルト

トカ云フコトニ付テハ非常ニ神經過敏ナ御言葉ヲ拜聽シテ居ルノデアリマスガ、藏相アタリハ大分長クオ居デニナリマスノデ、主稅局長アタリハ大分長クオ居デニナリマスノデ、主稅局長ニモ大臣ニオナリニナラナイ前ニ伺ツテ置キタイ、ヤハリ今ノヤウニ數年間御取リニナライデヤツティラツシヤル御見込ガアルカ、ソレハ洵ニ結構デ吾々ノ希望スル所デアリマスガ、其ノ點ヲ主稅局長ニ御尋致シマス

○櫻内國務大臣 今日ノ惡性「インフレーション」ト云フモノノ解釋ノ仕方デアリマスガ、是ハ先般モ此處ニ議論ガアリマシタ通リ、色々ノ解釋ノ仕方ガアリマスハソレシヨン」ト云フモノノ解釋ノ仕方デアリマスガ、斯ウ云フ考ヲ以テ今日對處シテ居ルヤツテ居ラツシヤル、斯ウ云フコトニ了承シテ宜シイノデアリマスカ

○櫻内國務大臣 今日ノ惡性「インフレーション」ト云フモノノ解釋ノ仕方デアリマスガ、是ハ先般モ此處ニ議論ガアリマシタ通リ、色々ノ解釋ノ仕方ガアリマスハソレシヨン」ト云フモノノ解釋ノ仕方デアリマスガ、斯ウ云フ考ヲ以テ今日對處シテ居ルヤツテ居ラツシヤル、斯ウ云フコトニ了承シテ宜シイノデアリマスカ

○道家委員 只今ノ御説明ハ私モ沟ニ御同感デアリマス、實ハ財界其ノ他ノ方面ニ於テ惡性「インフレーション」ト云フ聲ガ頻リニ揚ゲラレテ居ルノデアリマス、サウシテソレヲ聞イテ民衆ハ能ク財界ノ状況モ數字的ニ何ニモ見ナイデ惡性「インフレーション」、サウシテ思想的關係ノ方面カラ是ハ混亂ガ來ルダラウ、廳テ物資ハナクナル、サウシテ惡性「インフレーション」ハドン——増シテ來ル、サウシテ公債ノ消化力ハナクナル、公債ノ消化力ナンカハ盡モノヲ悲觀的ニ見テ居ル、前途ハ分ラヌ、財政計畫ハナイ、斯ウ云フヤウナコトデ非常ニ國民ノ經濟思想ガ動搖シテ居ルト思ヒマス、是ハ何デアルカト云フト、實ハ色々御説ノヤウニ惡性「インフレーション」トハ何ダト云フ其ノ「スタンダード」、見方ノ尺度ニ付テハ議論モアルコトデアリマスガ、ヤハリ日本ノ制度モ佛蘭西ノ限外發行制度、最高限度ヲ認メタモノヲ基準トシテ、金融業者ガ「インフレーション」ダ、ヤア何ダト言ヒマスケレドモ、藏相ノ言ハレル通リニ私共今

日ノ日本ノ財界ヲ見マスルト、ソレハ闇取引モアリマスルケレドモ、物價ト通貨ノ状況カラ推測致シ、又生産力擴充、富ノ増加等カラ見マスルト、決シテ悪性「インフレーション」デハ絶對ニナイト私ハ思フ、藏相モソレヲ御承知ノヤウデアリマス、然ル此ノ聲ハ何處カラ出テ來ルガト云フト、主ニ金融資本ノ方面カラ出テ來ル、是ハ金融資本家ノ常トシテ左様ナ傾向ヲ持ツ消極的ナ警戒的ナ態度デ行クト云フコトハ、其ノ本質カラ來ルノデアリマスガ、是ガ日本ノ財界ヲ總テ支配シテ居ル、サウシテ産業資本家ヨリモ寧ロ金融資本家ガ全勢ヲ以テ日本ノ財界ヲ「リード」シテ居ル、稅制ノ改革ナンカニモ、此ノ思潮ガ重キヲ成シテ居革ナンカニモ、此ノ思潮ガ重キヲ成シテ居、總ヒニハ政府ニマデ入ツテ來ル、金融思ヒマス、ソレハ增稅ハ先刻申上げタヤウニ、最近ハ經濟政策ヲ多分ニ含ミマスガ、「インフレーション」ヲ阻止スル所ノ効キヲ融資本家ノ聲ニ依ツテ國民ガ動搖シテ居、アル、雜誌ヤ新聞ヤ其ノ他ヲ見マスルト、皆惡性「インフレーション」ト書クノデス、是ハ國民ヲシテ迷ハシムモノデアツテ、日本ノ経済力、富ノ状況、生産ノ數字的計數恐ラク此ノ生産擴充ニ依ツテ二百五六十億カラ見マシテモ、今デモ日本ハ百五六十億ノ生産力ヲ持ツテ居ルト私ハ思ヒマスガ、ニ於テ通貨ガ膨脹スルノハ當リ前デアル、左様ナコトヲ私ハ考ヘル者デアリマシテ、闇取引ノ相場ニシタ所デ悪性「インフレーション」ノ値段トハドウシテモ考ヘラレナイ、ソレガ宜イカ惡イカハ別デアリマスガ、左様ナコトヲ私ハ考ヘル者デアリマシテ、此ノ點如何ニ御考ニナリマスカ此ノ際財界ノ人心ヲ安定セシメテ、日本ノ確固タル所ノ經濟力ヲ能ク認識セシメル必要ガアル、一面ニ於テ物資ガ不足ダ、サウシテ闇取引ガ行ハレル、併シナガラ生産ガ

如何ナル状況ニアルカ、生産ニ幾ラノ資本ガ投下サレタカ、是カラ生産ガ擴充サレツタル所ノ日本ノ状況ハ見ナイデ、サウシテ借金ガ生レルト直グニ百何億出來タ、左様ナコトヲ考ヘテ「インフレーション」ハ惡性「インフレーション」ダ、斯ウ云フヤウナコトヲ言ツテ動搖セシムルト云フコトハ甚ダ遺憾ダト思フ、デスカラ藏相ノ御考ヲ伺ツタ次第ナンデ、左様ニ御考ニナルナラバ非常ニ結構ナコトダト私ハ思フ、尙ホ之ヲシテ國民ニ知ラシメ、サウシテ又惡性「インフレーション」ニ陥ラナイヤウナ警戒ヲシテ行クコトガ必要デハナイカ次ニ増稅ニ對スル方針ニ付テ承リタイト思ヒマス、ソレハ增稅ハ先刻申上げタヤウニ、最近ハ經濟政策ヲ多分ニ含ミマスガ、「インフレーション」ヲ阻止スル所ノ効キヲ増稅ニ依ツテ達セヨウ、斯ウ云フコトヲ多クノ學者ハ考ヘテ居ル、歐洲モサウデアリマスガ、又日本ノ當局モサウ云フ考デオ、居デノヤウデアリマスガ、是ハ私ハ如何カト思フノデス、ソレハ學者モ言ツテ居ル、併シ一部ノ最近新シイ學者ノ中ニハ其ノ政策ハ間違ツテ居ルノダ、ソレハ錯覺ダ、認謬ダ、机ノ上ノ議論ダ、斯ウ云フコトヲ言ツテ居ル者モアリマスガ、私ハ左様ニ存ズルノデアツテ、此ノ經濟政策ヲ多分ニ増稅ニ織込マレテ、サウシテ「インフレーション」ノ防止ガ出來ルノダト云フ風ニ御考ニナルコトハ、ドウモ如何カト思フノデアリマスガ、此ノ點如何ニ御考ニナリマスカソレヲ平生カラ申上ゲテハ居リマセヌガ、ソテ闇取引ガ行ハレル、併シナガラ生産ガ

如何ナル状況ニアルカ、生産ニ幾ラノ資本ガ投下サレタカ、是カラ生産ガ擴充サレツタル所ノ日本ノ状況ハ見ナイデ、サウシテ借金ガ生レルト直グニ百何億出來タ、左様ナコトヲ考ヘテ「インフレーション」ハ惡性「インフレーション」ダ、斯ウ云フヤウナコトヲ言ツテ動搖セシムルト云フコトハ甚ダ遺憾ダト思フ、デスカラ藏相ノ御考ヲ伺ツタ次第ナンデ、左様ニ御考ニナルナラバ非常ニ結構ナコトダト私ハ思フ、尙ホ之ヲシテ國民ニ知ラシメ、サウシテ又惡性「インフレーション」ニ陥ラナイヤウナ警戒ヲシテ行クコトガ必要デハナイカ次ニ増稅ニ對スル方針ニ付テ承リタイト思ヒマス、ソレハ增稅ハ先刻申上げタヤウニ、最近ハ經濟政策ヲ多分ニ含ミマスガ、「インフレーション」ヲ阻止スル所ノ効キヲ増稅ニ依ツテ達セヨウ、斯ウ云フコトヲ多クノ學者ハ考ヘテ居ル、歐洲モサウデアリマスガ、又日本ノ當局モサウ云フ考デオ、居デノヤウデアリマスガ、是ハ私ハ如何カト思フノデス、ソレハ學者モ言ツテ居ル、併シ一部ノ最近新シイ學者ノ中ニハ其ノ政策ハ間違ツテ居ルノダ、ソレハ錯覺ダ、認謬ダ、机ノ上ノ議論ダ、斯ウ云フコトヲ言ツテ居ル者モアリマスガ、私ハ左様ニ存ズルノデアツテ、此ノ經濟政策ヲ多分ニ増稅ニ織込マレテ、サウシテ「インフレーション」ノ防止ガ出來ルノダト云フ風ニ御考ニナルコトハ、ドウモ如何カト思フノデアリマスガ、此ノ點如何ニ御考ニナリマスカソレヲ平生カラ申上ゲテハ居リマセヌガ、ソテ闇取引ガ行ハレル、併シナガラ生産ガ

如何ナル状況ニアルカ、生産ニ幾ラノ資本ガ投下サレタカ、是カラ生産ガ擴充サレツタル所ノ日本ノ状況ハ見ナイデ、サウシテ借金ガ生レルト直グニ百何億出來タ、左様ナコトヲ考ヘテ「インフレーション」ハ惡性「インフレーション」ダ、斯ウ云フヤウナコトヲ言ツテ動搖セシムルト云フコトハ甚ダ遺憾ダト思フ、デスカラ藏相ノ御考ヲ伺ツタ次第ナンデ、左様ニ御考ニナルナラバ非常ニ結構ナコトダト私ハ思フ、尙ホ之ヲシテ國民ニ知ラシメ、サウシテ又惡性「インフレーション」ニ陥ラナイヤウナ警戒ヲシテ行クコトガ必要デハナイカ次ニ増稅ニ對スル方針ニ付テ承リタイト思ヒマス、ソレハ增稅ハ先刻申上げタヤウニ、最近ハ經濟政策ヲ多分ニ含ミマスガ、「インフレーション」ヲ阻止スル所ノ効キヲ増稅ニ依ツテ達セヨウ、斯ウ云フコトヲ多クノ學者ハ考ヘテ居ル、歐洲モサウデアリマスガ、又日本ノ當局モサウ云フ考デオ、居デノヤウデアリマスガ、是ハ私ハ如何カト思フノデス、ソレハ學者モ言ツテ居ル、併シ一部ノ最近新シイ學者ノ中ニハ其ノ政策ハ間違ツテ居ルノダ、ソレハ錯覺ダ、認謬ダ、机ノ上ノ議論ダ、斯ウ云フコトヲ言ツテ居ル者モアリマスガ、私ハ左様ニ存ズルノデアツテ、此ノ經濟政策ヲ多分ニ増稅ニ織込マレテ、サウシテ「インフレーション」ノ防止ガ出來ルノダト云フ風ニ御考ニナルコトハ、ドウモ如何カト思フノデアリマスガ、此ノ點如何ニ御考ニナリマスカソレヲ平生カラ申上ゲテハ居リマセヌガ、ソテ闇取引ガ行ハレル、併シナガラ生産ガ

#### ○櫻内國務大臣 悪性「インフレーション」

ノ中ノ私ノ考ヘテ居リマス原則ノ中デ、通貨ノ信用ガナクナルト云フコトハ私常ニ考

#### ン」防止ノ一作用ヲ爲スコトハ私之ヲ認

メルノデアリマス、例ヘテ言ヘバ、民間ニ

#### スルノデアリマス、日本ニ於テハ通貨ノ信用ガ

撒布セラレタル所ノ資金ノ中、此ノ增稅案

#### ノ爲ニ此ノ方面ニ吸收セラレルモノモアル

ニアリマセウ、又極ク俗ナ例ヲ申シマス

#### レバ、遊興税ノ如キハ高クナルダラウ、高

クナツカカラ之ヲ儉約シテ、或ハ預金ニスル

#### ト云フヤウナ事柄モナイトハ限ラナイト思

ヒマス、又稅各々ニ付テ見マスト、此ノ稅制

#### ノ結果トシテ或ハ公債ノ方ニ流レテ行クトカ、

或ハ生產部面ニ流レテ行クトカ云フコトニ

#### ナリマシテ、此資金ガ活用セラレルト云フ風ニ

考ヘラレル節モナイコトハアリマセヌ、又稅額ガ多クナツテ、其ノ多クナツタ稅額ダケ

#### ガ市場カラ政府ノ方ニ吸收サレルノデアリ

マスカラ、ソレガ又資金吸收ノ作用ヲ爲ス

#### コトモアルト思ヒマス、併シ此ノ增稅ニ依

ツテ「インフレーション」ヲ防止スルト云フコトガ最大ノ目的デアルカト申上げマスル

#### ト、サウデハナイノデアリマシテ、此ノ度ノ

増稅ハ豫テカラ度々申上げマスル通リ所謂負擔ノ均衡トカ、經濟政策ノ調和トカ、或ハ増收竝ニ擔稅力ノ問題、或ハ簡易化ノ問題、斯ウ云フコトノ目標デ改正ヲ致シテ居ルノデアリマス、副作用トシテハ私多少ハ「インフレーション」防止ニ貢獻スルモノガアルノデハナシヨン」防

#### ン」防止ノ目的ガ惡性「インフレーション」

ノ大キナ通貨ノ出テ居ルト云フ事柄ハ

#### テ其ノ大キナ通貨ノ出テ居ルト云フ事柄ハ

ソレガ不自然ニ非常ナ膨脹ヲ致シテ居ル、

#### 是ガ今日所謂物價騰貴ヲ招キ、惡循環ノ因

禦貴ヲ招イテ、其ノ物價騰貴ガ因トナリ果テ其ノ大キナ通貨ノ出テ居ルト云フ事柄ハ

#### テ其ノ大キナ通貨ノ出テ居ルト云フ事柄ハ

ソレカラ、又アルトス様ニ信ジテ居リマス

#### ○堀切委員長 道家君、一寸御待チヲ願ヒ

マス、大藏大臣ノ御答辯ノ中ニ惡性「インフレーション」ハ認ヌナイガ、段々サウ云

#### フ方向ニ陥ルヤウナ處ガアルト云フ先程御

答辯デシタガ、サウ云フ勢ヒハ主ニ何處カラウカ、又アルトス様ニ信ジテ居リマス

#### テシタガ、サウ云フ勢ヒハ主ニ何處カラウカ、ソレモ一ツ序ニ御伺致シタイ

リマセウカ、ソレモ一ツ序ニ御伺致シタイ

#### レ易イノデアリマシテ、從來ハ信用取引デ

アツタモノガ、或ハ全部現金取引ニ移リ變

#### ハ自然ニ現金取引ト云フヤウナモノガ行ハ

ウナコトガヤハリ原因ヲ成シテ居ルト思ヒ

#### ラントスルヤウナ情勢モアリマスノデ、サ

ウ云フヤウナ事柄ガ總テ今日ノ物價騰貴ヲ

招キ、サウシテ惡性「インフレーション」ヲ招ク、即チ第一前提トモ申スベキ惡環ノ方ニ傾イテ行ク情勢ハナイカト思ヒマス。○道家委員 今ノ御話デスガ、サウスルト増稅ノ方針トシテハ、同時ニ惡性「インフレーション」ヲ阻止スル目的ヲ以テ稅ヲ増加シタノデハナイ、收入ヲ目的トシタモノシテアル、其ノ副作用トシテ、副產物トシテシテハ左様デアルト承知シテ宜シウゴザイマスカ。

○櫻内國務大臣 先刻モ申上ゲマシタ通り單純ナ增稅ト云フコトヲ目的トシタノデハアリマセヌ、即チ一つハ負擔ノ均衡、一つハ經濟政策ノ調和、一つハ今日ノ財政政策ノ基本トシテ、ドウシテモ增收ガ必要デアルカラ其ノ增收ヲ企圖シ、併セテ其ノ稅ニ彈力性ヲ持タセタ、ソレカラ租稅法ノ簡易化ヲ圖ル、此ノ四ツノ目的ヲ以テ稅制ノ改正ヲ致シマシテ、サウシテ其ノ副作用トシテ今御話ノヤウニ「インフレ」防止ニ對シテ、多少貢獻スル所ガアルノデハナカラウカ、斯様ニ考ヘテ居リマス。

○道家委員 「インフレーション」ヲ防止スル作用ガ當然增稅ヲレバ起ル、是ハ言フマデモナイコトデ、取ツタ稅ダケガコツチニ來ルノデスカラ、ソレハ市場カラ吸收スル、私ハサウ云フコトヲ言ツテ居ルノデハナイ、增稅ト云フモノガソレガ「インフレーション」ノ通貨流通ヲ積極的ニ阻止スル效果ガアルトシテ、各國トモ斯ウヤツタル、私ハサウ云フコトヲ言ツテ居ルノデハナイ、增稅ト云フモノガソレガ「インフレーション」ノ通貨流通ヲ積極的ニ阻止スル目的ニ付テ居ルノデアリマスガ、私ハ今マデヤハリ

少通貨ノ收縮ヲ生ズル、日本ノ增稅方針トシテハ左様デアルト承知シテ宜シウゴザイマスカ。

○櫻内國務大臣 先刻モ申上ゲマシタ通り單純ナ增稅ト云フコトヲ目的トシタノデハアリマセヌ、即チ一つハ負擔ノ均衡、一つハ經濟政策ノ調和、一つハ今日ノ財政政策ノ基本トシテ、ドウシテモ增收ガ必要デアルカラ其ノ增收ヲ企圖シ、併セテ其ノ稅ニ彈力性ヲ持タセタ、ソレカラ租稅法ノ簡易化ヲ圖ル、此ノ四ツノ目的ヲ以テ稅制ノ改正ヲ致シマシテ、サウシテ其ノ副作用トシテ今御話ノヤウニ「インフレ」防止ニ對シテ、多少貢獻スル所ガアルノデハナカラウカ、斯様ニ考ヘテ居リマス。

○櫻内國務大臣 惡性「インフレーション」阻止ノ問題ニ付キマシテハ、度々問題トナル所デアリマスガ、要スルニ市場ニ撒布セラレタル所ノ資金ヲドウシテモ吸收シテ、サウシテ撒布セラレタル所ノ資金ヲ減ラスコトガ第一番ニ必要デアリマス、撒布セラレタル資金ガ所謂貯金トナツテ、再び資金化シテ行くト云フコトヲ圖ルコトガ必要デアリマス、即チ貯蓄獎勵デアルトカ、或ハ公債ノ消化デアルトカ、又ハソレ等ニ對シテ種々ナル方法ガアルノデアリマセウガ、當時ニ現存ト致シマシテハ資金調整法ノ運用等ニ依リマシテ、此ノ資金ガ無暗ヤタラニ使ハレナイ方法モ講ジテ居ルノデアリマス、又零細ナ撒布セラレタル所ノ資金ヲ吸

レルノダト、斯ウ承知シテ居ツタ次第デアリマス、此ノ事ニ付テハ意見ノ相違デアリマスカラ、敢テ此ノ以上ハ突込ムコトニナリマスノデ申上ゲマセヌガ、唯副作用トシテ當然微收シタダケガ通貨ガ縮小スル、是ハ當リ前ノコトデアル、サウナルト云フト、先刻仰シヤツタ惡性「インフレーション」、是ハ一番初メニ申上ゲタノデスガ、之ニ對シテハ政策ハナイト云フコトニナルノデスカ、ドウ云フコトニナリマスカ、ソレハ段々惡性「インフレーション」ニ近ヅキツアルノニ對シテ、增稅ノ政策トシテヤハリソレ阻止スル一つノ効キヲ爲スノダト云フナラバ、ソレハ分ルケレドモ、私ハサウデアルトスレバ、ソレハ役ニ立チマセスト申上ゲタイ、サウスレバ何デ「インフレーション」ガ漸次進行シツツアルト仰シヤルノデアルカ、ソレ阻止ナサルトスレバ、ソレハ豫算ノ緊縮デアリマセウカ、何デアリマセウカ。

○櫻内國務大臣 惡性「インフレーション」阻止ノ問題ニ付キマシテハ、度々問題トナル所デアリマスガ、要スルニ市場ニ撒布セラレタル所ノ資金ヲドウシテモ吸收シテ、サウシテ撒布セラレタル所ノ資金ヲ減ラスコトガ第一番ニ必要デアリマス、撒布セラレタル資金ガ所謂貯金トナツテ、再び資金化シテ行くト云フコトヲ圖ルコトガ必要デアリマス、即チ貯蓄獎勵デアルトカ、或ハ公債ノ消化デアルトカ、又ハソレ等ニ對シテ種々ナル方法ガアルノデアリマセウガ、當時ニ現存ト致シマシテハ資金調整法ノ運用等ニ依リマシテ、此ノ資金ガ無暗ヤタラニ使ハレナイ方法モ講ジテ居ルノデアリマス、又零細ナ撒布セラレタル所ノ資金ヲ吸

レル、之ニ對シテ何カ具體的ナ方策ヲ、惡性「インフレーション」ガ見エルトシテ御持チニナツテ居リマスカ、ソレトモ從來ノ通りデアリマス、併シ何ト言ツテモ一番大キナリマス、此ノ事ニ付テハ意見ノ相違デアリマスカラ、敢テ此ノ以上ハ突込ムコトニナリマスノデ申上ゲマセヌガ、唯副作用トシテ當然微收シタダケガ通貨ガ縮小スル、是ハ當リ前ノコトデアル、サウナルト云フト、先刻仰シヤツタ惡性「インフレーション」、是ハ一番初メニ申上ゲタノデスガ、之ニ對シテハ政策ハナイト云フコトニナルノデスカ、ドウ云フコトニナリマスカ、ソレハ段々惡性「インフレーション」ニ近ヅキツアルノニ對シテ、增稅ノ政策トシテヤハリソレ阻止スル一つノ効キヲ爲スノダト云フナラバ、ソレハ分ルケレドモ、私ハサウデアルトスレバ、ソレハ役ニ立チマセスト申上ゲタイ、サウスレバ何デ「インフレーション」ガ漸次進行シツツアルト仰シヤルノデアルカ、ソレ阻止ナサルトスレバ、ソレハ豫算ノ緊縮デアリマセウカ、何デアリマセウカ。

○櫻内國務大臣 惡性「インフレーション」阻止ニ付キマシテハ、度々問題トナル所デアリマスガ、要スルニ市場ニ撒布セラレタル所ノ資金ヲドウシテモ吸收シテ、サウシテ撒布セラレタル所ノ資金ヲ減ラスコトガ第一番ニ必要デアリマス、撒布セラレタル資金ガ所謂貯金トナツテ、再び資金化シテ行くト云フコトヲ圖ルコトガ必要デアリマス、即チ貯蓄獎勵デアルトカ、或ハ公債ノ消化デアルトカ、又ハソレ等ニ對シテ種々ナル方法ガアルノデアリマセウガ、當時ニ現存ト致シマシテハ資金調整法ノ運用等ニ依リマシテ、此ノ資金ガ無暗ヤタラニ使ハレナイ方法モ講ジテ居ルノデアリマス、又零細ナ撒布セラレタル所ノ資金ヲ吸





日ノ此ノ方面ノ状況カラ致シマシテ、此ノ程度ノ課税ヲシテモ差支ナイデハナカラウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第アリマス、産業組合等ニ付キマシテハ、數日來大分詳シイ御答ヲシテ居リマスカラ、此ノ際ハ省略致シタイト思ヒマス。

○道家委員

モウ一點伺ヒタイ、今御説明

ノヤウナ御趣旨ダトスルト、料理屋ヤ「カ

フェー」ハ區別スル必要ガナイヤウニ私ハ

思フ、何ガ故ニ「カフェー」ハ免稅點ヲ抑へ

テ、サウシテ料理屋カラハ取ル、其ノ點ハ

諒解ニ苦シム

○大矢政府委員

料理屋ニ於キマシテモ藝妓ガ入る場合ニ於キマシテハ總テ免稅點ガ

今度ハナクシテ居ルノデアリマス、「カフ

エー」ニ於キマシテモ結局客ノ出ス「チッ

プ」ハ料理屋ニ於ケル藝妓ノ花代ト同ジヤ

ウナモノデハナカラウカ、隨ヒマシテ今日

ノ現况カラ考ヘマシテ、藝妓ノ花代ヲ伴フ

消費ニ對シテ免稅點ヲ置カナケレバ、「カフ

エー」ニ對シテ免稅點ハ置カナイデ丁度均

衡ヲ得ラレルノデハナカラウカ、斯ウ云フ

ヤウニ考ヘテ居リマス

○道家委員

サウスルト「カフェー」ノ女給

ニモ稅ヲ御課ケニナツテ、藝者ノヤウニ御

扱ヒニナツタラドウデスカ

○大矢政府委員

遊興飲食稅ハ藝妓或ハ

「カフェー」ノ女給ヲ目的トスルノデハアリ

マセヌ、消費者ノ負擔スペキ稅ニナツテ居

ルノデアリマス

○道家委員

マダ御尋シタイコトガアリマス

スガ、本日大藏大臣ニ色々御答難願ツタコ

トヲ感謝シマス、私ノ大藏省關係ノ後ノ質

問ハ大臣ヲ煩サナクテ結構デアリマス

○堀切委員長

尙ホ明日ハ道家君カラモ、

板谷君カラモ總理ノ御出席ヲ願フ御希望ガアリマシタカラ、兩大臣ヨリ御言傳ヲ願ツテ、是非御出席ヲ願ヒタイト思ヒマス、商工大臣モ併せて御出席願ハナケレバナリマセヌ、ソレデハ今日ハ此ノ程度ニ致シマシテ、明日ハ午前十時ヨリ開會致シマス

午後五時五十分散會

昭和十五年三月一日印刷

昭和十五年三月三日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局